

令和 5 年度 病院事業決算状況

都道府県名 北海道

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ						
-	江差病院	3	苫小牧市	苫小牧市立病院	21	木古内町	国保病院	39
-	羽幌病院	4	稚内市	稚内病院	22	森町	国保病院	40
-	緑ヶ丘病院	5	稚内市	稚内こまどり病院	23	八雲町	八雲総合病院	41
-	向陽ヶ丘病院	6	美唄市	市立美唄病院	24	八雲町	八雲町熊石国民健康保険病院	42
-	北見病院	7	芦別市	芦別病院	25	長万部町	町立病院	43
-	子ども総合医療・療育センタ ー	8	江別市	市立病院	26	厚沢部町	国保病院	44
札幌市	札幌病院	9	赤平市	あかびら市立病院	27	乙部町	国保病院	45
函館市	市立函館病院	10	士別市	士別市立病院	28	奥尻町	国保病院	46
函館市	市立函館恵山病院	11	名寄市	総合病院	29	今金町	国保病院	47
函館市	市立函館南茅部病院	12	名寄市	名寄東病院	30	せたな町	せたな町立国保病院（病院事業分）	48
小樽市	小樽病院	13	三笠市	三笠総合病院	31	黒松内町	黒松内町国民健康保険病院	49
旭川市	市立旭川病院	14	根室市	根室病院	32	南幌町	国保町立病院	50
室蘭市	総合病院	15	千歳市	千歳市民病院	33	奈井江町	奈井江町立国民健康保険病院	51
釧路市	市立釧路総合病院	16	滝川市	市立病院	34	由仁町	町立病院	52
北見市	北見市国民健康保険常呂病院	17	砂川市	市立病院	35	長沼町	町立長沼病院	53
岩見沢市	総合病院	18	歌志内市	市立病院	36	月形町	国保月形町立病院	54
岩見沢市	栗沢病院	19	深川市	市立病院	37	美瑛町	町立病院	55
留萌市	市立病院	20	松前町	松前病院	38	上富良野町	上富良野町立病院	56

令和 5 年度 病院事業決算状況

都道府県名 北海道

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ					
中富良野町	町立病院	57	日高町	門別国保病院	75	利尻島国民健康保険病院 組合 利尻島国保中央病院	93
和寒町	国保町立和寒病院	58	平取町	国保病院	76		
下川町	下川病院	59	新ひだか町	新ひだか町立静内病院	77		
遠別町	遠別町立国保病院	60	新ひだか町	新ひだか町立三石国民健康保 険病院	78		
天塩町	国保病院	61	土幌町	国保病院	79		
猿払村	国保病院	62	鹿追町	国保病院	80		
浜頓別町	国保病院	63	芽室町	国保芽室病院	81		
中頓別町	国保病院	64	大樹町	国保病院	82		
枝幸町	枝幸町国民健康保険病院	65	広尾町	広尾町国民健康保険病院	83		
豊富町	豊富町国民健康保険病院	66	池田町	十勝いけだ地域医療センター	84		
美幌町	国保病院	67	本別町	国保病院	85		
斜里町	斜里町国民健康保険病院	68	足寄町	国保病院	86		
滝上町	国保病院	69	厚岸町	厚岸病院	87		
興部町	国保病院	70	標茶町	町立病院	88		
雄武町	国保病院	71	別海町	別海病院	89		
豊浦町	国保病院	72	中標津町	中標津病院	90		
白老町	国保病院	73	標津町	標津町国民健康保険標津病院	91		
むかわ町	むかわ町鶴川厚生病院	74	広域紋別病院企業団	広域紋別病院	92		

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名					
病院名 江差病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	12,101 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	146	26.4	24.8	24.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	48	-	6.2	9.1
感染症	4	3.8	3.8	-
計	198	19.5	19.9	20.0
平均在院日数(一般病床のみ)		16.4	17.0	15.1

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	2,819,962,872	
標準財政規模(千円)	1,364,505,815	
財政力指数	0.44355	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	19.1
	将来負担比率(%)	306.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,253,388			
1 経常収益	3,253,059			
(1) 医業収益	1,469,193			
(うち修正医業収益)	1,318,516			
入院収益	542,223			
外来収益	726,201			
診療収入計	1,268,424			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	200,769			
(うち他会計負担金)	150,677			
(2) 医業外収益	1,783,866			
(うち国・都道府県補助金)	310,770			
(うち他会計補助・負担金)	1,290,395			
(うち長期前受金戻入)	173,011			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	329			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,229,805			
2 経常費用	3,228,268			
(1) 医業費用	3,021,667			
職員給与費	1,660,720	113.0	58.7	67.7
材料費	274,712	18.7	26.9	18.3
(うち薬品費)	76,831	5.2	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	197,881	13.5	11.7	9.1
減価償却費	208,170	14.2	8.5	10.3
経費	866,310	59.0	21.5	29.4
(うち委託料)	368,281	25.1	11.5	13.6
研究研修費	4,083			
資産減耗費	7,672			
(2) 医業外費用	206,601			
(うち支払利息)	95,737	6.5	0.9	1.1
(3) 特別損失	1,537			
経常損益	24,791			
純損益	23,583			
累積欠損金	15,884,237			
経常収支比率	100.8		96.5	95.4
医業収支比率	48.6		86.0	79.1
修正医業収支比率	43.6		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	44.3		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	98.1		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	44.3		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	56.1		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	20,789,904
1 固定資産	17,882,803
(1) 有形固定資産	16,944,976
(2) 無形固定資産	4,696
(3) 投資その他の資産	933,131
2 流動資産	2,907,101
(1) 現金及び預金	1,526,611
(2) 未収金及び未収収益	1,302,298
(3) 貸倒引当金()	16,149
(4) 貯蔵品	74,119
3 繰延資産	-
負債合計	73,564,707
1 固定負債	55,945,567
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,641,830
(2) その他の企業債	195,065
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(4) その他の長期借入金	29,896,748
(5) 引当金	3,848,384
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,504,613
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,774,747
(2) その他の企業債	17,733
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	585,961
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,050,645
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,114,527
(1) 長期前受金	41,318,522
(2) 長期前受金収益化累計額()	28,203,995
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-52,774,803
1 本金	1,088,480
2 剰余金	-53,863,283
(1) 資本剰余金	660,629
(2) 利益剰余金	-54,523,912
負債・資本合計	20,789,904
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	52,774,803
資本不足額(繰延収益控除後)()	39,660,276
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	608,536	1,441,072
資本勘定繰入	264,607	264,607
計	873,143	1,705,679

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	754.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	17,830
地財法上の資金不足比率(%)	0.2

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名					
病院名 羽幌病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,702 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	11	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	120	22.9	19.8	22.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	22.9	19.8	22.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.8	16.1	14.2

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	2,819,962,872	
標準財政規模(千円)	1,364,505,815	
財政力指数	0.44355	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	19.1
	将来負担比率(%)	306.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,835,421			
1 経常収益	1,835,261			
(1) 医業収益	947,038			
(うち修正医業収益)	811,297			
入院収益	341,945			
外来収益	431,665			
診療収入計	773,610			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	173,428			
(うち他会計負担金)	135,741			
(2) 医業外収益	888,223			
(うち国・都道府県補助金)	16,798			
(うち他会計補助・負担金)	771,521			
(うち長期前受金戻入)	98,199			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	160			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,825,386			
2 経常費用	1,816,329			
(1) 医業費用	1,671,124			
職員給与費	917,304	96.9	58.7	67.7
材料費	158,955	16.8	26.9	18.3
(うち薬品費)	73,476	7.8	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	85,479	9.0	11.7	9.1
減価償却費	123,442	13.0	8.5	10.3
経費	465,208	49.1	21.5	29.4
(うち委託料)	184,291	19.5	11.5	13.6
研究研修費	2,821			
資産減耗費	3,394			
(2) 医業外費用	145,205			
(うち支払利息)	83,902	8.9	0.9	1.1
(3) 特別損失	9,057			
経常損益	18,932			
純損益	10,035			
累積欠損金	14,691,897			
経常収支比率	101.0		96.5	95.4
医業収支比率	56.7		86.0	79.1
修正医業収支比率	48.5		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	49.4		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	95.8		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	49.4		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	51.1		85.4	79.2

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	20,789,904
1 固定資産	17,882,803
(1) 有形固定資産	16,944,976
(2) 無形固定資産	4,696
(3) 投資その他の資産	933,131
2 流動資産	2,907,101
(1) 現金及び預金	1,526,611
(2) 未収金及び未収収益	1,302,298
(3) 貸倒引当金()	16,149
(4) 貯蔵品	74,119
3 繰延資産	-
負債合計	73,564,707
1 固定負債	55,945,567
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,641,830
(2) その他の企業債	195,065
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(4) その他の長期借入金	29,896,748
(5) 引当金	3,848,384
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,504,613
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,774,747
(2) その他の企業債	17,733
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	585,961
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,050,645
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,114,527
(1) 長期前受金	41,318,522
(2) 長期前受金収益化累計額()	28,203,995
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-52,774,803
1 本金	1,088,480
2 剰余金	-53,863,283
(1) 資本剰余金	660,629
(2) 利益剰余金	-54,523,912
負債・資本合計	20,789,904
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	52,774,803
資本不足額(繰延収益控除後)()	39,660,276
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	690,433	907,262
資本勘定繰入	144,052	144,052
計	834,485	1,051,314

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	754.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	17,830
地財法上の資金不足比率(%)	0.2

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名					
病院名 緑ヶ丘病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	13,670 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	1	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	168	31.1	27.8	28.4
感染症	-	-	-	-
計	168	31.1	27.8	28.4
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	2,819,962,872	
標準財政規模(千円)	1,364,505,815	
財政力指数	0.44355	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	19.1
	将来負担比率(%)	306.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,830,645			
1 経常収益	1,824,488			
(1) 医業収益	794,174			
(うち修正医業収益)	770,830			
入院収益	482,340			
外来収益	273,664			
診療収入計	756,004			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	38,170			
(うち他会計負担金)	23,344			
(2) 医業外収益	1,030,314			
(うち国・都道府県補助金)	7,928			
(うち他会計補助・負担金)	920,541			
(うち長期前受金戻入)	101,196			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,157			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,842,745			
2 経常費用	1,836,574			
(1) 医業費用	1,747,316			
職員給与費	1,170,210	147.3	58.7	104.5
材料費	62,529	7.9	26.9	9.7
(うち薬品費)	40,948	5.2	14.8	6.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,581	2.7	11.7	1.6
減価償却費	127,706	16.1	8.5	12.8
経費	382,868	48.2	21.5	34.3
(うち委託料)	233,641	29.4	11.5	15.4
研究研修費	3,260			
資産減耗費	743			
(2) 医業外費用	89,258			
(うち支払利息)	37,956	4.8	0.9	2.2
(3) 特別損失	6,171			
経常損益	-12,086			
純損益	-12,100			
累積欠損金	16,246,230			
経常収支比率	99.3		96.5	98.6
医業収支比率	45.5		86.0	61.2
修正医業収支比率	44.1		83.2	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	51.7		11.5	34.5
他会計繰入金対医業収益比率	118.9		13.7	57.7
他会計繰入金対総収益比率	51.6		11.5	33.3
実質収益対経常費用比率	47.9		85.4	64.6

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	20,789,904
1 固定資産	17,882,803
(1) 有形固定資産	16,944,976
(2) 無形固定資産	4,696
(3) 投資その他の資産	933,131
2 流動資産	2,907,101
(1) 現金及び預金	1,526,611
(2) 未収金及び未収収益	1,302,298
(3) 貸倒引当金()	16,149
(4) 貯蔵品	74,119
3 繰延資産	-
負債合計	73,564,707
1 固定負債	55,945,567
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,641,830
(2) その他の企業債	195,065
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(4) その他の長期借入金	29,896,748
(5) 引当金	3,848,384
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,504,613
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,774,747
(2) その他の企業債	17,733
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	585,961
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,050,645
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,114,527
(1) 長期前受金	41,318,522
(2) 長期前受金収益化累計額()	28,203,995
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-52,774,803
1 本金	1,088,480
2 剰余金	-53,863,283
(1) 資本剰余金	660,629
(2) 利益剰余金	-54,523,912
負債・資本合計	20,789,904
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	52,774,803
資本不足額(繰延収益控除後)()	39,660,276
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	603,844	943,885
資本勘定繰入	39,179	39,179
計	643,023	983,064

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	754.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	17,830
地財法上の資金不足比率(%)	0.2

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名					
病院名 向陽ヶ丘病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	7,074 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	1	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	105	36.9	45.6	59.2
感染症	-	-	-	-
計	105	36.9	45.6	59.2
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	2,819,962,872	
標準財政規模(千円)	1,364,505,815	
財政力指数	0.44355	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	19.1
	将来負担比率(%)	306.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,531,876			
1 経常収益	1,531,624			
(1) 医業収益	470,538			
(うち修正医業収益)	447,194			
入院収益	236,020			
外来収益	203,061			
診療収入計	439,081			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	31,457			
(うち他会計負担金)	23,344			
(2) 医業外収益	1,061,086			
(うち国・都道府県補助金)	8,042			
(うち他会計補助・負担金)	940,135			
(うち長期前受金戻入)	112,494			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	252			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,547,677			
2 経常費用	1,547,148			
(1) 医業費用	1,456,919			
職員給与費	878,705	186.7	58.7	104.5
材料費	63,286	13.4	26.9	9.7
(うち薬品費)	43,955	9.3	14.8	6.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,331	4.1	11.7	1.6
減価償却費	174,259	37.0	8.5	12.8
経費	326,656	69.4	21.5	34.3
(うち委託料)	235,825	50.1	11.5	15.4
研究研修費	3,372			
資産減耗費	10,641			
(2) 医業外費用	90,229			
(うち支払利息)	33,985	7.2	0.9	2.2
(3) 特別損失	529			
経常損益	-15,524			
純損益	-15,801			
累積欠損金	8,896,238			
経常収支比率	99.0		96.5	98.6
医業収支比率	32.3		86.0	61.2
修正医業収支比率	30.7		83.2	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	62.9		11.5	34.5
他会計繰入金対医業収益比率	204.8		13.7	57.7
他会計繰入金対総収益比率	62.9		11.5	33.3
実質収益対経常費用比率	36.7		85.4	64.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	20,789,904
1 固定資産	17,882,803
(1) 有形固定資産	16,944,976
(2) 無形固定資産	4,696
(3) 投資その他の資産	933,131
2 流動資産	2,907,101
(1) 現金及び預金	1,526,611
(2) 未収金及び未収収益	1,302,298
(3) 貸倒引当金()	16,149
(4) 貯蔵品	74,119
3 繰延資産	-
負債合計	73,564,707
1 固定負債	55,945,567
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,641,830
(2) その他の企業債	195,065
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(4) その他の長期借入金	29,896,748
(5) 引当金	3,848,384
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,504,613
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,774,747
(2) その他の企業債	17,733
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	585,961
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,050,645
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,114,527
(1) 長期前受金	41,318,522
(2) 長期前受金収益化累計額()	28,203,995
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-52,774,803
1 本金	1,088,480
2 剰余金	-53,863,283
(1) 資本剰余金	660,629
(2) 利益剰余金	-54,523,912
負債・資本合計	20,789,904
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	52,774,803
資本不足額(繰延収益控除後)()	39,660,276
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	423,740	963,479
資本勘定繰入	90,562	90,562
計	514,302	1,054,041

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	754.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	17,830
地財法上の資金不足比率(%)	0.2

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名					
病院名 北見病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	5,378 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	6	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	70	58.2	41.7	49.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	70	58.2	41.7	49.6
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	2,819,962,872	
標準財政規模(千円)	1,364,505,815	
財政力指数	0.44355	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	19.1
	将来負担比率(%)	306.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	344,803			
1 経常収益	344,803			
(1) 医業収益	23,344			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	23,344			
(うち他会計負担金)	23,344			
(2) 医業外収益	321,459			
(うち国・都道府県補助金)	40,000			
(うち他会計補助・負担金)	140,784			
(うち長期前受金戻入)	140,675			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	322,269			
2 経常費用	322,269			
(1) 医業費用	271,109			
職員給与費	-	-	58.7	78.7
材料費	-	-	26.9	14.5
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	6.1
減価償却費	203,666	872.5	8.5	11.8
経費	55,822	239.1	21.5	32.3
(うち委託料)	53,932	231.0	11.5	15.3
研究研修費	-			
資産減耗費	11,621			
(2) 医業外費用	51,160			
(うち支払利息)	26,991	115.6	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	22,534			
純損益	22,534			
累積欠損金	2,574,949			
経常収支比率	107.0		96.5	96.4
医業収支比率	8.6		86.0	72.4
修正医業収支比率	-		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	47.6		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	703.1		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	47.6		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	56.1		85.4	73.0

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	20,789,904
1 固定資産	17,882,803
(1) 有形固定資産	16,944,976
(2) 無形固定資産	4,696
(3) 投資その他の資産	933,131
2 流動資産	2,907,101
(1) 現金及び預金	1,526,611
(2) 未収金及び未収収益	1,302,298
(3) 貸倒引当金()	16,149
(4) 貯蔵品	74,119
3 繰延資産	-
負債合計	73,564,707
1 固定負債	55,945,567
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,641,830
(2) その他の企業債	195,065
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(4) その他の長期借入金	29,896,748
(5) 引当金	3,848,384
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,504,613
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,774,747
(2) その他の企業債	17,733
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	585,961
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,050,645
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,114,527
(1) 長期前受金	41,318,522
(2) 長期前受金収益化累計額()	28,203,995
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-52,774,803
1 本金	1,088,480
2 剰余金	-53,863,283
(1) 資本剰余金	660,629
(2) 利益剰余金	-54,523,912
負債・資本合計	20,789,904
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	52,774,803
資本不足額(繰延収益控除後)()	39,660,276
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	162,505	164,128
資本勘定繰入	102,078	132,945
計	264,583	297,073

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	754.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	17,830
地財法上の資金不足比率(%)	0.2

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名					
病 院 名 子ども総合医療・療育センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,116 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	215	53.5	53.1	52.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	215	53.5	53.1	52.5
平均在院日数(一般病床のみ)		15.9	16.8	16.9

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	2,819,962,872	
標準財政規模(千円)	1,364,505,815	
財政力指数	0.44355	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	19.1
	将来負担比率(%)	306.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,703,600			
1 経常収益	6,700,563			
(1) 医業収益	3,525,877			
(うち修正医業収益)	2,691,737			
入院収益	2,142,238			
外来収益	524,534			
診療収入計	2,666,772			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	859,105			
(うち他会計負担金)	834,140			
(2) 医業外収益	3,174,686			
(うち国・都道府県補助金)	39,266			
(うち他会計補助・負担金)	2,185,575			
(うち長期前受金戻入)	285,008			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,037			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,703,600			
2 経常費用	6,665,604			
(1) 医業費用	4,718,855			
職員給与費	3,096,884	87.8	58.7	63.9
材料費	698,653	19.8	26.9	21.1
(うち薬品費)	217,227	6.2	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	481,426	13.7	11.7	10.2
減価償却費	186,664	5.3	8.5	9.3
経費	713,660	20.2	21.5	28.2
(うち委託料)	359,334	10.2	11.5	14.0
研究研修費	9,355			
資産減耗費	13,639			
(2) 医業外費用	1,946,749			
(うち支払利息)	103,992	2.9	0.9	1.0
(3) 特別損失	37,996			
損益	34,959			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.5		96.5	93.2
医業収支比率	74.7		86.0	81.2
修正医業収支比率	57.0		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	45.1		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	85.6		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	45.0		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	55.2		85.4	80.9

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	20,789,904
1 固定資産	17,882,803
(1) 有形固定資産	16,944,976
(2) 無形固定資産	4,696
(3) 投資その他の資産	933,131
2 流動資産	2,907,101
(1) 現金及び預金	1,526,611
(2) 未収金及び未収収益	1,302,298
(3) 貸倒引当金()	16,149
(4) 貯蔵品	74,119
3 繰延資産	-
負債合計	73,564,707
1 固定負債	55,945,567
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,641,830
(2) その他の企業債	195,065
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(4) その他の長期借入金	29,896,748
(5) 引当金	3,848,384
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,504,613
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,774,747
(2) その他の企業債	17,733
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	585,961
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,050,645
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,114,527
(1) 長期前受金	41,318,522
(2) 長期前受金収益化累計額()	28,203,995
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-52,774,803
1 本金	1,088,480
2 剰余金	-53,863,283
(1) 資本剰余金	660,629
(2) 利益剰余金	-54,523,912
負債・資本合計	20,789,904
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	52,774,803
資本不足額(繰延収益控除後)()	39,660,276
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	770,976	3,019,715
資本勘定繰入	381,488	415,288
計	1,152,464	3,435,003

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	754.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	17,830
地財法上の資金不足比率(%)	0.2

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名		札幌市			
病院名		札幌病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	62,339 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	37	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	626	76.3	71.1	59.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	38	32.0	29.8	23.5
感染症	8	-	1.1	1.0
計	672	72.9	67.9	57.2
平均在院日数(一般病床のみ)		10.6	10.6	10.5

設立団体の状況		
人口(人)	1,973,395	
決算規模(千円)	1,200,091,653	
標準財政規模(千円)	553,530,274	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	95.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.9
	将来負担比率(%)	18.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,279,974			
1 経常収益	24,279,974			
(1) 医業収益	21,767,046			
(うち修正医業収益)	21,508,558			
入院収益	15,045,773			
外来収益	6,302,821			
診療収入計	21,348,594			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	418,452			
(うち他会計負担金)	258,488			
(2) 医業外収益	2,512,928			
(うち国・都道府県補助金)	633,598			
(うち他会計補助・負担金)	828,703			
(うち長期前受金戻入)	745,129			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	25,713,945			
2 経常費用	25,713,945			
(1) 医業費用	25,417,045			
職員給与費	11,974,074	55.0	58.7	51.4
材料費	7,592,074	34.9	26.9	32.6
(うち薬品費)	4,579,383	21.0	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,995,146	13.8	11.7	13.9
減価償却費	1,248,295	5.7	8.5	7.4
経費	4,435,645	20.4	21.5	16.9
(うち委託料)	2,919,352	13.4	11.5	10.0
研究研修費	91,956			
資産減耗費	75,001			
(2) 医業外費用	296,900			
(うち支払利息)	115,710	0.5	0.9	0.8
(3) 特別損失	-			
経常損益	-1,433,971			
純損益	-1,433,971			
累積欠損金	5,021,695			
経常収支比率	94.4		96.5	97.6
医業収支比率	85.6		86.0	91.7
修正医業収支比率	84.6		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	4.5		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	5.0		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	4.5		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	90.2		85.4	90.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	30,056,670
1 固定資産	24,784,806
(1) 有形固定資産	23,571,637
(2) 無形固定資産	581,955
(3) 投資その他の資産	631,214
2 流動資産	5,271,864
(1) 現金及び預金	745,187
(2) 未収金及び未収収益	4,408,935
(3) 貸倒引当金()	17,061
(4) 貯蔵品	127,802
3 繰延資産	-
負債合計	20,717,125
1 固定負債	9,831,402
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,801,569
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,029,833
(6) リース債務	-
2 流動負債	6,539,298
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,021,955
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	668,060
(6) リース債務	2,384
(7) 一時借入金	1,500,000
(8) 未払金及び未払費用	2,261,799
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,346,425
(1) 長期前受金	23,194,623
(2) 長期前受金収益化累計額()	18,848,198
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	9,339,545
1 本金	5,342,642
2 剰余金	3,996,903
(1) 資本剰余金	9,018,598
(2) 利益剰余金	-5,021,695
負債・資本合計	30,056,670
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,111,128	1,087,191
資本勘定繰入	1,722,924	1,920,553
計	2,834,052	3,007,744

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	函館市				
病院名	市立函館病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	57,712 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	30	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	582	77.1	76.0	77.3
療養	-	-	-	-
結核	10	16.7	32.3	-
精神	50	-	-	-
感染症	6	0.7	3.6	10.8
計	648	69.5	68.8	69.6
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	12.5	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	251,084	
決算規模(千円)	146,118,777	
標準財政規模(千円)	70,931,385	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.0
	将来負担比率(%)	38.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,106,508			
1 経常収益	23,507,229			
(1) 医業収益	20,940,904			
(うち修正医業収益)	20,521,619			
入院収益	14,678,542			
外来収益	5,582,072			
診療収入計	20,260,614			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	680,290			
(うち他会計負担金)	419,285			
(2) 医業外収益	2,566,325			
(うち国・都道府県補助金)	1,210,820			
(うち他会計補助・負担金)	757,358			
(うち長期前受金戻入)	266,464			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	599,279			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,845,504			
2 経常費用	22,845,447			
(1) 医業費用	21,396,293			
職員給与費	9,892,021	47.2	58.7	51.4
材料費	7,218,318	34.5	26.9	32.6
(うち薬品費)	3,819,207	18.2	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,292,065	15.7	11.7	13.9
減価償却費	646,678	3.1	8.5	7.4
経費	3,554,825	17.0	21.5	16.9
(うち委託料)	2,305,683	11.0	11.5	10.0
研究研修費	82,784			
資産減耗費	1,667			
(2) 医業外費用	1,449,154			
(うち支払利息)	179,884	0.9	0.9	0.8
(3) 特別損失	57			
損益	661,782			
純損益	1,261,004			
累積欠損金	3,845,423			
経常収支比率	102.9		96.5	97.6
医業収支比率	97.9		86.0	91.7
修正医業収支比率	95.9		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	5.0		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	5.6		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	4.9		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	97.7		85.4	90.5

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	16,395,045
1 固定資産	8,851,886
(1) 有形固定資産	8,358,096
(2) 無形固定資産	92,489
(3) 投資その他の資産	401,301
2 流動資産	7,543,159
(1) 現金及び預金	3,427,201
(2) 未収金及び未収収益	4,070,055
(3) 貸倒引当金()	12,701
(4) 貯蔵品	57,624
3 繰延資産	-
負債合計	17,797,943
1 固定負債	12,588,376
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,418,351
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,734,130
(6) リース債務	435,895
2 流動負債	3,988,816
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,552,370
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	668,728
(6) リース債務	202,960
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,490,963
(9) 前受金及び前受収益	8,583
3 繰延収益	1,220,751
(1) 長期前受金	13,767,511
(2) 長期前受金収益化累計額()	12,546,760
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,402,898
1 本金	2,799,168
2 剰余金	-4,202,066
(1) 資本剰余金	779,264
(2) 利益剰余金	-4,981,330
負債・資本合計	16,395,045
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,402,898
資本不足額(繰延収益控除後)()	182,147
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,174,226	1,176,643
資本勘定繰入	908,226	918,417
計	2,082,452	2,095,060

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名 北海道	
市町村・組合名	函館市		
病院名	市立函館恵山病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	4,928 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	4	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	20:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	60	49.8	51.1	56.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	49.8	51.1	56.5
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	251,084
決算規模(千円)	146,118,777
標準財政規模(千円)	70,931,385
財政力指数	0.48
経常収支比率(%)	94.5
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	671,991			
1 経常収益	658,059			
(1) 医業収益	381,071			
(うち修正医業収益)	343,080			
入院収益	229,314			
外来収益	103,281			
診療収入計	332,595			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	48,476			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	276,988			
(うち国・都道府県補助金)	35,407			
(うち他会計補助・負担金)	232,386			
(うち長期前受金戻入)	7,950			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,932			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	658,175			
2 経常費用	658,175			
(1) 医業費用	626,254			
職員給与費	391,194	102.7	58.7	78.7
材料費	42,433	11.1	26.9	14.5
(うち薬品費)	19,887	5.2	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	22,546	5.9	11.7	6.1
減価償却費	43,788	11.5	8.5	11.8
経費	146,782	38.5	21.5	32.3
(うち委託料)	70,936	18.6	11.5	15.3
研究研修費	814			
資産減耗費	1,243			
(2) 医業外費用	31,921			
(うち支払利息)	5,498	1.4	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-116			
純損益	13,816			
累積欠損金	420,309			
経常収支比率	100.0		96.5	96.4
医業収支比率	60.8		86.0	72.4
修正医業収支比率	54.8		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	41.1		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	71.0		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	40.2		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	58.9		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	16,395,045
1 固定資産	8,851,886
(1) 有形固定資産	8,358,096
(2) 無形固定資産	92,489
(3) 投資その他の資産	401,301
2 流動資産	7,543,159
(1) 現金及び預金	3,427,201
(2) 未収金及び未収収益	4,070,055
(3) 貸倒引当金()	12,701
(4) 貯蔵品	57,624
3 繰延資産	-
負債合計	17,797,943
1 固定負債	12,588,376
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,418,351
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,734,130
(6) リース債務	435,895
2 流動負債	3,988,816
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,552,370
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	668,728
(6) リース債務	202,960
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,490,963
(9) 前受金及び前受収益	8,583
3 繰延収益	1,220,751
(1) 長期前受金	13,767,511
(2) 長期前受金収益化累計額()	12,546,760
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,402,898
1 本金	2,799,168
2 剰余金	-4,202,066
(1) 資本剰余金	779,264
(2) 利益剰余金	-4,981,330
負債・資本合計	16,395,045
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,402,898
資本不足額(繰延収益控除後)()	182,147
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	272,305	270,377
資本勘定繰入	18,463	19,292
計	290,768	289,669

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	函館市		
病院名	市立函館南茅部病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,898 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	4	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	37	47.0	65.6	65.5
療養	22	0.2	9.4	19.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	59	29.6	44.7	48.3
平均在院日数(一般病床のみ)		27.6	34.0	33.5

設立団体の状況	
人口(人)	251,084
決算規模(千円)	146,118,777
標準財政規模(千円)	70,931,385
財政力指数	0.48
経常収支比率(%)	94.5
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	593,011			
1 経常収益	588,236			
(1) 医業収益	283,458			
(うち修正医業収益)	245,467			
入院収益	147,230			
外来収益	86,730			
診療収入計	233,960			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	49,498			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	304,778			
(うち国・都道府県補助金)	7,634			
(うち他会計補助・負担金)	294,811			
(うち長期前受金戻入)	11			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,775			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	564,608			
2 経常費用	564,608			
(1) 医業費用	548,851			
職員給与費	373,885	131.9	58.7	78.7
材料費	50,663	17.9	26.9	14.5
(うち薬品費)	24,337	8.6	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,788	7.0	11.7	6.1
減価償却費	5,772	2.0	8.5	11.8
経費	117,542	41.5	21.5	32.3
(うち委託料)	57,530	20.3	11.5	15.3
研究研修費	985			
資産減耗費	4			
(2) 医業外費用	15,757			
(うち支払利息)	456	0.2	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	23,628			
純損益	28,403			
累積欠損金	715,598			
経常収支比率	104.2		96.5	96.4
医業収支比率	51.6		86.0	72.4
修正医業収支比率	44.7		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	56.6		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	117.4		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	56.1		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	45.2		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	16,395,045
1 固定資産	8,851,886
(1) 有形固定資産	8,358,096
(2) 無形固定資産	92,489
(3) 投資その他の資産	401,301
2 流動資産	7,543,159
(1) 現金及び預金	3,427,201
(2) 未収金及び未収収益	4,070,055
(3) 貸倒引当金()	12,701
(4) 貯蔵品	57,624
3 繰延資産	-
負債合計	17,797,943
1 固定負債	12,588,376
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,418,351
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,734,130
(6) リース債務	435,895
2 流動負債	3,988,816
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,552,370
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	668,728
(6) リース債務	202,960
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,490,963
(9) 前受金及び前受収益	8,583
3 繰延収益	1,220,751
(1) 長期前受金	13,767,511
(2) 長期前受金収益化累計額()	12,546,760
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,402,898
1 本金	2,799,168
2 剰余金	-4,202,066
(1) 資本剰余金	779,264
(2) 利益剰余金	-4,981,330
負債・資本合計	16,395,045
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,402,898
資本不足額(繰延収益控除後)()	182,147
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	326,793	332,802
資本勘定繰入	4,047	4,773
計	330,840	337,575

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	小樽市				
病院名	小樽病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,984 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	302	88.6	84.8	81.7
療養	-	-	-	-
結核	4	50.8	33.1	35.6
精神	80	70.7	65.0	69.4
感染症	2	29.6	24.1	23.3
計	388	84.2	79.8	78.4
平均在院日数(一般病床のみ)		13.6	11.2	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	111,299	
決算規模(千円)	61,956,358	
標準財政規模(千円)	31,858,052	
財政力指数	0.47	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.0
	将来負担比率(%)	25.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,003,703			
1 経常収益	12,000,227			
(1) 医業収益	10,865,595			
(うち修正医業収益)	10,361,406			
入院収益	7,085,393			
外来収益	3,107,362			
診療収入計	10,192,755			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	672,840			
(うち他会計負担金)	504,189			
(2) 医業外収益	1,134,632			
(うち国・都道府県補助金)	139,794			
(うち他会計補助・負担金)	656,530			
(うち長期前受金戻入)	92,505			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,476			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,976,524			
2 経常費用	12,963,105			
(1) 医業費用	12,312,084			
職員給与費	6,108,346	56.2	58.7	59.2
材料費	3,011,275	27.7	26.9	26.1
(うち薬品費)	1,525,217	14.0	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,486,058	13.7	11.7	11.1
減価償却費	872,646	8.0	8.5	8.5
経費	2,269,020	20.9	21.5	21.3
(うち委託料)	1,235,886	11.4	11.5	11.7
研究研修費	42,208			
資産減耗費	8,589			
(2) 医業外費用	651,021			
(うち支払利息)	34,886	0.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	13,419			
損益	-962,878			
純損益	-972,821			
累積欠損金	13,139,996			
経常収支比率	92.6		96.5	95.9
医業収支比率	88.3		86.0	86.4
修正医業収支比率	84.2		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	9.7		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	10.7		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	9.7		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	83.6		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	12,327,849
1 固定資産	9,962,044
(1) 有形固定資産	9,880,689
(2) 無形固定資産	1,175
(3) 投資その他の資産	80,180
2 流動資産	2,365,805
(1) 現金及び預金	576,162
(2) 未収金及び未収収益	1,743,996
(3) 貸倒引当金()	1,955
(4) 貯蔵品	47,602
3 繰延資産	-
負債合計	16,029,620
1 固定負債	12,822,204
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,468,324
(2) その他の企業債	734,064
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,619,816
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,169,780
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	788,413
(2) その他の企業債	65,936
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	344,001
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	887,308
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,037,636
(1) 長期前受金	2,254,290
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,216,654
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-3,701,771
1 資本金	8,589,468
2 剰余金	-12,291,239
(1) 資本剰余金	848,757
(2) 利益剰余金	-13,139,996
負債・資本合計	12,327,849
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	3,701,771
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,664,135
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,159,007	1,160,719
資本勘定繰入	362,275	446,241
計	1,521,282	1,606,960

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	120.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	旭川市				
病院名	市立旭川病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	43,805 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨が感 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	372	52.3	48.2	46.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	65.3	44.4	61.7
感染症	9	1.5	9.6	3.4
計	481	54.0	46.7	49.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	12.1	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	329,306	
決算規模(千円)	182,404,023	
標準財政規模(千円)	84,466,207	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	96.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	82.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,093,890			
1 経常収益	11,771,850			
(1) 医業収益	10,073,303			
(うち修正医業収益)	9,885,299			
入院収益	6,474,022			
外来収益	3,192,716			
診療収入計	9,666,738			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	406,565			
(うち他会計負担金)	188,004			
(2) 医業外収益	1,698,547			
(うち国・都道府県補助金)	269,819			
(うち他会計補助・負担金)	793,233			
(うち長期前受金戻入)	525,179			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	322,040			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,695,155			
2 経常費用	12,633,740			
(1) 医業費用	12,289,100			
職員給与費	6,283,850	62.4	58.7	55.7
材料費	3,191,828	31.7	26.9	28.9
(うち薬品費)	2,233,406	22.2	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	958,422	9.5	11.7	12.7
減価償却費	815,837	8.1	8.5	7.9
経費	1,937,707	19.2	21.5	18.1
(うち委託料)	1,165,100	11.6	11.5	10.0
研究研修費	44,957			
資産減耗費	14,921			
(2) 医業外費用	344,640			
(うち支払利息)	16,969	0.2	0.9	0.9
(3) 特別損失	61,415			
経常損益	-861,890			
純損益	-601,265			
累積欠損金	12,504,297			
経常収支比率	93.2		96.5	97.5
医業収支比率	82.0		86.0	90.0
修正医業収支比率	80.4		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.3		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	9.7		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	8.1		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	85.4		85.4	88.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	12,613,123
1 固定資産	9,660,940
(1) 有形固定資産	8,587,416
(2) 無形固定資産	1,771
(3) 投資その他の資産	1,071,753
2 流動資産	2,952,183
(1) 現金及び預金	631,872
(2) 未収金及び未収収益	2,030,340
(3) 貸倒引当金()	23,273
(4) 貯蔵品	190,273
3 繰延資産	-
負債合計	15,192,014
1 固定負債	10,939,555
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,421,231
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,518,324
(6) リース債務	-
2 流動負債	3,278,897
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,374,541
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	487,958
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,378,264
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	973,562
(1) 長期前受金	9,850,634
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,877,072
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-2,578,891
1 本金	9,925,406
2 剰余金	-12,504,297
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-12,504,297
負債・資本合計	12,613,123
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	2,578,891
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,605,329
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	981,237	981,237
資本勘定繰入	719,019	734,315
計	1,700,256	1,715,552

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	124.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	室蘭市				
病院名	総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ドI訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	37,036 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨感災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	379	67.6	66.7	70.2
療養	-	-	-	-
結核	24	10.0	10.6	8.7
精神	120	65.3	60.4	68.4
感染症	4	-	-	-
計	527	64.0	62.4	66.6
平均在院日数(一般病床のみ)		19.6	21.5	18.9

設立団体の状況		
人口(人)	82,383	
決算規模(千円)	49,416,592	
標準財政規模(千円)	22,897,910	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.4
	将来負担比率(%)	55.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,925,868			
1 経常収益	8,924,177			
(1) 医業収益	7,917,508			
(うち修正医業収益)	7,800,968			
入院収益	5,733,461			
外来収益	1,904,256			
診療収入計	7,637,717			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	279,791			
(うち他会計負担金)	116,540			
(2) 医業外収益	1,006,669			
(うち国・都道府県補助金)	109,641			
(うち他会計補助・負担金)	757,822			
(うち長期前受金戻入)	38,352			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,691			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,077,722			
2 経常費用	10,029,633			
(1) 医業費用	9,607,592			
職員給与費	5,418,012	68.4	58.7	51.4
材料費	1,722,009	21.7	26.9	32.6
(うち薬品費)	755,808	9.5	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	952,720	12.0	11.7	13.9
減価償却費	580,857	7.3	8.5	7.4
経費	1,847,892	23.3	21.5	16.9
(うち委託料)	948,618	12.0	11.5	10.0
研究研修費	31,033			
資産減耗費	7,789			
(2) 医業外費用	422,041			
(うち支払利息)	78,779	1.0	0.9	0.8
(3) 特別損失	48,089			
経常損益	-1,105,456			
純損益	-1,151,854			
累積欠損金	16,595,834			
経常収支比率	89.0		96.5	97.6
医業収支比率	82.4		86.0	91.7
修正医業収支比率	81.2		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	11.0		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	9.8		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	80.3		85.4	90.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	8,759,533
1 固定資産	7,261,830
(1) 有形固定資産	7,186,252
(2) 無形固定資産	2,894
(3) 投資その他の資産	72,684
2 流動資産	1,497,703
(1) 現金及び預金	195,076
(2) 未収金及び未収収益	1,260,496
(3) 貸倒引当金()	14,983
(4) 貯蔵品	57,114
3 繰延資産	-
負債合計	7,787,380
1 固定負債	4,722,163
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,602,777
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,119,386
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,731,745
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,096,014
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	314,266
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	800,000
(8) 未払金及び未払費用	476,971
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	333,472
(1) 長期前受金	912,725
(2) 長期前受金収益化累計額()	579,253
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	972,153
1 本金	17,567,987
2 剰余金	-16,595,834
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-16,595,834
負債・資本合計	8,759,533
不良債務	138,028
実質資金不足額	138,028
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	843,824	874,362
資本勘定繰入	741,022	745,815
計	1,584,846	1,620,177

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	138,028	1.7
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	209.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	138,028
地財法上の資金不足比率(%)	1.7

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	釧路市				
病院名	市立釧路総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	46,688 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	535	75.6	72.2	76.3
療養	-	-	-	-
結核	10	23.9	8.5	18.8
精神	50	53.5	38.7	35.1
感染症	4	-	-	-
計	599	72.4	66.9	68.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	11.6	12.0

設立団体の状況		
人口(人)	165,077	
決算規模(千円)	101,615,354	
標準財政規模(千円)	49,274,541	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.4
	将来負担比率(%)	42.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,041,452			
1 経常収益	18,961,281			
(1) 医業収益	16,931,497			
(うち修正医業収益)	16,620,059			
入院収益	11,265,859			
外来収益	5,195,138			
診療収入計	16,460,997			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	470,500			
(うち他会計負担金)	311,438			
(2) 医業外収益	2,029,784			
(うち国・都道府県補助金)	649,648			
(うち他会計補助・負担金)	1,037,683			
(うち長期前受金戻入)	168,643			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	80,171			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,639,732			
2 経常費用	19,447,652			
(1) 医業費用	18,283,731			
職員給与費	8,348,981	49.3	58.7	51.4
材料費	5,103,997	30.1	26.9	32.6
(うち薬品費)	2,869,476	16.9	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,220,416	13.1	11.7	13.9
減価償却費	1,340,641	7.9	8.5	7.4
経費	3,451,893	20.4	21.5	16.9
(うち委託料)	2,149,504	12.7	11.5	10.0
研究研修費	37,573			
資産減耗費	646			
(2) 医業外費用	1,163,921			
(うち支払利息)	103,381	0.6	0.9	0.8
(3) 特別損失	192,080			
経常損益	-486,371			
純損益	-598,280			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.5		96.5	97.6
医業収支比率	92.6		86.0	91.7
修正医業収支比率	90.9		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.1		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	8.0		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	7.1		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	90.6		85.4	90.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	19,753,297
1 固定資産	11,108,258
(1) 有形固定資産	10,343,782
(2) 無形固定資産	4,478
(3) 投資その他の資産	759,998
2 流動資産	8,645,039
(1) 現金及び預金	5,244,641
(2) 未収金及び未収収益	3,275,247
(3) 貸倒引当金()	8,700
(4) 貯蔵品	88,811
3 繰延資産	-
負債合計	15,742,833
1 固定負債	11,516,519
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,049,739
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,466,780
(6) リース債務	-
2 流動負債	3,182,134
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,110,862
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	576,232
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,440,151
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,044,180
(1) 長期前受金	4,908,011
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,863,831
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,010,464
1 資本金	1,288,219
2 剰余金	2,722,245
(1) 資本剰余金	109,596
(2) 利益剰余金	2,612,649
負債・資本合計	19,753,297
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,347,061	1,349,121
資本勘定繰入	469,010	100,000
計	1,816,071	1,449,121

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	北見市		
病院名	北見市国民健康保険常呂病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	115,480	
決算規模(千円)	76,833,171	
標準財政規模(千円)	36,824,166	
財政力指数	0.43	
経常収支比率(%)	99.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	147.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	630			
1 経常収益	630			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	630			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	630			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	630			
2 経常費用	630			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	89.5
材料費	-	-	26.9	13.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	5.5
減価償却費	-	-	8.5	14.0
経費	-	-	21.5	46.3
(うち委託料)	-	-	11.5	22.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	630			
(うち支払利息)	630	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	97.3
医業収支比率	-		86.0	60.9
修正医業収支比率	-		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	-		85.4	63.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	630
資本勘定繰入	-	6,576
計	-	7,206

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	岩見沢市				
病院名	総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透末ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,927 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	365	56.1	55.7	56.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	115	53.1	60.6	71.7
感染症	4	-	-	-
計	484	55.0	56.4	59.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	12.3	13.0

設立団体の状況		
人口(人)	79,306	
決算規模(千円)	49,073,252	
標準財政規模(千円)	24,799,776	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	96.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	77.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,967,857			
1 経常収益	10,967,857			
(1) 医業収益	10,001,616			
(うち修正医業収益)	9,677,885			
入院収益	4,771,620			
外来収益	4,699,976			
診療収入計	9,471,596			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	530,020			
(うち他会計負担金)	323,731			
(2) 医業外収益	966,241			
(うち国・都道府県補助金)	234,909			
(うち他会計補助・負担金)	566,269			
(うち長期前受金戻入)	58,902			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,019,193			
2 経常費用	12,011,033			
(1) 医業費用	11,309,006			
職員給与費	5,269,934	52.7	58.7	55.7
材料費	3,468,897	34.7	26.9	28.9
(うち薬品費)	2,497,235	25.0	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	956,362	9.6	11.7	12.7
減価償却費	458,427	4.6	8.5	7.9
経費	2,073,739	20.7	21.5	18.1
(うち委託料)	935,282	9.4	11.5	10.0
研究研修費	35,301			
資産減耗費	2,708			
(2) 医業外費用	702,027			
(うち支払利息)	25,426	0.3	0.9	0.9
(3) 特別損失	8,160			
経常損益	-1,043,176			
純損益	-1,051,336			
累積欠損金	2,671,062			
経常収支比率	91.3		96.5	97.5
医業収支比率	88.4		86.0	90.0
修正医業収支比率	85.6		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.1		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	8.9		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	8.1		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	83.9		85.4	88.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	8,453,314
1 固定資産	4,867,216
(1) 有形固定資産	4,771,578
(2) 無形固定資産	5,595
(3) 投資その他の資産	90,043
2 流動資産	3,586,098
(1) 現金及び預金	1,691,004
(2) 未収金及び未収収益	1,849,159
(3) 貸倒引当金()	372
(4) 貯蔵品	45,807
3 繰延資産	-
負債合計	6,252,888
1 固定負債	4,270,427
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,805,269
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,465,158
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,448,859
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	386,955
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	352,844
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	663,599
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	533,602
(1) 長期前受金	1,326,779
(2) 長期前受金収益化累計額()	793,177
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,200,426
1 資本金	4,621,891
2 剰余金	-2,421,465
(1) 資本剰余金	132,559
(2) 利益剰余金	-2,554,024
負債・資本合計	8,453,314
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	1,000,390	890,000
資本勘定繰入	322,112	-
計	1,322,502	890,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	37.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	岩見沢市				
病院名	栗沢病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,174 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	85	69.7	48.8	55.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	85	69.7	48.8	55.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	79,306	
決算規模(千円)	49,073,252	
標準財政規模(千円)	24,799,776	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	96.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	77.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	736,632			
1 経常収益	736,632			
(1) 医業収益	623,143			
(うち修正医業収益)	564,622			
入院収益	414,861			
外来収益	131,812			
診療収入計	546,673			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	76,470			
(うち他会計負担金)	58,521			
(2) 医業外収益	113,489			
(うち国・都道府県補助金)	1,200			
(うち他会計補助・負担金)	101,479			
(うち長期前受金戻入)	2,986			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	820,423			
2 経常費用	820,423			
(1) 医業費用	789,594			
職員給与費	465,539	74.7	58.7	78.7
材料費	138,430	22.2	26.9	14.5
(うち薬品費)	100,118	16.1	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	35,631	5.7	11.7	6.1
減価償却費	21,613	3.5	8.5	11.8
経費	162,837	26.1	21.5	32.3
(うち委託料)	68,267	11.0	11.5	15.3
研究研修費	1,175			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	30,829			
(うち支払利息)	547	0.1	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-83,791			
純損失	-83,791			
累積欠損金	1,324,382			
経常収支比率	89.8		96.5	96.4
医業収支比率	78.9		86.0	72.4
修正医業収支比率	71.5		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.7		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	25.7		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	21.7		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	70.3		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	8,453,314
1 固定資産	4,867,216
(1) 有形固定資産	4,771,578
(2) 無形固定資産	5,595
(3) 投資その他の資産	90,043
2 流動資産	3,586,098
(1) 現金及び預金	1,691,004
(2) 未収金及び未収収益	1,849,159
(3) 貸倒引当金()	372
(4) 貯蔵品	45,807
3 繰延資産	-
負債合計	6,252,888
1 固定負債	4,270,427
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,805,269
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,465,158
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,448,859
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	386,955
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	352,844
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	663,599
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	533,602
(1) 長期前受金	1,326,779
(2) 長期前受金収益化累計額()	793,177
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,200,426
1 本金	4,621,891
2 剰余金	-2,421,465
(1) 資本剰余金	132,559
(2) 利益剰余金	-2,554,024
負債・資本合計	8,453,314
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	197,328	160,000
資本勘定繰入	9,946	-
計	207,274	160,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	37.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	留萌市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	22,146 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	246	47.9	51.8	56.2
療養	50	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	300	39.3	42.5	46.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.6	13.8	13.7

設立団体の状況		
人口(人)	20,114	
決算規模(千円)	16,717,891	
標準財政規模(千円)	7,777,925	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	94.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,382,984			
1 経常収益	5,369,841			
(1) 医業収益	3,894,328			
(うち修正医業収益)	3,654,632			
入院収益	2,086,071			
外来収益	1,431,870			
診療収入計	3,517,941			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	376,387			
(うち他会計負担金)	239,696			
(2) 医業外収益	1,475,513			
(うち国・都道府県補助金)	286,203			
(うち他会計補助・負担金)	728,618			
(うち長期前受金戻入)	215,687			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,143			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,972,338			
2 経常費用	5,971,350			
(1) 医業費用	5,666,073			
職員給与費	2,654,701	68.2	58.7	59.2
材料費	944,479	24.3	26.9	26.1
(うち薬品費)	466,773	12.0	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	474,060	12.2	11.7	11.1
減価償却費	402,491	10.3	8.5	8.5
経費	1,642,643	42.2	21.5	21.3
(うち委託料)	987,221	25.4	11.5	11.7
研究研修費	18,137			
資産減耗費	3,622			
(2) 医業外費用	305,277			
(うち支払利息)	54,481	1.4	0.9	1.0
(3) 特別損失	988			
経常損益	-601,509			
純損益	-589,354			
累積欠損金	10,744,773			
経常収支比率	89.9		96.5	95.9
医業収支比率	68.7		86.0	86.4
修正医業収支比率	64.5		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	18.0		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	24.9		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	18.0		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	73.7		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,415,691
1 固定資産	4,562,062
(1) 有形固定資産	4,559,858
(2) 無形固定資産	1,858
(3) 投資その他の資産	346
2 流動資産	853,629
(1) 現金及び預金	276,178
(2) 未収金及び未収収益	555,820
(3) 貸倒引当金()	4,737
(4) 貯蔵品	26,236
3 繰延資産	-
負債合計	6,459,703
1 固定負債	4,327,430
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,355,714
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	971,716
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,108,111
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	609,679
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	172,934
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	303,975
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,024,162
(1) 長期前受金	2,064,838
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,040,676
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,044,012
1 資本金	8,226,777
2 剰余金	-9,270,789
(1) 資本剰余金	1,473,984
(2) 利益剰余金	-10,744,773
負債・資本合計	5,415,691
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,044,012
資本不足額(繰延収益控除後)()	19,850
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	693,334	968,314
資本勘定繰入	370,131	391,572
計	1,063,465	1,359,886

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	275.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	苫小牧市		
病院名	苫小牧市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透1未訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	30,323 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	23	指定病院の状況	救臨感災輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	378	61.5	51.0	53.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	12.2	218.6	51.9
計	382	61.0	52.7	53.8
平均在院日数(一般病床のみ)		9.5	9.2	9.5

設立団体の状況	
人口(人)	170,113
決算規模(千円)	90,205,992
標準財政規模(千円)	41,683,675
財政力指数	0.75
経常収支比率(%)	89.4
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	7.7
将来負担比率(%)	71.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,406,824			
1 経常収益	11,375,827			
(1) 医業収益	9,405,856			
(うち修正医業収益)	8,931,821			
入院収益	5,855,865			
外来収益	2,711,703			
診療収入計	8,567,568			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	838,288			
(うち他会計負担金)	474,035			
(2) 医業外収益	1,969,971			
(うち国・都道府県補助金)	360,787			
(うち他会計補助・負担金)	863,380			
(うち長期前受金戻入)	617,392			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	30,997			
(うち他会計繰入金)	29,350			
総費用	12,001,842			
2 経常費用	11,865,410			
(1) 医業費用	11,292,621			
職員給与費	5,382,510	57.2	58.7	59.2
材料費	2,192,454	23.3	26.9	26.1
(うち薬品費)	1,146,960	12.2	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	971,108	10.3	11.7	11.1
減価償却費	964,433	10.3	8.5	8.5
経費	2,698,383	28.7	21.5	21.3
(うち委託料)	1,315,827	14.0	11.5	11.7
研究研修費	45,358			
資産減耗費	9,483			
(2) 医業外費用	572,789			
(うち支払利息)	146,040	1.6	0.9	1.0
(3) 特別損失	136,432			
経常損益	-489,583			
純損益	-595,018			
累積欠損金	5,658,688			
経常収支比率	95.9		96.5	95.9
医業収支比率	83.3		86.0	86.4
修正医業収支比率	79.1		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	11.8		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	14.2		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	12.0		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	84.6		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	11,162,845
1 固定資産	7,891,017
(1) 有形固定資産	7,439,362
(2) 無形固定資産	15,866
(3) 投資その他の資産	435,789
2 流動資産	3,271,828
(1) 現金及び預金	1,719,752
(2) 未収金及び未収収益	1,484,843
(3) 貸倒引当金()	9,188
(4) 貯蔵品	76,421
3 繰延資産	-
負債合計	12,573,802
1 固定負債	9,318,151
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,898,416
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,328,521
(6) リース債務	91,214
2 流動負債	2,040,667
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	863,920
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	378,260
(6) リース債務	30,471
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	721,004
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,214,984
(1) 長期前受金	8,240,427
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,025,443
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,410,957
1 資本金	4,188,458
2 剰余金	-5,599,415
(1) 資本剰余金	59,273
(2) 利益剰余金	-5,658,688
負債・資本合計	11,162,845
不良債権	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,410,957
資本不足額(繰延収益控除後)()	195,973
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,305,888	1,366,765
資本勘定繰入	513,690	513,690
計	1,819,578	1,880,455

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	60.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	稚内市				
病院名	稚内病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	20,356 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	258	48.0	42.8	41.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	70	26.7	30.9	38.5
感染症	4	1.0	112.6	111.6
計	332	43.0	41.1	42.0
平均在院日数(一般病床のみ)		9.5	10.3	9.8

設立団体の状況		
人口(人)	33,563	
決算規模(千円)	28,726,187	
標準財政規模(千円)	12,676,061	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	32.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,600,776			
1 経常収益	6,597,968			
(1) 医業収益	5,202,764			
(うち修正医業収益)	4,960,091			
入院収益	2,614,793			
外来収益	2,227,267			
診療収入計	4,842,060			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	360,704			
(うち他会計負担金)	242,673			
(2) 医業外収益	1,395,204			
(うち国・都道府県補助金)	139,948			
(うち他会計補助・負担金)	1,180,310			
(うち長期前受金戻入)	47,220			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,808			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,515,423			
2 経常費用	7,496,418			
(1) 医業費用	7,174,822			
職員給与費	3,677,907	70.7	58.7	59.2
材料費	1,458,410	28.0	26.9	26.1
(うち薬品費)	862,116	16.6	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	596,294	11.5	11.7	11.1
減価償却費	426,853	8.2	8.5	8.5
経費	1,566,933	30.1	21.5	21.3
(うち委託料)	614,882	11.8	11.5	11.7
研究研修費	35,693			
資産減耗費	9,026			
(2) 医業外費用	321,596			
(うち支払利息)	7,065	0.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	19,005			
経常損益	-898,450			
純損益	-914,647			
累積欠損金	9,714,447			
経常収支比率	88.0		96.5	95.9
医業収支比率	72.5		86.0	86.4
修正医業収支比率	69.1		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	21.6		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	27.4		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	21.6		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	69.0		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	7,433,812
1 固定資産	5,268,104
(1) 有形固定資産	4,791,719
(2) 無形固定資産	3,279
(3) 投資その他の資産	473,106
2 流動資産	2,165,708
(1) 現金及び預金	1,063,183
(2) 未収金及び未収収益	870,921
(3) 貸倒引当金()	2,777
(4) 貯蔵品	1,102
3 繰延資産	-
負債合計	6,077,468
1 固定負債	4,206,275
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,445,856
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,757,633
(6) リース債務	2,786
2 流動負債	1,443,161
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	410,313
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	259,676
(6) リース債務	1,922
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	505,632
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	428,032
(1) 長期前受金	1,275,218
(2) 長期前受金収益化累計額()	847,186
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,356,344
1 本金	10,362,603
2 剰余金	-9,006,259
(1) 資本剰余金	961,001
(2) 利益剰余金	-9,967,260
負債・資本合計	7,433,812
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,421,440	1,422,983
資本勘定繰入	220,945	316,908
計	1,642,385	1,739,891

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	190.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	稚内市		
病院名	稚内こまどり病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,570 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	1	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	否
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	45	-	-	45.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	-	-	45.8
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	33,563	
決算規模(千円)	28,726,187	
標準財政規模(千円)	12,676,061	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	32.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	113,346			
1 経常収益	113,277			
(1) 医業収益	39,169			
(うち修正医業収益)	39,169			
入院収益	-			
外来収益	34,164			
診療収入計	34,164			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	5,005			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	74,108			
(うち国・都道府県補助金)	540			
(うち他会計補助・負担金)	73,023			
(うち長期前受金戻入)	246			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	69			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	101,647			
2 経常費用	101,608			
(1) 医業費用	98,190			
職員給与費	56,248	143.6	58.7	89.5
材料費	2,686	6.9	26.9	13.4
(うち薬品費)	1,582	4.0	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,104	2.8	11.7	5.5
減価償却費	2,023	5.2	8.5	14.0
経費	37,202	95.0	21.5	46.3
(うち委託料)	16,072	41.0	11.5	22.2
研究研修費	31			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	3,418			
(うち支払利息)	34	0.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	39			
損益	11,669			
純損益	11,699			
累積欠損金	252,813			
経常収支比率	111.5		96.5	97.3
医業収支比率	39.9		86.0	60.9
修正医業収支比率	39.9		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	64.5		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	186.4		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	64.4		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	39.6		85.4	63.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	7,433,812
1 固定資産	5,268,104
(1) 有形固定資産	4,791,719
(2) 無形固定資産	3,279
(3) 投資その他の資産	473,106
2 流動資産	2,165,708
(1) 現金及び預金	1,063,183
(2) 未収金及び未収収益	870,921
(3) 貸倒引当金()	2,777
(4) 貯蔵品	1,102
3 繰延資産	-
負債合計	6,077,468
1 固定負債	4,206,275
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,445,856
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,757,633
(6) リース債務	2,786
2 流動負債	1,443,161
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	410,313
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	259,676
(6) リース債務	1,922
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	505,632
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	428,032
(1) 長期前受金	1,275,218
(2) 長期前受金収益化累計額()	847,186
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,356,344
1 本金	10,362,603
2 剰余金	-9,006,259
(1) 資本剰余金	961,001
(2) 利益剰余金	-9,967,260
負債・資本合計	7,433,812
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	73,019	73,023
資本勘定繰入	1,968	2,973
計	74,987	75,996

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	190.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	美唄市				
病院名	市立美唄病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,261 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	53	37.1	30.8	31.2
療養	45	39.7	47.6	54.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	38.3	38.5	42.0
平均在院日数(一般病床のみ)		16.8	16.7	14.5

設立団体の状況		
人口(人)	20,413	
決算規模(千円)	20,984,543	
標準財政規模(千円)	8,715,775	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	74.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,412,201			
1 経常収益	1,409,408			
(1) 医業収益	1,090,146			
(うち修正医業収益)	883,780			
入院収益	396,069			
外来収益	438,652			
診療収入計	834,721			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	255,425			
(うち他会計負担金)	206,366			
(2) 医業外収益	319,262			
(うち国・都道府県補助金)	7,211			
(うち他会計補助・負担金)	298,365			
(うち長期前受金戻入)	7,196			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,793			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,541,563			
2 経常費用	1,537,661			
(1) 医業費用	1,507,603			
職員給与費	909,040	83.4	58.7	78.7
材料費	141,834	13.0	26.9	14.5
(うち薬品費)	65,863	6.0	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	63,980	5.9	11.7	6.1
減価償却費	75,865	7.0	8.5	11.8
経費	378,657	34.7	21.5	32.3
(うち委託料)	105,610	9.7	11.5	15.3
研究研修費	2,171			
資産減耗費	36			
(2) 医業外費用	30,058			
(うち支払利息)	1,699	0.2	0.9	1.1
(3) 特別損失	3,902			
損益	-128,253			
純損益	-129,362			
累積欠損金	2,254,709			
経常収支比率	91.7		96.5	96.4
医業収支比率	72.3		86.0	72.4
修正医業収支比率	58.6		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	35.8		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	46.3		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	35.7		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	58.8		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	7,915,188
1 固定資産	5,081,287
(1) 有形固定資産	4,665,160
(2) 無形固定資産	522
(3) 投資その他の資産	415,605
2 流動資産	2,833,901
(1) 現金及び預金	2,688,832
(2) 未収金及び未収収益	143,839
(3) 貸倒引当金()	56
(4) 貯蔵品	1,286
3 繰延資産	-
負債合計	7,404,516
1 固定負債	4,094,742
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,423,437
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	671,305
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,224,016
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	152,465
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	76,457
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,988,593
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,085,758
(1) 長期前受金	1,155,695
(2) 長期前受金収益化累計額()	69,937
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	510,672
1 資本金	2,759,560
2 剰余金	-2,248,888
(1) 資本剰余金	5,821
(2) 利益剰余金	-2,254,709
負債・資本合計	7,915,188
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	490,667	504,731
資本勘定繰入	134,998	1,276,090
計	625,665	1,780,821

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	206.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	芦別市				
病院名	芦別病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,574 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	輸		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	60	59.6	73.7	68.8
療養	39	58.9	61.1	61.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	59.3	68.7	66.0
平均在院日数(一般病床のみ)		24.5	26.7	22.7

設立団体の状況		
人口(人)	12,555	
決算規模(千円)	11,936,531	
標準財政規模(千円)	6,236,358	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	95.6	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.7
	将来負担比率(%)	65.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,897,248			
1 経常収益	1,778,886			
(1) 医業収益	1,323,702			
(うち修正医業収益)	1,166,831			
入院収益	649,338			
外来収益	466,365			
診療収入計	1,115,703			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	207,999			
(うち他会計負担金)	156,871			
(2) 医業外収益	455,184			
(うち国・都道府県補助金)	62,732			
(うち他会計補助・負担金)	314,058			
(うち長期前受金戻入)	66,536			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	118,362			
(うち他会計繰入金)	100,000			
総費用	1,882,320			
2 経常費用	1,876,309			
(1) 医業費用	1,809,576			
職員給与費	993,202	75.0	58.7	78.7
材料費	189,678	14.3	26.9	14.5
(うち薬品費)	96,705	7.3	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	92,973	7.0	11.7	6.1
減価償却費	108,876	8.2	8.5	11.8
経費	513,702	38.8	21.5	32.3
(うち委託料)	207,535	15.7	11.5	15.3
研究研修費	2,188			
資産減耗費	1,930			
(2) 医業外費用	66,733			
(うち支払利息)	2,180	0.2	0.9	1.1
(3) 特別損失	6,011			
経常損益	-97,423			
純損益	14,928			
累積欠損金	1,156,654			
経常収支比率	94.8		96.5	96.4
医業収支比率	73.1		86.0	72.4
修正医業収支比率	64.5		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	26.5		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	35.6		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	30.1		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	69.7		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,783,204
1 固定資産	1,528,910
(1) 有形固定資産	1,412,764
(2) 無形固定資産	1,583
(3) 投資その他の資産	114,563
2 流動資産	254,294
(1) 現金及び預金	65,283
(2) 未収金及び未収収益	188,507
(3) 貸倒引当金()	162
(4) 貯蔵品	469
3 繰延資産	-
負債合計	1,565,460
1 固定負債	315,832
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	219,545
(2) その他の企業債	96,287
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	536,427
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	88,455
(2) その他の企業債	8,754
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	63,913
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	290,000
(8) 未払金及び未払費用	77,010
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	713,201
(1) 長期前受金	3,460,158
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,746,957
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	217,744
1 資本金	1,219,906
2 剰余金	-1,002,162
(1) 資本剰余金	154,492
(2) 利益剰余金	-1,156,654
負債・資本合計	1,783,204
不良債務	193,678
実質資金不足額	193,678
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	458,241	570,929
資本勘定繰入	36,835	43,592
計	495,076	614,521

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	193,678	14.6
令和4年度	205,419	13.8
令和3年度	325,712	23.1

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	87.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	289,965
地財法上の資金不足比率(%)	21.9

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	江別市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	25,989 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業	許可	看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	278	54.1	54.2	68.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	59	51.6	41.0	74.6
感染症	-	-	-	-
計	337	53.7	51.9	68.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.9	12.5	12.6

設立団体の状況		
人口(人)	121,056	
決算規模(千円)	54,737,246	
標準財政規模(千円)	27,551,604	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,919,651			
1 経常収益	6,919,651			
(1) 医業収益	5,700,942			
(うち修正医業収益)	5,317,802			
入院収益	3,214,126			
外来収益	1,740,003			
診療収入計	4,954,129			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	746,813			
(うち他会計負担金)	383,140			
(2) 医業外収益	1,218,709			
(うち国・都道府県補助金)	34,588			
(うち他会計補助・負担金)	783,510			
(うち長期前受金戻入)	71,584			
(うち資本費繰入収益)	300,064			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,079,523			
2 経常費用	7,051,280			
(1) 医業費用	6,738,612			
職員給与費	3,675,864	64.5	58.7	59.2
材料費	870,351	15.3	26.9	26.1
(うち薬品費)	349,310	6.1	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	517,795	9.1	11.7	11.1
減価償却費	529,290	9.3	8.5	8.5
経費	1,626,115	28.5	21.5	21.3
(うち委託料)	748,777	13.1	11.5	11.7
研究研修費	23,715			
資産減耗費	13,277			
(2) 医業外費用	312,668			
(うち支払利息)	60,354	1.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	28,243			
損益	-131,629			
純損益	-159,872			
累積欠損金	474,626			
経常収支比率	98.1		96.5	95.9
医業収支比率	84.6		86.0	86.4
修正医業収支比率	78.9		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	16.9		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	20.5		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	16.9		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	81.6		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	9,009,603
1 固定資産	7,980,385
(1) 有形固定資産	7,892,944
(2) 無形固定資産	853
(3) 投資その他の資産	86,588
2 流動資産	1,029,218
(1) 現金及び預金	197,133
(2) 未収金及び未収収益	810,390
(3) 貸倒引当金()	11,270
(4) 貯蔵品	32,965
3 繰延資産	-
負債合計	9,274,042
1 固定負債	6,267,436
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,583,341
(2) その他の企業債	557,430
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	2,108,854
(5) 引当金	17,811
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,550,789
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	826,821
(2) その他の企業債	50,070
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	41,646
(5) 引当金	236,043
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	850,000
(8) 未払金及び未払費用	523,244
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	455,817
(1) 長期前受金	689,539
(2) 長期前受金収益化累計額()	233,722
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-264,439
1 本金	163,609
2 剰余金	-428,048
(1) 資本剰余金	46,578
(2) 利益剰余金	-474,626
負債・資本合計	9,009,603
不良債務	694,750
実質資金不足額	694,750
資本不足額()	264,439
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,075,914	1,166,650
資本勘定繰入	295,546	301,693
計	1,371,460	1,468,343

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	694,750	12.2
令和4年度	361,728	5.8
令和3年度	459,295	7.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	8.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	1,252,180
地財法上の資金不足比率(%)	21.9

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名		赤平市			
病院名		あかびら市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	14,451 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	60	77.0	73.5	78.9
療養	60	77.4	76.1	82.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	77.2	74.8	80.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.3	11.6	10.5

設立団体の状況		
人口(人)	9,698	
決算規模(千円)	10,892,645	
標準財政規模(千円)	5,143,870	
財政力指数	0.18	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.2
	将来負担比率(%)	66.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,341,282			
1 経常収益	2,327,877			
(1) 医業収益	1,871,922			
(うち修正医業収益)	1,597,895			
入院収益	1,033,779			
外来収益	494,855			
診療収入計	1,528,634			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	343,288			
(うち他会計負担金)	274,027			
(2) 医業外収益	455,955			
(うち国・都道府県補助金)	41,982			
(うち他会計補助・負担金)	239,497			
(うち長期前受金戻入)	155,805			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,405			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,285,322			
2 経常費用	2,274,575			
(1) 医業費用	2,198,972			
職員給与費	1,124,738	60.1	58.7	67.7
材料費	232,934	12.4	26.9	18.3
(うち薬品費)	119,306	6.4	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	112,908	6.0	11.7	9.1
減価償却費	245,685	13.1	8.5	10.3
経費	579,446	31.0	21.5	29.4
(うち委託料)	269,719	14.4	11.5	13.6
研究研修費	5,099			
資産減耗費	11,070			
(2) 医業外費用	75,603			
(うち支払利息)	8,222	0.4	0.9	1.1
(3) 特別損失	10,747			
経常損益	53,302			
純損益	55,960			
累積欠損金	811,740			
経常収支比率	102.3		96.5	95.4
医業収支比率	85.1		86.0	79.1
修正医業収支比率	72.7		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	22.1		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	27.4		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	21.9		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	79.8		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,554,095
1 固定資産	4,666,297
(1) 有形固定資産	4,473,125
(2) 無形固定資産	819
(3) 投資その他の資産	192,353
2 流動資産	1,887,798
(1) 現金及び預金	1,596,097
(2) 未収金及び未収収益	287,082
(3) 貸倒引当金()	511
(4) 貯蔵品	5,130
3 繰延資産	-
負債合計	5,038,279
1 固定負債	2,661,913
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,207,316
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,454,597
(6) リース債務	-
2 流動負債	541,049
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	353,489
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	74,602
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	99,729
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,835,317
(1) 長期前受金	3,535,445
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,700,128
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,515,816
1 本金	2,101,697
2 剰余金	-585,881
(1) 資本剰余金	225,859
(2) 利益剰余金	-811,740
負債・資本合計	6,554,095
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	483,543	513,524
資本勘定繰入	232,169	272,464
計	715,712	785,988

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名		士別市			
病院名		士別市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	15,895 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	55	84.7	76.3	73.0
療養	78	61.5	73.2	80.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	133	71.1	74.5	77.4
平均在院日数(一般病床のみ)		20.5	24.0	16.5

設立団体の状況		
人口(人)	17,858	
決算規模(千円)	16,990,209	
標準財政規模(千円)	10,170,893	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.3
	将来負担比率(%)	98.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,256,284			
1 経常収益	3,256,171			
(1) 医業収益	2,250,000			
(うち修正医業収益)	2,073,507			
入院収益	1,083,621			
外来収益	836,984			
診療収入計	1,920,605			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	329,395			
(うち他会計負担金)	176,493			
(2) 医業外収益	1,006,171			
(うち国・都道府県補助金)	38,926			
(うち他会計補助・負担金)	661,893			
(うち長期前受金戻入)	239,074			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	113			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,429,117			
2 経常費用	3,426,370			
(1) 医業費用	3,329,422			
職員給与費	1,737,097	77.2	58.7	67.7
材料費	325,198	14.5	26.9	18.3
(うち薬品費)	126,034	5.6	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	170,521	7.6	11.7	9.1
減価償却費	324,313	14.4	8.5	10.3
経費	924,277	41.1	21.5	29.4
(うち委託料)	398,339	17.7	11.5	13.6
研究研修費	14,508			
資産減耗費	4,029			
(2) 医業外費用	96,948			
(うち支払利息)	3,598	0.2	0.9	1.1
(3) 特別損失	2,747			
経常損益	-170,199			
純損益	-172,833			
累積欠損金	1,269,570			
経常収支比率	95.0		96.5	95.4
医業収支比率	67.6		86.0	79.1
修正医業収支比率	62.3		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	25.7		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	37.3		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	25.7		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	70.6		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,158,785
1 固定資産	2,438,497
(1) 有形固定資産	2,292,235
(2) 無形固定資産	1,882
(3) 投資その他の資産	144,380
2 流動資産	720,288
(1) 現金及び預金	304,948
(2) 未収金及び未収収益	403,217
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	12,123
3 繰延資産	-
負債合計	3,809,829
1 固定負債	1,257,366
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,220,537
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	36,829
2 流動負債	587,567
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	216,189
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	130,120
(6) リース債務	18,387
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	208,345
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,964,896
(1) 長期前受金	3,630,723
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,665,827
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-651,044
1 資本金	149,059
2 剰余金	-800,103
(1) 資本剰余金	469,467
(2) 利益剰余金	-1,269,570
負債・資本合計	3,158,785
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	651,044
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	651,001	838,386
資本勘定繰入	72,659	72,659
計	723,660	911,045

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	56.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	名寄市				
病院名	総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	27,784 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	300	61.5	62.4	61.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	55	75.2	71.0	85.2
感染症	4	-	-	-
計	359	62.9	63.0	64.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	12.0	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	27,282	
決算規模(千円)	24,970,592	
標準財政規模(千円)	12,911,906	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	9.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,432,645			
1 経常収益	9,217,602			
(1) 医業収益	8,046,445			
(うち修正医業収益)	7,675,733			
入院収益	5,120,107			
外来収益	2,432,598			
診療収入計	7,552,705			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	493,740			
(うち他会計負担金)	370,712			
(2) 医業外収益	1,171,157			
(うち国・都道府県補助金)	292,243			
(うち他会計補助・負担金)	529,060			
(うち長期前受金戻入)	130,181			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	215,043			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,868,081			
2 経常費用	9,844,384			
(1) 医業費用	9,387,983			
職員給与費	5,433,756	67.5	58.7	59.2
材料費	2,142,214	26.6	26.9	26.1
(うち薬品費)	853,841	10.6	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,200,649	14.9	11.7	11.1
減価償却費	649,657	8.1	8.5	8.5
経費	1,133,585	14.1	21.5	21.3
(うち委託料)	440,404	5.5	11.5	11.7
研究研修費	25,195			
資産減耗費	3,576			
(2) 医業外費用	456,401			
(うち支払利息)	30,161	0.4	0.9	1.0
(3) 特別損失	23,697			
損益	-626,782			
純損益	-435,436			
累積欠損金	5,677,135			
経常収支比率	93.6		96.5	95.9
医業収支比率	85.7		86.0	86.4
修正医業収支比率	81.8		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	11.2		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	9.5		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	84.5		85.4	86.4

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	12,231,330
1 固定資産	9,077,856
(1) 有形固定資産	8,912,770
(2) 無形固定資産	19,196
(3) 投資その他の資産	145,890
2 流動資産	3,153,474
(1) 現金及び預金	1,225,587
(2) 未収金及び未収収益	1,839,101
(3) 貸倒引当金()	1,954
(4) 貯蔵品	90,240
3 繰延資産	-
負債合計	8,502,548
1 固定負債	4,365,658
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,409,760
(2) その他の企業債	27,921
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	927,977
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,369,636
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	608,775
(2) その他の企業債	15,089
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	395,907
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,304,194
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,767,254
(1) 長期前受金	3,063,801
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,296,547
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,728,782
1 本金	8,453,887
2 剰余金	-4,725,105
(1) 資本剰余金	703,253
(2) 利益剰余金	-5,428,358
負債・資本合計	12,231,330
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	934,046	899,772
資本勘定繰入	298,697	278,697
計	1,232,743	1,178,469

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	63.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	名寄市		
病院名	名寄東病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,895 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	3	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	20:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	105	83.1	85.1	84.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	83.1	85.1	84.7
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	27,282	
決算規模(千円)	24,970,592	
標準財政規模(千円)	12,911,906	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	9.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	699,036			
1 経常収益	699,036			
(1) 医業収益	520,168			
(うち修正医業収益)	520,168			
入院収益	466,423			
外来収益	36,887			
診療収入計	503,310			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	16,858			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	178,868			
(うち国・都道府県補助金)	2,503			
(うち他会計補助・負担金)	166,668			
(うち長期前受金戻入)	8,150			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	695,461			
2 経常費用	695,461			
(1) 医業費用	672,578			
職員給与費	-	-	58.7	67.7
材料費	-	-	26.9	18.3
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	9.1
減価償却費	30,204	5.8	8.5	10.3
経費	642,374	123.5	21.5	29.4
(うち委託料)	234,459	45.1	11.5	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	22,883			
(うち支払利息)	103	-	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	3,575			
純損益	3,575			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.5		96.5	95.4
医業収支比率	77.3		86.0	79.1
修正医業収支比率	77.3		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	23.8		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	32.0		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	23.8		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	76.5		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	12,231,330
1 固定資産	9,077,856
(1) 有形固定資産	8,912,770
(2) 無形固定資産	19,196
(3) 投資その他の資産	145,890
2 流動資産	3,153,474
(1) 現金及び預金	1,225,587
(2) 未収金及び未収収益	1,839,101
(3) 貸倒引当金()	1,954
(4) 貯蔵品	90,240
3 繰延資産	-
負債合計	8,502,548
1 固定負債	4,365,658
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,409,760
(2) その他の企業債	27,921
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	927,977
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,369,636
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	608,775
(2) その他の企業債	15,089
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	395,907
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,304,194
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,767,254
(1) 長期前受金	3,063,801
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,296,547
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,728,782
1 本金	8,453,887
2 剰余金	-4,725,105
(1) 資本剰余金	703,253
(2) 利益剰余金	-5,428,358
負債・資本合計	12,231,330
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	166,668	166,668
資本勘定繰入	-	-
計	166,668	166,668

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	63.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	三笠市				
病院名	三笠総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,780 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	91	28.8	54.1	47.8
療養	43	73.8	70.5	71.1
結核	-	-	-	-
精神	65	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	29.1	61.7	59.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.3	13.8	10.8

設立団体の状況	
人口(人)	8,040
決算規模(千円)	13,473,113
標準財政規模(千円)	5,123,407
財政力指数	0.19
経常収支比率(%)	93.8
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	10.8
将来負担比率(%)	25.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,903,208			
1 経常収益	1,657,551			
(1) 医業収益	1,002,347			
(うち修正医業収益)	832,106			
入院収益	532,915			
外来収益	270,704			
診療収入計	803,619			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	198,728			
(うち他会計負担金)	170,241			
(2) 医業外収益	655,204			
(うち国・都道府県補助金)	69,285			
(うち他会計補助・負担金)	435,586			
(うち長期前受金戻入)	23,025			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	245,657			
(うち他会計繰入金)	245,000			
総費用	1,875,990			
2 経常費用	1,872,335			
(1) 医業費用	1,854,807			
職員給与費	971,484	96.9	58.7	67.7
材料費	162,537	16.2	26.9	18.3
(うち薬品費)	56,126	5.6	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	88,605	8.8	11.7	9.1
減価償却費	147,881	14.8	8.5	10.3
経費	568,778	56.7	21.5	29.4
(うち委託料)	214,055	21.4	11.5	13.6
研究研修費	2,199			
資産減耗費	1,928			
(2) 医業外費用	17,528			
(うち支払利息)	1,122	0.1	0.9	1.1
(3) 特別損失	3,655			
経常損益	-214,784			
純損益	27,218			
累積欠損金	1,495,696			
経常収支比率	88.5		96.5	95.4
医業収支比率	54.0		86.0	79.1
修正医業収支比率	44.9		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	36.5		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	60.4		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	44.7		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	56.2		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,483,132
1 固定資産	1,125,754
(1) 有形固定資産	1,119,148
(2) 無形固定資産	246
(3) 投資その他の資産	6,360
2 流動資産	357,378
(1) 現金及び預金	192,465
(2) 未収金及び未収収益	161,423
(3) 貸倒引当金()	100
(4) 貯蔵品	3,590
3 繰延資産	-
負債合計	1,785,936
1 固定負債	1,156,090
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	485,963
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	670,127
(6) リース債務	-
2 流動負債	272,501
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	94,807
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	65,007
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	103,537
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	357,345
(1) 長期前受金	2,088,506
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,731,161
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-302,804
1 資本金	1,114,287
2 剰余金	-1,417,091
(1) 資本剰余金	78,605
(2) 利益剰余金	-1,495,696
負債・資本合計	1,483,132
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	302,804
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	249,985	850,827
資本勘定繰入	47,971	74,705
計	297,956	925,532

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	149.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	根室市				
病院名	根室病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	13,281 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救感災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	131	56.1	57.8	57.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	19.7	95.4	73.6
計	135	55.0	59.0	58.4
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	15.7	17.2

設立団体の状況		
人口(人)	24,636	
決算規模(千円)	43,546,916	
標準財政規模(千円)	9,253,401	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	88.0	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,917,393			
1 経常収益	4,895,643			
(1) 医業収益	2,873,252			
(うち修正医業収益)	2,747,059			
入院収益	1,300,838			
外来収益	1,365,987			
診療収入計	2,666,825			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	206,427			
(うち他会計負担金)	126,193			
(2) 医業外収益	2,022,391			
(うち国・都道府県補助金)	109,782			
(うち他会計補助・負担金)	1,552,485			
(うち長期前受金戻入)	324,842			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	21,750			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,966,420			
2 経常費用	4,966,420			
(1) 医業費用	4,697,299			
職員給与費	2,102,646	73.2	58.7	67.7
材料費	810,065	28.2	26.9	18.3
(うち薬品費)	463,152	16.1	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	346,913	12.1	11.7	9.1
減価償却費	324,842	11.3	8.5	10.3
経費	1,418,219	49.4	21.5	29.4
(うち委託料)	504,103	17.5	11.5	13.6
研究研修費	36,873			
資産減耗費	4,654			
(2) 医業外費用	269,121			
(うち支払利息)	6,384	0.2	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-70,777			
純損益	-49,027			
累積欠損金	2,753,111			
経常収支比率	98.6		96.5	95.4
医業収支比率	61.2		86.0	79.1
修正医業収支比率	58.5		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	34.3		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	58.4		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	34.1		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	64.8		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,729,245
1 固定資産	3,507,343
(1) 有形固定資産	3,487,186
(2) 無形固定資産	742
(3) 投資その他の資産	19,415
2 流動資産	1,221,902
(1) 現金及び預金	622,327
(2) 未収金及び未収収益	577,575
(3) 貸倒引当金()	8,599
(4) 貯蔵品	26,934
3 繰延資産	-
負債合計	6,955,469
1 固定負債	3,762,260
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,860,094
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	852,861
(6) リース債務	49,305
2 流動負債	1,390,692
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	268,163
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	131,477
(6) リース債務	24,653
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	814,910
(9) 前受金及び前受収益	120,739
3 繰延収益	1,802,517
(1) 長期前受金	2,686,322
(2) 長期前受金収益化累計額()	883,805
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-2,226,224
1 資本金	335,757
2 剰余金	-2,561,981
(1) 資本剰余金	191,130
(2) 利益剰余金	-2,753,111
負債・資本合計	4,729,245
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	2,226,224
資本不足額(繰延収益控除後)()	423,707
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,133,363	1,678,678
資本勘定繰入	162,394	328,889
計	1,295,757	2,007,567

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	95.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	千歳市				
病院名	千歳市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,590 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	13	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	190	66.9	63.0	65.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	190	66.9	63.0	65.1
平均在院日数(一般病床のみ)		8.6	8.6	8.9

設立団体の状況		
人口(人)	97,950	
決算規模(千円)	54,611,913	
標準財政規模(千円)	25,871,731	
財政力指数	0.72	
経常収支比率(%)	87.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,615,290			
1 経常収益	6,612,603			
(1) 医業収益	5,879,778			
(うち修正医業収益)	5,393,255			
入院収益	3,253,120			
外来収益	1,828,795			
診療収入計	5,081,915			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	797,863			
(うち他会計負担金)	486,523			
(2) 医業外収益	732,825			
(うち国・都道府県補助金)	83,723			
(うち他会計補助・負担金)	549,924			
(うち長期前受金戻入)	78,536			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,687			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,845,464			
2 経常費用	6,840,550			
(1) 医業費用	6,525,424			
職員給与費	3,407,238	57.9	58.7	67.7
材料費	1,296,734	22.1	26.9	18.3
(うち薬品費)	617,778	10.5	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	678,956	11.5	11.7	9.1
減価償却費	488,714	8.3	8.5	10.3
経費	1,298,215	22.1	21.5	29.4
(うち委託料)	574,288	9.8	11.5	13.6
研究研修費	19,755			
資産減耗費	14,768			
(2) 医業外費用	315,126			
(うち支払利息)	68,932	1.2	0.9	1.1
(3) 特別損失	4,914			
経常損益	-227,947			
純損益	-230,174			
累積欠損金	2,849,937			
経常収支比率	96.7		96.5	95.4
医業収支比率	90.1		86.0	79.1
修正医業収支比率	82.6		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	15.7		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	17.6		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	15.7		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	81.5		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	8,498,107
1 固定資産	6,032,293
(1) 有形固定資産	5,742,038
(2) 無形固定資産	1,881
(3) 投資その他の資産	288,374
2 流動資産	2,465,814
(1) 現金及び預金	1,538,018
(2) 未収金及び未収収益	875,073
(3) 貸倒引当金()	641
(4) 貯蔵品	53,364
3 繰延資産	-
負債合計	7,611,850
1 固定負債	5,624,678
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,305,411
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,319,267
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,610,496
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	679,837
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	245,484
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	683,098
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	376,676
(1) 長期前受金	671,436
(2) 長期前受金収益化累計額()	294,760
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	886,257
1 資本金	3,633,367
2 剰余金	-2,747,110
(1) 資本剰余金	102,827
(2) 利益剰余金	-2,849,937
負債・資本合計	8,498,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,068,158	1,036,447
資本勘定繰入	400,453	-
計	1,468,611	1,036,447

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	48.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	滝川市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,080 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	13	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	270	56.6	57.9	53.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	44	51.7	47.8	46.7
感染症	-	-	-	-
計	314	55.9	56.5	52.2
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	16.9	13.3

人	口(人)	
決算規模(千円)	22,835,910	
標準財政規模(千円)	12,042,096	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	90.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	18.2

区分	決算額	費用	全国平均	類似平均
総収益	6,962,947			
1 経常収益	6,856,728			
(1) 医業収益	5,570,829			
(うち修正医業収益)	5,364,474			
入院収益	3,217,707			
外来収益	2,014,487			
診療収入計	5,232,194			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	338,635			
(うち他会計負担金)	206,355			
(2) 医業外収益	1,285,899			
(うち国・都道府県補助金)	382,889			
(うち他会計補助・負担金)	596,295			
(うち長期前受金戻入)	52,133			
(うち資本費繰入収益)	174,798			
(3) 特別利益	106,219			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,963,383			
2 経常費用	6,963,383			
(1) 医業費用	6,432,274			
職員給与費	3,822,635	68.6	58.7	59.2
材料費	1,302,063	23.4	26.9	26.1
(うち薬品費)	505,434	9.1	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	742,929	13.3	11.7	11.1
減価償却費	504,202	9.1	8.5	8.5
経費	753,309	13.5	21.5	21.3
(うち委託料)	489,635	8.8	11.5	11.7
研究研修費	22,329			
資産減耗費	27,736			
(2) 医業外費用	531,109			
(うち支払利息)	125,142	2.2	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損	-106,655			
純損	-436			
累積欠損金	2,980,991			
経常収支比率	98.5		96.5	95.9
医業収支比率	86.6		86.0	86.4
修正医業収支比率	83.4		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	11.7		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	14.4		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	11.5		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	86.9		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

区分	決算額
資産合計	8,546,085
1 固定資産	6,210,101
(1) 有形固定資産	6,102,432
(2) 無形固定資産	2,069
(3) 投資その他の資産	105,600
2 流動資産	2,335,984
(1) 現金及び預金	1,523,260
(2) 未収金及び未収収益	800,636
(3) 貸倒引当金()	2,261
(4) 貯蔵品	12,319
3 繰延資産	-
負債合計	9,641,275
1 固定負債	7,305,804
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,686,145
(2) その他の企業債	319,425
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	300,234
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,589,186
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	448,981
(2) その他の企業債	30,421
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	234,485
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	846,306
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	746,285
(1) 長期前受金	1,102,242
(2) 長期前受金収益化累計額()	355,957
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,095,190
1 資本金	1,316,316
2 剰余金	-2,411,506
(1) 資本剰余金	194,485
(2) 利益剰余金	-2,605,991
負債・資本合計	8,546,085
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,095,190
資本不足額(繰延収益控除後)()	348,905

備考

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,188,495	802,650
資本勘定繰入	231,878	213,913
計	1,420,373	1,016,563

年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

項目	比率(%)
累積欠損金比率	53.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	砂川市		
病院名	市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	53,186 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感へ災輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	408	64.8	65.0	74.4
療養	-	-	-	-
結核	6	29.2	20.7	12.2
精神	40	32.8	57.2	65.0
感染症	4	7.9	11.7	19.6
計	458	58.8	62.8	71.7
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	11.6	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	16,486	
決算規模(千円)	15,087,018	
標準財政規模(千円)	7,294,062	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	84.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.2
	将来負担比率(%)	33.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,699,604			
1 経常収益	13,672,640			
(1) 医業収益	12,240,431			
(うち修正医業収益)	11,991,487			
入院収益	8,071,040			
外来収益	3,649,561			
診療収入計	11,720,601			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	519,830			
(うち他会計負担金)	248,944			
(2) 医業外収益	1,432,209			
(うち国・都道府県補助金)	289,619			
(うち他会計補助・負担金)	895,795			
(うち長期前受金戻入)	107,975			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	26,964			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,378,349			
2 経常費用	15,355,657			
(1) 医業費用	15,104,095			
職員給与費	7,547,934	61.7	58.7	55.7
材料費	3,878,082	31.7	26.9	28.9
(うち薬品費)	1,840,928	15.0	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,929,967	15.8	11.7	12.7
減価償却費	1,032,630	8.4	8.5	7.9
経費	2,545,508	20.8	21.5	18.1
(うち委託料)	1,129,870	9.2	11.5	10.0
研究研修費	58,139			
資産減耗費	41,802			
(2) 医業外費用	251,562			
(うち支払利息)	70,206	0.6	0.9	0.9
(3) 特別損失	22,692			
経常損益	-1,683,017			
純損益	-1,678,745			
累積欠損金	9,349,593			
経常収支比率	89.0		96.5	97.5
医業収支比率	81.0		86.0	90.0
修正医業収支比率	79.4		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.4		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	9.4		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	8.4		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	81.6		85.4	88.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	15,396,201
1 固定資産	12,610,408
(1) 有形固定資産	12,108,338
(2) 無形固定資産	3,362
(3) 投資その他の資産	498,708
2 流動資産	2,785,793
(1) 現金及び預金	901,107
(2) 未収金及び未収収益	1,875,966
(3) 貸倒引当金()	3,040
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	13,996,748
1 固定負債	10,482,164
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,477,645
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,519
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,930,870
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	893,322
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	504,351
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	459,352
(9) 前受金及び前受収益	9,016
3 繰延収益	1,583,714
(1) 長期前受金	2,512,625
(2) 長期前受金収益化累計額()	928,911
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,399,453
1 資本金	9,453,512
2 剰余金	-8,054,059
(1) 資本剰余金	379,331
(2) 利益剰余金	-8,433,390
負債・資本合計	15,396,201
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,075,069	1,144,739
資本勘定繰入	458,142	380,934
計	2,533,211	1,525,673

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	76.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	歌志内市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,998 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	60	71.2	72.8	70.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	71.2	72.8	70.9
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,989	
決算規模(千円)	4,460,522	
標準財政規模(千円)	2,365,040	
財政力指数	0.10	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	577,223			
1 経常収益	577,223			
(1) 医業収益	349,130			
(うち修正医業収益)	349,130			
入院収益	247,905			
外来収益	64,954			
診療収入計	312,859			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	36,271			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	228,093			
(うち国・都道府県補助金)	1,296			
(うち他会計補助・負担金)	220,304			
(うち長期前受金戻入)	5,668			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	607,857			
2 経常費用	607,857			
(1) 医業費用	576,048			
職員給与費	266,855	76.4	58.7	78.7
材料費	44,859	12.8	26.9	14.5
(うち薬品費)	12,385	3.5	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	26,728	7.7	11.7	6.1
減価償却費	29,810	8.5	8.5	11.8
経費	233,278	66.8	21.5	32.3
(うち委託料)	77,336	22.2	11.5	15.3
研究研修費	514			
資産減耗費	732			
(2) 医業外費用	31,809			
(うち支払利息)	3,496	1.0	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-30,634			
純損失	-30,634			
累積欠損金	793,607			
経常収支比率	95.0		96.5	96.4
医業収支比率	60.6		86.0	72.4
修正医業収支比率	60.6		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	38.2		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	63.1		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	38.2		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	58.7		85.4	73.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,184,011
1 固定資産	501,528
(1) 有形固定資産	501,263
(2) 無形固定資産	265
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	682,483
(1) 現金及び預金	612,853
(2) 未収金及び未収収益	67,014
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	2,616
3 繰延資産	-
負債合計	538,622
1 固定負債	371,674
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	371,674
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	91,753
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	36,398
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	18,837
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	33,367
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	75,195
(1) 長期前受金	143,599
(2) 長期前受金収益化累計額()	68,404
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	645,389
1 本金	1,426,497
2 剰余金	-781,108
(1) 資本剰余金	12,499
(2) 利益剰余金	-793,607
負債・資本合計	1,184,011
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	208,560	220,304
資本勘定繰入	15,380	15,380
計	223,940	235,684

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	227.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	深川市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,954 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨が感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	199	65.9	57.2	67.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	56.8	56.6	40.7
計	203	65.8	57.2	67.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.1	14.0	13.7

設立団体の状況		
人口(人)	20,039	
決算規模(千円)	18,287,488	
標準財政規模(千円)	9,358,570	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	81.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.5
	将来負担比率(%)	122.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,632,269			
1 経常収益	4,632,222			
(1) 医業収益	3,707,774			
(うち修正医業収益)	3,624,954			
入院収益	2,123,658			
外来収益	1,358,138			
診療収入計	3,481,796			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	225,978			
(うち他会計負担金)	82,820			
(2) 医業外収益	924,448			
(うち国・都道府県補助金)	301,292			
(うち他会計補助・負担金)	530,191			
(うち長期前受金戻入)	12,049			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	47			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,814,757			
2 経常費用	4,804,461			
(1) 医業費用	4,534,975			
職員給与費	2,405,227	64.9	58.7	63.9
材料費	695,033	18.7	26.9	21.1
(うち薬品費)	413,799	11.2	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	281,234	7.6	11.7	10.2
減価償却費	392,470	10.6	8.5	9.3
経費	1,021,115	27.5	21.5	28.2
(うち委託料)	437,276	11.8	11.5	14.0
研究研修費	15,479			
資産減耗費	5,651			
(2) 医業外費用	269,486			
(うち支払利息)	95,488	2.6	0.9	1.0
(3) 特別損失	10,296			
損益	-172,239			
純損益	-182,488			
累積欠損金	9,060,806			
経常収支比率	96.4		96.5	93.2
医業収支比率	81.8		86.0	81.2
修正医業収支比率	79.9		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	13.2		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	16.5		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	13.2		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	83.7		85.4	80.9

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,503,445
1 固定資産	5,038,410
(1) 有形固定資産	4,929,710
(2) 無形固定資産	1,863
(3) 投資その他の資産	106,837
2 流動資産	1,465,035
(1) 現金及び預金	679,774
(2) 未収金及び未収収益	736,325
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	48,912
3 繰延資産	-
負債合計	6,019,957
1 固定負債	4,813,895
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,779,357
(2) その他の企業債	34,538
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,048,350
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	621,363
(2) その他の企業債	5,754
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	165,463
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	232,606
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	157,712
(1) 長期前受金	297,244
(2) 長期前受金収益化累計額()	139,532
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	483,488
1 本金	8,647,520
2 剰余金	-8,164,032
(1) 資本剰余金	896,774
(2) 利益剰余金	-9,060,806
負債・資本合計	6,503,445
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	575,379	613,011
資本勘定繰入	399,604	399,604
計	974,983	1,012,615

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	244.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	松前町				
病院名	松前病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,060 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	93	54.4	53.3	51.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	93	54.4	53.3	51.4
平均在院日数(一般病床のみ)		23.0	23.5	22.5

設立団体の状況		
人口(人)	6,260	
決算規模(千円)	6,832,959	
標準財政規模(千円)	3,787,230	
財政力指数	0.18	
経常収支比率(%)	86.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.5
	将来負担比率(%)	10.5

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	1,315,025				
1 経常収益	1,315,014				
(1) 医業収益	986,216				
(うち修正医業収益)	949,922				
入院収益	515,274				
外来収益	379,986				
診療収入計	895,260				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	90,956				
(うち他会計負担金)	36,294				
(2) 医業外収益	328,798				
(うち国・都道府県補助金)	24,650				
(うち他会計補助・負担金)	261,612				
(うち長期前受金戻入)	33,531				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	11				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,329,776				
2 経常費用	1,329,401				
(1) 医業費用	1,266,962				
職員給与費	810,471	82.2	58.7	78.7	
材料費	144,273	14.6	26.9	14.5	
(うち薬品費)	77,581	7.9	14.8	7.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	66,692	6.8	11.7	6.1	
減価償却費	60,782	6.2	8.5	11.8	
経費	249,696	25.3	21.5	32.3	
(うち委託料)	127,404	12.9	11.5	15.3	
研究研修費	1,710				
資産減耗費	30				
(2) 医業外費用	62,439				
(うち支払利息)	1,111	0.1	0.9	1.1	
(3) 特別損失	375				
経常損益	-14,387				
純損益	-14,751				
累積欠損金	-				
経常収支比率	98.9		96.5	96.4	
医業収支比率	77.8		86.0	72.4	
修正医業収支比率	75.0		83.2	68.2	
他会計繰入金対経常収益比率	22.7		11.5	24.2	
他会計繰入金対医業収益比率	30.2		13.7	34.4	
他会計繰入金対総収益比率	22.7		11.5	24.2	
実質収益対経常費用比率	76.5		85.4	73.0	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,687,899
1 固定資産	856,657
(1) 有形固定資産	836,348
(2) 無形固定資産	55
(3) 投資その他の資産	20,254
2 流動資産	831,242
(1) 現金及び預金	617,666
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	134
(4) 貯蔵品	19,759
3 繰延資産	-
負債合計	788,911
1 固定負債	166,336
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,598
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	50,738
2 流動負債	153,503
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	36,706
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	55,360
(6) リース債務	15,627
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	45,210
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	469,072
(1) 長期前受金	1,566,029
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,096,957
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	898,988
1 資本金	646,298
2 剰余金	252,690
(1) 資本剰余金	210,480
(2) 利益剰余金	42,210
負債・資本合計	1,687,899
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	305,782	297,906
資本勘定繰入	122,211	134,869
計	427,993	432,775

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	木古内町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,945 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	99	22.9	24.4	24.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	22.9	24.4	24.8
平均在院日数(一般病床のみ)		15.9	16.9	11.9

設立団体の状況	
人口(人)	3,832
決算規模(千円)	4,380,685
標準財政規模(千円)	2,894,783
財政力指数	0.20
経常収支比率(%)	88.9
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,239,649			
1 経常収益	1,237,272			
(1) 医業収益	775,119			
(うち修正医業収益)	731,094			
入院収益	309,591			
外来収益	377,177			
診療収入計	686,768			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	88,351			
(うち他会計負担金)	44,025			
(2) 医業外収益	462,153			
(うち国・都道府県補助金)	99,346			
(うち他会計補助・負担金)	291,236			
(うち長期前受金戻入)	60,447			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,377			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,412,407			
2 経常費用	1,411,406			
(1) 医業費用	1,356,419			
職員給与費	893,534	115.3	58.7	78.7
材料費	127,493	16.4	26.9	14.5
(うち薬品費)	67,246	8.7	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	60,247	7.8	11.7	6.1
減価償却費	124,980	16.1	8.5	11.8
経費	193,487	25.0	21.5	32.3
(うち委託料)	100,570	13.0	11.5	15.3
研究研修費	5,832			
資産減耗費	11,093			
(2) 医業外費用	54,987			
(うち支払利息)	13,822	1.8	0.9	1.1
(3) 特別損失	1,001			
経常損	-174,134			
純損	-172,758			
累積欠損金	-			
経常収支比率	87.7		96.5	96.4
医業収支比率	57.1		86.0	72.4
修正医業収支比率	53.9		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	27.1		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	43.3		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	27.0		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	63.9		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,573,696
1 固定資産	2,271,572
(1) 有形固定資産	1,616,045
(2) 無形固定資産	795
(3) 投資その他の資産	654,732
2 流動資産	2,302,124
(1) 現金及び預金	2,130,463
(2) 未収金及び未収収益	123,081
(3) 貸倒引当金()	753
(4) 貯蔵品	49,333
3 繰延資産	-
負債合計	1,841,907
1 固定負債	1,125,028
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	994,846
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	130,182
(6) リース債務	-
2 流動負債	213,598
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	65,283
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	99,378
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	39,794
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	503,281
(1) 長期前受金	2,368,509
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,865,228
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,731,789
1 資本金	327,194
2 剰余金	2,404,595
(1) 資本剰余金	57,903
(2) 利益剰余金	2,346,692
負債・資本合計	4,573,696
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	335,261	335,261
資本勘定繰入	34,734	34,734
計	369,995	369,995

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	森町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,984 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	60	38.8	36.6	36.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	38.8	36.6	36.7
平均在院日数(一般病床のみ)		21.9	21.9	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	14,338	
決算規模(千円)	13,353,343	
標準財政規模(千円)	6,182,691	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	91.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	845,873			
1 経常収益	844,910			
(1) 医業収益	531,794			
(うち修正医業収益)	495,500			
入院収益	283,212			
外来収益	174,707			
診療収入計	457,919			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	73,875			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	313,116			
(うち国・都道府県補助金)	28,503			
(うち他会計補助・負担金)	274,172			
(うち長期前受金戻入)	5,126			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	963			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	885,452			
2 経常費用	885,452			
(1) 医業費用	869,188			
職員給与費	568,925	107.0	58.7	78.7
材料費	58,558	11.0	26.9	14.5
(うち薬品費)	28,423	5.3	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,690	4.1	11.7	6.1
減価償却費	45,211	8.5	8.5	11.8
経費	193,380	36.4	21.5	32.3
(うち委託料)	56,433	10.6	11.5	15.3
研究研修費	543			
資産減耗費	2,571			
(2) 医業外費用	16,264			
(うち支払利息)	2,808	0.5	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-40,542			
純損失	-39,579			
累積欠損金	1,559,279			
経常収支比率	95.4		96.5	96.4
医業収支比率	61.2		86.0	72.4
修正医業収支比率	57.0		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	36.7		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	58.4		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	36.7		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	60.4		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,119,930
1 固定資産	737,709
(1) 有形固定資産	737,400
(2) 無形固定資産	309
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	382,221
(1) 現金及び預金	278,733
(2) 未収金及び未収収益	107,607
(3) 貸倒引当金()	20,269
(4) 貯蔵品	16,150
3 繰延資産	-
負債合計	246,151
1 固定負債	103,490
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	94,873
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	8,617
2 流動負債	97,179
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	24,065
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	42,143
(6) リース債務	2,186
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	25,165
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	45,482
(1) 長期前受金	112,225
(2) 長期前受金収益化累計額()	66,743
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	873,779
1 資本金	2,432,668
2 剰余金	-1,558,889
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,558,889
負債・資本合計	1,119,930
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	310,466	310,466
資本勘定繰入	76,454	76,454
計	386,920	386,920

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	293.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	八雲町		
病院名	八雲総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	23,850 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	18	指定病院の状況	救臨感へ災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	183	55.3	55.9	66.3
療養	40	67.5	62.6	74.5
結核	-	-	-	-
精神	100	67.7	75.4	80.9
感染症	4	16.5	54.0	30.6
計	327	60.1	62.7	71.3
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	15.0	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	15,826	
決算規模(千円)	19,189,554	
標準財政規模(千円)	8,193,652	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	85.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,893,222			
1 経常収益	4,847,914			
(1) 医業収益	3,752,888			
(うち修正医業収益)	3,657,285			
入院収益	2,370,881			
外来収益	1,147,443			
診療収入計	3,518,324			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	234,564			
(うち他会計負担金)	95,603			
(2) 医業外収益	1,095,026			
(うち国・都道府県補助金)	285,230			
(うち他会計補助・負担金)	724,078			
(うち長期前受金戻入)	55,689			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	45,308			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,152,085			
2 経常費用	5,121,748			
(1) 医業費用	4,944,714			
職員給与費	2,795,852	74.5	58.7	59.2
材料費	655,813	17.5	26.9	26.1
(うち薬品費)	291,555	7.8	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	307,010	8.2	11.7	11.1
減価償却費	348,390	9.3	8.5	8.5
経費	1,132,078	30.2	21.5	21.3
(うち委託料)	201,251	5.4	11.5	11.7
研究研修費	8,306			
資産減耗費	4,275			
(2) 医業外費用	177,034			
(うち支払利息)	24,523	0.7	0.9	1.0
(3) 特別損失	30,337			
損益	-273,834			
純損益	-258,863			
累積欠損金	5,815,193			
経常収支比率	94.7		96.5	95.9
医業収支比率	75.9		86.0	86.4
修正医業収支比率	74.0		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	16.9		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	21.8		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	16.8		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	78.6		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,572,407
1 固定資産	7,000,201
(1) 有形固定資産	6,812,670
(2) 無形固定資産	1,757
(3) 投資その他の資産	185,774
2 流動資産	3,572,206
(1) 現金及び預金	2,759,691
(2) 未収金及び未収収益	758,814
(3) 貸倒引当金()	5,090
(4) 貯蔵品	58,791
3 繰延資産	-
負債合計	8,886,580
1 固定負債	6,214,825
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,124,637
(2) その他の企業債	769,594
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	317,544
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,041,705
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	381,553
(2) その他の企業債	133,952
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	204,792
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	283,842
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,630,050
(1) 長期前受金	2,316,736
(2) 長期前受金収益化累計額()	686,686
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,685,827
1 本金	7,141,404
2 剰余金	-5,455,577
(1) 資本剰余金	1,093,437
(2) 利益剰余金	-6,549,014
負債・資本合計	10,572,407
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	819,681	819,681
資本勘定繰入	193,896	210,456
計	1,013,577	1,030,137

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	152.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	八雲町				
病院名	八雲町熊石国民健康保険病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,262 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	99	29.6	36.9	49.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	29.6	36.9	49.1
平均在院日数(一般病床のみ)		49.3	71.5	53.7

設立団体の状況		
人口(人)	15,826	
決算規模(千円)	19,189,554	
標準財政規模(千円)	8,193,652	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	85.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	747,008			
1 経常収益	746,444			
(1) 医業収益	531,538			
(うち修正医業収益)	491,990			
入院収益	228,716			
外来収益	247,787			
診療収入計	476,503			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	55,035			
(うち他会計負担金)	39,548			
(2) 医業外収益	214,906			
(うち国・都道府県補助金)	35,194			
(うち他会計補助・負担金)	168,505			
(うち長期前受金戻入)	6,446			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	564			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	829,641			
2 経常費用	828,809			
(1) 医業費用	793,946			
職員給与費	449,617	84.6	58.7	78.7
材料費	179,583	33.8	26.9	14.5
(うち薬品費)	149,075	28.0	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,508	5.7	11.7	6.1
減価償却費	27,204	5.1	8.5	11.8
経費	133,343	25.1	21.5	32.3
(うち委託料)	60,644	11.4	11.5	15.3
研究研修費	1,049			
資産減耗費	3,150			
(2) 医業外費用	34,863			
(うち支払利息)	2,320	0.4	0.9	1.1
(3) 特別損失	832			
経常損益	-82,365			
純損益	-82,633			
累積欠損金	733,821			
経常収支比率	90.1		96.5	96.4
医業収支比率	66.9		86.0	72.4
修正医業収支比率	62.0		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	27.9		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	39.1		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	27.9		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	65.0		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,572,407
1 固定資産	7,000,201
(1) 有形固定資産	6,812,670
(2) 無形固定資産	1,757
(3) 投資その他の資産	185,774
2 流動資産	3,572,206
(1) 現金及び預金	2,759,691
(2) 未収金及び未収収益	758,814
(3) 貸倒引当金()	5,090
(4) 貯蔵品	58,791
3 繰延資産	-
負債合計	8,886,580
1 固定負債	6,214,825
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,124,637
(2) その他の企業債	769,594
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	317,544
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,041,705
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	381,553
(2) その他の企業債	133,952
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	204,792
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	283,842
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,630,050
(1) 長期前受金	2,316,736
(2) 長期前受金収益化累計額()	686,686
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,685,827
1 本金	7,141,404
2 剰余金	-5,455,577
(1) 資本剰余金	1,093,437
(2) 利益剰余金	-6,549,014
負債・資本合計	10,572,407
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	204,881	208,053
資本勘定繰入	16,682	57,882
計	221,563	265,935

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	152.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	長万部町		
病院名	町立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,669 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	30	42.9	37.3	38.5
療養	24	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	54	23.8	20.7	21.4
平均在院日数(一般病床のみ)		21.0	20.6	19.4

設立団体の状況	
人口(人)	5,109
決算規模(千円)	6,891,496
標準財政規模(千円)	3,273,345
財政力指数	0.22
経常収支比率(%)	87.8
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	690,182			
1 経常収益	690,182			
(1) 医業収益	289,166			
(うち修正医業収益)	223,130			
入院収益	85,732			
外来収益	103,196			
診療収入計	188,928			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	100,238			
(うち他会計負担金)	66,036			
(2) 医業外収益	401,016			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	389,435			
(うち長期前受金戻入)	4,435			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	674,715			
2 経常費用	674,715			
(1) 医業費用	673,409			
職員給与費	379,085	131.1	58.7	78.7
材料費	43,410	15.0	26.9	14.5
(うち薬品費)	30,564	10.6	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	12,846	4.4	11.7	6.1
減価償却費	29,202	10.1	8.5	11.8
経費	220,250	76.2	21.5	32.3
(うち委託料)	100,656	34.8	11.5	15.3
研究研修費	780			
資産減耗費	682			
(2) 医業外費用	1,306			
(うち支払利息)	295	0.1	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	15,467			
純損益	15,467			
累積欠損金	540,285			
経常収支比率	102.3		96.5	96.4
医業収支比率	42.9		86.0	72.4
修正医業収支比率	33.1		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	66.0		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	157.5		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	66.0		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	34.8		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	516,664
1 固定資産	420,969
(1) 有形固定資産	420,166
(2) 無形固定資産	803
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	95,695
(1) 現金及び預金	58,165
(2) 未収金及び未収収益	34,079
(3) 貸倒引当金()	6
(4) 貯蔵品	3,457
3 繰延資産	-
負債合計	103,707
1 固定負債	28,395
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,531
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	7,864
2 流動負債	64,679
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,631
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,589
(6) リース債務	3,008
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,080
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	10,633
(1) 長期前受金	79,951
(2) 長期前受金収益化累計額()	69,318
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	412,957
1 資本金	942,843
2 剰余金	-529,886
(1) 資本剰余金	10,399
(2) 利益剰余金	-540,285
負債・資本合計	516,664
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	455,471	455,471
資本勘定繰入	4,529	4,529
計	460,000	460,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	186.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	厚沢部町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,455 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	45	36.3	29.9	32.9
療養	24	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	69	23.7	19.5	21.5
平均在院日数(一般病床のみ)		38.1	30.9	33.2

設立団体の状況		
人口(人)	3,592	
決算規模(千円)	4,800,102	
標準財政規模(千円)	3,083,497	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	79.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	495,903			
1 経常収益	495,903			
(1) 医業収益	277,059			
(うち修正医業収益)	218,074			
入院収益	107,756			
外来収益	75,610			
診療収入計	183,366			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	93,693			
(うち他会計負担金)	58,985			
(2) 医業外収益	218,844			
(うち国・都道府県補助金)	964			
(うち他会計補助・負担金)	192,269			
(うち長期前受金戻入)	22,454			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	495,843			
2 経常費用	495,843			
(1) 医業費用	493,113			
職員給与費	316,367	114.2	58.7	78.7
材料費	31,165	11.2	26.9	14.5
(うち薬品費)	10,948	4.0	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,217	7.3	11.7	6.1
減価償却費	28,569	10.3	8.5	11.8
経費	116,180	41.9	21.5	32.3
(うち委託料)	71,663	25.9	11.5	15.3
研究研修費	204			
資産減耗費	628			
(2) 医業外費用	2,730			
(うち支払利息)	52	-	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	60			
純損益	60			
累積欠損金	350,455			
経常収支比率	100.0		96.5	96.4
医業収支比率	56.2		86.0	72.4
修正医業収支比率	44.2		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	50.7		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	90.7		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	50.7		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	49.3		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	705,521
1 固定資産	461,763
(1) 有形固定資産	461,648
(2) 無形固定資産	115
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	243,758
(1) 現金及び預金	47,255
(2) 未収金及び未収収益	194,036
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	2,467
3 繰延資産	-
負債合計	373,098
1 固定負債	19,269
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,538
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	56,856
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,731
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	26,401
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,923
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	296,973
(1) 長期前受金	1,016,520
(2) 長期前受金収益化累計額()	719,547
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	332,423
1 資本金	682,878
2 剰余金	-350,455
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-350,455
負債・資本合計	705,521
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	251,254	251,254
資本勘定繰入	17,077	34,155
計	268,331	285,409

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	126.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	乙部町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	1,784 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	58	19.3	20.7	25.9
療養	4	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	62	18.1	19.4	24.2
平均在院日数(一般病床のみ)		28.4	33.1	29.7

設立団体の状況		
人口(人)	3,403	
決算規模(千円)	5,365,019	
標準財政規模(千円)	2,549,365	
財政力指数	0.13	
経常収支比率(%)	68.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	442,498			
1 経常収益	440,067			
(1) 医業収益	237,175			
(うち修正医業収益)	200,881			
入院収益	84,942			
外来収益	87,495			
診療収入計	172,437			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	64,738			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	202,892			
(うち国・都道府県補助金)	38,815			
(うち他会計補助・負担金)	129,190			
(うち長期前受金戻入)	17,566			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,431			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	414,551			
2 経常費用	414,320			
(1) 医業費用	397,969			
職員給与費	269,694	113.7	58.7	78.7
材料費	28,797	12.1	26.9	14.5
(うち薬品費)	14,255	6.0	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	10,550	4.4	11.7	6.1
減価償却費	33,239	14.0	8.5	11.8
経費	62,653	26.4	21.5	32.3
(うち委託料)	20,332	8.6	11.5	15.3
研究研修費	3,586			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	16,351			
(うち支払利息)	580	0.2	0.9	1.1
(3) 特別損失	231			
損益	25,747			
純損益	27,947			
累積欠損金	-			
経常収支比率	106.2		96.5	96.4
医業収支比率	59.6		86.0	72.4
修正医業収支比率	50.5		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	37.6		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	69.8		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	37.4		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	66.3		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	806,145
1 固定資産	356,591
(1) 有形固定資産	346,173
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	10,418
2 流動資産	449,554
(1) 現金及び預金	418,436
(2) 未収金及び未収収益	28,836
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	2,282
3 繰延資産	-
負債合計	271,421
1 固定負債	86,007
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	86,007
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	62,868
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	25,116
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	19,310
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,442
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	122,546
(1) 長期前受金	268,134
(2) 長期前受金収益化累計額()	145,588
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	534,724
1 本金	516,584
2 剰余金	18,140
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	18,140
負債・資本合計	806,145
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	165,484	165,484
資本勘定繰入	20,465	21,536
計	185,949	187,020

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	奥尻町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,236 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	17	62.0	50.1	39.7
療養	23	46.1	42.8	37.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	52.8	46.0	38.4
平均在院日数(一般病床のみ)		20.5	16.3	16.1

設立団体の状況		
人口(人)	2,410	
決算規模(千円)	6,821,462	
標準財政規模(千円)	2,437,719	
財政力指数	0.13	
経常収支比率(%)	88.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	54.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	737,413			
1 経常収益	737,413			
(1) 医業収益	407,081			
(うち修正医業収益)	381,175			
入院収益	120,188			
外来収益	233,183			
診療収入計	353,371			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	53,710			
(うち他会計負担金)	25,906			
(2) 医業外収益	330,332			
(うち国・都道府県補助金)	16,078			
(うち他会計補助・負担金)	283,320			
(うち長期前受金戻入)	10,782			
(うち資本費繰入収益)	4,004			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	733,165			
2 経常費用	732,253			
(1) 医業費用	706,501			
職員給与費	369,884	90.9	58.7	89.5
材料費	133,907	32.9	26.9	13.4
(うち薬品費)	110,387	27.1	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,878	3.7	11.7	5.5
減価償却費	42,097	10.3	8.5	14.0
経費	160,127	39.3	21.5	46.3
(うち委託料)	72,500	17.8	11.5	22.2
研究研修費	486			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	25,752			
(うち支払利息)	988	0.2	0.9	1.0
(3) 特別損失	912			
損益	5,160			
純損益	4,248			
累積欠損金	674,557			
経常収支比率	100.7		96.5	97.3
医業収支比率	57.6		86.0	60.9
修正医業収支比率	54.0		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	41.9		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	76.0		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	41.9		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	58.5		85.4	63.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	540,577
1 固定資産	414,230
(1) 有形固定資産	408,602
(2) 無形固定資産	262
(3) 投資その他の資産	5,366
2 流動資産	126,347
(1) 現金及び預金	72,712
(2) 未収金及び未収収益	46,695
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	6,940
3 繰延資産	-
負債合計	306,447
1 固定負債	139,528
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	86,920
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	52,608
2 流動負債	88,032
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,677
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	24,686
(6) リース債務	7,623
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	46,471
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	78,887
(1) 長期前受金	351,147
(2) 長期前受金収益化累計額()	272,260
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	234,130
1 資本金	908,687
2 剰余金	-674,557
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-674,557
負債・資本合計	540,577
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	309,226	309,226
資本勘定繰入	4,012	4,012
計	313,238	313,238

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	165.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	今金町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,003 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	33	70.3	68.6	71.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	33	70.3	68.6	71.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	18.3	20.3

設立団体の状況	
人口(人)	5,072
決算規模(千円)	6,981,346
標準財政規模(千円)	3,712,638
財政力指数	0.19
経常収支比率(%)	79.3
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 8.3 -

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	754,250			
1 経常収益	754,250			
(1) 医業収益	459,513			
(うち修正医業収益)	414,768			
入院収益	265,009			
外来収益	113,942			
診療収入計	378,951			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	80,562			
(うち他会計負担金)	44,745			
(2) 医業外収益	294,737			
(うち国・都道府県補助金)	17,038			
(うち他会計補助・負担金)	260,523			
(うち長期前受金戻入)	12,862			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	753,407			
2 経常費用	753,330			
(1) 医業費用	736,690			
職員給与費	416,802	90.7	58.7	89.5
材料費	51,701	11.3	26.9	13.4
(うち薬品費)	25,287	5.5	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,479	5.5	11.7	5.5
減価償却費	41,590	9.1	8.5	14.0
経費	225,601	49.1	21.5	46.3
(うち委託料)	120,582	26.2	11.5	22.2
研究研修費	934			
資産減耗費	62			
(2) 医業外費用	16,640			
(うち支払利息)	460	0.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	77			
損益	920			
純損益	843			
累積欠損金	5,554			
経常収支比率	100.1		96.5	97.3
医業収支比率	62.4		86.0	60.9
修正医業収支比率	56.3		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	40.5		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	66.4		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	40.5		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	59.6		85.4	63.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,069,600
1 固定資産	599,599
(1) 有形固定資産	599,347
(2) 無形固定資産	252
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	470,001
(1) 現金及び預金	103,700
(2) 未収金及び未収収益	339,552
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	8,014
3 繰延資産	-
負債合計	220,248
1 固定負債	85,258
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	85,258
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	73,582
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,892
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	27,319
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	30,078
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	61,408
(1) 長期前受金	180,424
(2) 長期前受金収益化累計額()	119,016
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	849,352
1 本金	760,290
2 剰余金	89,062
(1) 資本剰余金	29,922
(2) 利益剰余金	59,140
負債・資本合計	1,069,600
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	305,268	305,268
資本勘定繰入	-	-
計	305,268	305,268

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	せたな町		
病院名	せたな町立国保病院(病院事業分)		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,331 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	60	35.3	38.7	37.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	35.3	38.7	37.0
平均在院日数(一般病床のみ)		16.5	17.2	15.5

設立団体の状況	
人口(人)	7,398
決算規模(千円)	9,526,714
標準財政規模(千円)	5,787,966
財政力指数	0.17
経常収支比率(%)	86.0
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	8.4
将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,101,273			
1 経常収益	1,101,273			
(1) 医業収益	680,823			
(うち修正医業収益)	619,546			
入院収益	269,565			
外来収益	310,196			
診療収入計	579,761			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	101,062			
(うち他会計負担金)	61,277			
(2) 医業外収益	420,450			
(うち国・都道府県補助金)	28,824			
(うち他会計補助・負担金)	373,070			
(うち長期前受金戻入)	14,573			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,061,735			
2 経常費用	1,061,606			
(1) 医業費用	1,058,987			
職員給与費	637,326	93.6	58.7	78.7
材料費	100,604	14.8	26.9	14.5
(うち薬品費)	62,069	9.1	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	38,535	5.7	11.7	6.1
減価償却費	58,743	8.6	8.5	11.8
経費	257,177	37.8	21.5	32.3
(うち委託料)	128,779	18.9	11.5	15.3
研究研修費	1,916			
資産減耗費	3,221			
(2) 医業外費用	2,619			
(うち支払利息)	115	-	0.9	1.1
(3) 特別損失	129			
経常損益	39,667			
純損益	39,538			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.7		96.5	96.4
医業収支比率	64.3		86.0	72.4
修正医業収支比率	58.5		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	39.4		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	63.8		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	39.4		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	62.8		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,108,606
1 固定資産	785,755
(1) 有形固定資産	769,195
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	16,560
2 流動資産	1,322,851
(1) 現金及び預金	1,212,959
(2) 未収金及び未収収益	105,326
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	4,566
3 繰延資産	-
負債合計	198,233
1 固定負債	37,088
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	37,088
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	77,484
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,855
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	34,860
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	33,746
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	83,661
(1) 長期前受金	375,654
(2) 長期前受金収益化累計額()	291,993
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,910,373
1 資本金	1,638,601
2 剰余金	271,772
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	271,772
負債・資本合計	2,108,606
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	412,740	434,347
資本勘定繰入	22,570	22,984
計	435,310	457,331

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	黒松内町		
病院名	黒松内町国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,791	
決算規模(千円)	4,738,201	
標準財政規模(千円)	2,649,669	
財政力指数	0.14	
経常収支比率(%)	84.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.6
	将来負担比率(%)	7.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13			
1 経常収益	13			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	13			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	13			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13			
2 経常費用	13			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	89.5
材料費	-	-	26.9	13.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	5.5
減価償却費	-	-	8.5	14.0
経費	-	-	21.5	46.3
(うち委託料)	-	-	11.5	22.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	13			
(うち支払利息)	13	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	97.3
医業収支比率	-		86.0	60.9
修正医業収支比率	-		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	-		85.4	63.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	13
資本勘定繰入	-	1,850
計	-	1,863

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	南幌町				
病院名	国保町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,043 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	60	61.3	66.8	64.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	61.3	66.8	64.1
平均在院日数(一般病床のみ)		53.1	61.0	65.8

設立団体の状況		
人口(人)	7,319	
決算規模(千円)	7,725,875	
標準財政規模(千円)	3,487,617	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	91.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	111.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	805,816			
1 経常収益	805,816			
(1) 医業収益	541,554			
(うち修正医業収益)	493,885			
入院収益	328,515			
外来収益	130,272			
診療収入計	458,787			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	82,767			
(うち他会計負担金)	47,669			
(2) 医業外収益	264,262			
(うち国・都道府県補助金)	22,736			
(うち他会計補助・負担金)	213,624			
(うち長期前受金戻入)	19,658			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	691,665			
2 経常費用	691,665			
(1) 医業費用	671,744			
職員給与費	361,124	66.7	58.7	78.7
材料費	43,466	8.0	26.9	14.5
(うち薬品費)	24,029	4.4	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,093	3.3	11.7	6.1
減価償却費	54,026	10.0	8.5	11.8
経費	211,715	39.1	21.5	32.3
(うち委託料)	78,366	14.5	11.5	15.3
研究研修費	338			
資産減耗費	1,075			
(2) 医業外費用	19,921			
(うち支払利息)	55	-	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	114,151			
純損益	114,151			
累積欠損金	511,514			
経常収支比率	116.5		96.5	96.4
医業収支比率	80.6		86.0	72.4
修正医業収支比率	73.5		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	32.4		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	48.2		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	32.4		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	78.7		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,115,986
1 固定資産	541,445
(1) 有形固定資産	541,292
(2) 無形固定資産	153
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	574,541
(1) 現金及び預金	493,017
(2) 未収金及び未収収益	79,388
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	2,136
3 繰延資産	-
負債合計	375,415
1 固定負債	107,335
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	107,335
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	111,568
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	40,079
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	27,217
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	39,639
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	156,512
(1) 長期前受金	615,621
(2) 長期前受金収益化累計額()	459,109
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	740,571
1 本金	1,252,085
2 剰余金	-511,514
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-511,514
負債・資本合計	1,115,986
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	261,293	261,293
資本勘定繰入	27,317	27,317
計	288,610	288,610

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	94.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	奈井江町				
病院名	奈井江町立国民健康保険病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,489 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	50	85.5	81.1	92.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	85.5	81.1	92.4
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,120	
決算規模(千円)	6,750,634	
標準財政規模(千円)	3,196,431	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	87.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.1
	将来負担比率(%)	81.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	821,878			
1 経常収益	821,878			
(1) 医業収益	487,242			
(うち修正医業収益)	424,501			
入院収益	267,184			
外来収益	125,369			
診療収入計	392,553			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	94,689			
(うち他会計負担金)	62,741			
(2) 医業外収益	334,636			
(うち国・都道府県補助金)	11,793			
(うち他会計補助・負担金)	234,546			
(うち長期前受金戻入)	60,518			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	804,874			
2 経常費用	804,874			
(1) 医業費用	744,259			
職員給与費	401,254	82.4	58.7	78.7
材料費	42,646	8.8	26.9	14.5
(うち薬品費)	11,897	2.4	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,372	5.8	11.7	6.1
減価償却費	73,570	15.1	8.5	11.8
経費	221,944	45.6	21.5	32.3
(うち委託料)	85,192	17.5	11.5	15.3
研究研修費	3,195			
資産減耗費	1,650			
(2) 医業外費用	60,615			
(うち支払利息)	5,041	1.0	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	17,004			
純損益	17,004			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.1		96.5	96.4
医業収支比率	65.5		86.0	72.4
修正医業収支比率	57.0		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	36.2		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	61.0		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	36.2		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	65.2		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,391,417
1 固定資産	1,269,324
(1) 有形固定資産	1,269,154
(2) 無形固定資産	170
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	122,093
(1) 現金及び預金	33,917
(2) 未収金及び未収収益	85,895
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	2,269
3 繰延資産	-
負債合計	1,182,458
1 固定負債	147,468
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	72,869
(2) その他の企業債	74,599
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	259,608
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	69,589
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	33,994
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	140,000
(8) 未払金及び未払費用	14,609
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	775,382
(1) 長期前受金	1,812,881
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,037,499
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	208,959
1 資本金	49,265
2 剰余金	159,694
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	159,694
負債・資本合計	1,391,417
不良債務	67,926
実質資金不足額	67,926
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	267,684	297,287
資本勘定繰入	80,373	80,373
計	348,057	377,660

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	67,926	13.9
令和4年度	59,024	12.5
令和3年度	62,425	12.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	67,926
健全化法上の資金不足比率(%)	13.9
地財法上の資金不足額(千円)	142,525
地財法上の資金不足比率(%)	29.2

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	由仁町		
病院名	町立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	4,822
決算規模(千円)	5,564,323
標準財政規模(千円)	3,287,616
財政力指数	0.22
経常収支比率(%)	88.6
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	80			
1 経常収益	80			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	80			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	80			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	80			
2 経常費用	80			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	78.7
材料費	-	-	26.9	14.5
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	6.1
減価償却費	-	-	8.5	11.8
経費	-	-	21.5	32.3
(うち委託料)	-	-	11.5	15.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	80			
(うち支払利息)	80	-	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	96.4
医業収支比率	-		86.0	72.4
修正医業収支比率	-		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	-		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	51	80
資本勘定繰入	1,168	2,171
計	1,219	2,251

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	長沼町				
病院名	町立長沼病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,099 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	84	10.4	19.8	45.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	84	10.4	19.8	45.9
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	19.0	16.4

設立団体の状況		
人口(人)	10,289	
決算規模(千円)	9,301,665	
標準財政規模(千円)	5,059,700	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	87.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.4
	将来負担比率(%)	21.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	830,193			
1 経常収益	830,193			
(1) 医業収益	336,977			
(うち修正医業収益)	297,289			
入院収益	88,847			
外来収益	109,836			
診療収入計	198,683			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	138,294			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	493,216			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	445,869			
(うち長期前受金戻入)	30,311			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	839,458			
2 経常費用	839,458			
(1) 医業費用	807,261			
職員給与費	469,827	139.4	58.7	78.7
材料費	37,992	11.3	26.9	14.5
(うち薬品費)	15,368	4.6	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	22,624	6.7	11.7	6.1
減価償却費	39,579	11.7	8.5	11.8
経費	259,231	76.9	21.5	32.3
(うち委託料)	166,257	49.3	11.5	15.3
研究研修費	403			
資産減耗費	229			
(2) 医業外費用	32,197			
(うち支払利息)	2,813	0.8	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-9,265			
純損失	-9,265			
累積欠損金	1,485,729			
経常収支比率	98.9		96.5	96.4
医業収支比率	41.7		86.0	72.4
修正医業収支比率	36.8		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	58.5		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	144.1		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	58.5		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	41.1		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,262,048
1 固定資産	741,097
(1) 有形固定資産	740,708
(2) 無形固定資産	389
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	520,951
(1) 現金及び預金	128,946
(2) 未収金及び未収収益	389,846
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	2,159
3 繰延資産	-
負債合計	768,129
1 固定負債	46,024
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	46,024
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	547,039
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	27,236
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,467
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	450,000
(8) 未払金及び未払費用	33,872
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	175,066
(1) 長期前受金	397,921
(2) 長期前受金収益化累計額()	222,855
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	493,919
1 資本金	1,720,197
2 剰余金	-1,226,278
(1) 資本剰余金	246,051
(2) 利益剰余金	-1,472,329
負債・資本合計	1,262,048
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	485,037	485,557
資本勘定繰入	15,470	29,443
計	500,507	515,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	440.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	月形町				
病院名	国保月形町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,759 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	40	78.5	90.7	89.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	78.5	90.7	89.1
平均在院日数(一般病床のみ)		48.6	65.0	48.2

設立団体の状況		
人口(人)	3,691	
決算規模(千円)	4,656,580	
標準財政規模(千円)	2,574,409	
財政力指数	0.15	
経常収支比率(%)	87.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	613,970			
1 経常収益	613,970			
(1) 医業収益	400,708			
(うち修正医業収益)	390,708			
入院収益	283,620			
外来収益	88,737			
診療収入計	372,357			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	28,351			
(うち他会計負担金)	10,000			
(2) 医業外収益	213,262			
(うち国・都道府県補助金)	18,264			
(うち他会計補助・負担金)	138,804			
(うち長期前受金戻入)	50,303			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	605,916			
2 経常費用	605,916			
(1) 医業費用	582,171			
職員給与費	341,873	85.3	58.7	89.5
材料費	73,391	18.3	26.9	13.4
(うち薬品費)	50,340	12.6	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	23,051	5.8	11.7	5.5
減価償却費	45,709	11.4	8.5	14.0
経費	116,556	29.1	21.5	46.3
(うち委託料)	62,500	15.6	11.5	22.2
研究研修費	43			
資産減耗費	4,599			
(2) 医業外費用	23,745			
(うち支払利息)	1,033	0.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	8,054			
純損益	8,054			
累積欠損金	688,699			
経常収支比率	101.3		96.5	97.3
医業収支比率	68.8		86.0	60.9
修正医業収支比率	67.1		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	24.2		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	37.1		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	24.2		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	76.8		85.4	63.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	813,442
1 固定資産	589,586
(1) 有形固定資産	589,586
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	223,856
(1) 現金及び預金	146,479
(2) 未収金及び未収収益	72,126
(3) 貸倒引当金()	50
(4) 貯蔵品	5,059
3 繰延資産	-
負債合計	273,269
1 固定負債	103,117
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	103,117
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	68,816
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,813
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	21,544
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	22,873
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	101,336
(1) 長期前受金	256,000
(2) 長期前受金収益化累計額()	154,664
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	540,173
1 資本金	1,202,766
2 剰余金	-662,593
(1) 資本剰余金	26,106
(2) 利益剰余金	-688,699
負債・資本合計	813,442
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	148,804	148,804
資本勘定繰入	31,224	31,224
計	180,028	180,028

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	171.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	美瑛町				
病院名	町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,059 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	56	36.5	33.5	40.1
療養	42	36.0	33.5	42.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	36.3	33.5	41.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	15.0	15.6

設立団体の状況	
人口(人)	9,668
決算規模(千円)	11,703,925
標準財政規模(千円)	6,376,385
財政力指数	0.21
経常収支比率(%)	85.4
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	13.4
将来負担比率(%)	24.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,203,486			
1 経常収益	1,203,252			
(1) 医業収益	661,623			
(うち修正医業収益)	565,511			
入院収益	294,222			
外来収益	236,008			
診療収入計	530,230			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	131,393			
(うち他会計負担金)	96,112			
(2) 医業外収益	541,629			
(うち国・都道府県補助金)	3,251			
(うち他会計補助・負担金)	483,888			
(うち長期前受金戻入)	52,156			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	234			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,168,313			
2 経常費用	1,167,442			
(1) 医業費用	1,130,202			
職員給与費	572,384	86.5	58.7	78.7
材料費	75,095	11.4	26.9	14.5
(うち薬品費)	33,833	5.1	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	40,187	6.1	11.7	6.1
減価償却費	120,407	18.2	8.5	11.8
経費	311,945	47.1	21.5	32.3
(うち委託料)	157,810	23.9	11.5	15.3
研究研修費	395			
資産減耗費	49,976			
(2) 医業外費用	37,240			
(うち支払利息)	11,779	1.8	0.9	1.1
(3) 特別損失	871			
経常損益	35,810			
純損益	35,173			
累積欠損金	114,867			
経常収支比率	103.1		96.5	96.4
医業収支比率	58.5		86.0	72.4
修正医業収支比率	50.0		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	48.2		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	87.7		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	48.2		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	53.4		85.4	73.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,624,632
1 固定資産	1,418,786
(1) 有形固定資産	1,418,495
(2) 無形固定資産	291
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	205,846
(1) 現金及び預金	100,011
(2) 未収金及び未収収益	101,058
(3) 貸倒引当金()	1
(4) 貯蔵品	4,776
3 繰延資産	-
負債合計	1,167,869
1 固定負債	350,175
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	350,175
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	210,750
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	118,639
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	45,584
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	43,032
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	606,944
(1) 長期前受金	1,481,833
(2) 長期前受金収益化累計額()	874,889
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	456,763
1 本金	560,454
2 剰余金	-103,691
(1) 資本剰余金	5,296
(2) 利益剰余金	-108,987
負債・資本合計	1,624,632
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	545,177	580,000
資本勘定繰入	43,216	42,790
計	588,393	622,790

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたもの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	上富良野町				
病院名	上富良野町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,708 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	39	49.2	46.0	46.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	39	49.2	46.0	46.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	17.7	16.6

設立団体の状況		
人口(人)	10,348	
決算規模(千円)	9,161,267	
標準財政規模(千円)	4,453,996	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	86.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	37.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	858,281			
1 経常収益	858,281			
(1) 医業収益	500,523			
(うち修正医業収益)	423,877			
入院収益	200,505			
外来収益	186,588			
診療収入計	387,093			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	113,430			
(うち他会計負担金)	76,646			
(2) 医業外収益	357,758			
(うち国・都道府県補助金)	1,824			
(うち他会計補助・負担金)	190,797			
(うち長期前受金戻入)	20,187			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,033,911			
2 経常費用	1,033,909			
(1) 医業費用	779,245			
職員給与費	500,084	99.9	58.7	89.5
材料費	80,644	16.1	26.9	13.4
(うち薬品費)	48,723	9.7	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,547	6.1	11.7	5.5
減価償却費	34,637	6.9	8.5	14.0
経費	162,375	32.4	21.5	46.3
(うち委託料)	86,287	17.2	11.5	22.2
研究研修費	442			
資産減耗費	1,063			
(2) 医業外費用	254,664			
(うち支払利息)	1,375	0.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	2			
経常損失	-175,628			
純損失	-175,630			
累積欠損金	1,386,401			
経常収支比率	83.0		96.5	97.3
医業収支比率	64.2		86.0	60.9
修正医業収支比率	54.4		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	31.2		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	53.4		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	31.2		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	57.1		85.4	63.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,936,268
1 固定資産	1,428,829
(1) 有形固定資産	1,424,520
(2) 無形固定資産	1,009
(3) 投資その他の資産	3,300
2 流動資産	507,439
(1) 現金及び預金	402,723
(2) 未収金及び未収収益	98,524
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	6,192
3 繰延資産	-
負債合計	1,733,981
1 固定負債	913,504
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	913,504
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	458,237
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,305
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	34,158
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	416,713
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	362,240
(1) 長期前受金	849,878
(2) 長期前受金収益化累計額()	487,638
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	202,287
1 本金	1,550,268
2 剰余金	-1,347,981
(1) 資本剰余金	18,659
(2) 利益剰余金	-1,366,640
負債・資本合計	1,936,268
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	214,408	267,443
資本勘定繰入	7,013	21,523
計	221,421	288,966

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	277.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	中富良野町				
病院名	町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	1,998 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	35	13.0	26.7	25.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	35	13.0	26.7	25.3
平均在院日数(一般病床のみ)		41.1	47.3	42.5

設立団体の状況		
人口(人)	4,733	
決算規模(千円)	8,497,451	
標準財政規模(千円)	3,000,899	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	75.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.4
	将来負担比率(%)	2.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	403,746			
1 経常収益	398,866			
(1) 医業収益	165,650			
(うち修正医業収益)	158,452			
入院収益	27,542			
外来収益	90,830			
診療収入計	118,372			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	47,278			
(うち他会計負担金)	7,198			
(2) 医業外収益	233,216			
(うち国・都道府県補助金)	1,630			
(うち他会計補助・負担金)	216,124			
(うち長期前受金戻入)	9,320			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,880			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	400,984			
2 経常費用	400,984			
(1) 医業費用	388,511			
職員給与費	214,987	129.8	58.7	89.5
材料費	53,987	32.6	26.9	13.4
(うち薬品費)	44,612	26.9	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	9,191	5.5	11.7	5.5
減価償却費	27,076	16.3	8.5	14.0
経費	81,045	48.9	21.5	46.3
(うち委託料)	48,056	29.0	11.5	22.2
研究研修費	10,620			
資産減耗費	796			
(2) 医業外費用	12,473			
(うち支払利息)	64	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-2,118			
純損益	2,762			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.5		96.5	97.3
医業収支比率	42.6		86.0	60.9
修正医業収支比率	40.8		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	56.0		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	134.8		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	55.3		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	43.8		85.4	63.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	842,187
1 固定資産	262,868
(1) 有形固定資産	262,584
(2) 無形固定資産	284
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	579,319
(1) 現金及び預金	559,851
(2) 未収金及び未収収益	17,493
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	1,975
3 繰延資産	-
負債合計	93,182
1 固定負債	3,316
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,316
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	28,691
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	249
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	12,090
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	16,352
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	61,175
(1) 長期前受金	296,831
(2) 長期前受金収益化累計額()	235,656
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	749,005
1 資本金	690,072
2 剰余金	58,933
(1) 資本剰余金	14,030
(2) 利益剰余金	44,903
負債・資本合計	842,187
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	223,301	223,322
資本勘定繰入	561	841
計	223,862	224,163

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	和寒町		
病院名	国保町立和寒病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	3,192
決算規模(千円)	4,558,917
標準財政規模(千円)	2,824,178
財政力指数	0.16
経常収支比率(%)	82.5
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	669			
1 経常収益	669			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	669			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	669			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	669			
2 経常費用	669			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	89.5
材料費	-	-	26.9	13.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	5.5
減価償却費	-	-	8.5	14.0
経費	-	-	21.5	46.3
(うち委託料)	-	-	11.5	22.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	669			
(うち支払利息)	669	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	97.3
医業収支比率	-		86.0	60.9
修正医業収支比率	-		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	-		85.4	63.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	446	669
資本勘定繰入	5,330	7,995
計	5,776	8,664

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	下川町		
病院名	下川病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,301 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	4	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	41	50.4	53.8	58.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	41	50.4	53.8	58.1
平均在院日数(一般病床のみ)		42.9	34.5	29.1

設立団体の状況		
人口(人)	3,126	
決算規模(千円)	5,523,465	
標準財政規模(千円)	3,264,351	
財政力指数	0.14	
経常収支比率(%)	86.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	11.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	521,545			
1 経常収益	518,465			
(1) 医業収益	305,280			
(うち修正医業収益)	279,901			
入院収益	134,006			
外来収益	110,296			
診療収入計	244,302			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	60,978			
(うち他会計負担金)	25,379			
(2) 医業外収益	213,185			
(うち国・都道府県補助金)	14,846			
(うち他会計補助・負担金)	184,621			
(うち長期前受金戻入)	12,120			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,080			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	549,943			
2 経常費用	549,943			
(1) 医業費用	531,527			
職員給与費	323,035	105.8	58.7	89.5
材料費	35,538	11.6	26.9	13.4
(うち薬品費)	13,509	4.4	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	22,029	7.2	11.7	5.5
減価償却費	40,240	13.2	8.5	14.0
経費	131,827	43.2	21.5	46.3
(うち委託料)	75,485	24.7	11.5	22.2
研究研修費	685			
資産減耗費	202			
(2) 医業外費用	18,416			
(うち支払利息)	7	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-31,478			
純損益	-28,398			
累積欠損金	448,022			
経常収支比率	94.3		96.5	97.3
医業収支比率	57.4		86.0	60.9
修正医業収支比率	52.7		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	40.5		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	68.8		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	40.3		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	56.1		85.4	63.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	554,386
1 固定資産	411,824
(1) 有形固定資産	411,534
(2) 無形固定資産	290
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	142,300
(1) 現金及び預金	96,320
(2) 未収金及び未収収益	41,847
(3) 貸倒引当金()	310
(4) 貯蔵品	3,943
(5) 繰延資産	262
負債合計	140,067
1 固定負債	44,491
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	35,793
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	8,698
2 流動負債	54,197
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,667
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,600
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,561
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	41,379
(1) 長期前受金	184,091
(2) 長期前受金収益化累計額()	142,712
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	414,319
1 資本金	760,617
2 剰余金	-346,298
(1) 資本剰余金	101,724
(2) 利益剰余金	-448,022
負債・資本合計	554,386
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	361,588	210,000
資本勘定繰入	2,930	2,930
計	364,518	212,930

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	146.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	遠別町				
病院名	遠別町立国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,547 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	その他		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	16	18.1	48.0	53.9
療養	20	1.7	8.4	21.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	36	9.0	26.0	35.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	23.6	27.0

設立団体の状況	
人口(人)	2,520
決算規模(千円)	6,130,086
標準財政規模(千円)	2,903,771
財政力指数	0.13
経常収支比率(%)	79.0
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 9.2 -

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	369,537			
1 経常収益	369,537			
(1) 医業収益	109,245			
(うち修正医業収益)	93,571			
入院収益	19,064			
外来収益	55,365			
診療収入計	74,429			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	34,816			
(うち他会計負担金)	15,674			
(2) 医業外収益	260,292			
(うち国・都道府県補助金)	4,369			
(うち他会計補助・負担金)	248,983			
(うち長期前受金戻入)	2,857			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	382,311			
2 経常費用	382,311			
(1) 医業費用	361,524			
職員給与費	254,393	232.9	58.7	89.5
材料費	15,253	14.0	26.9	13.4
(うち薬品費)	3,201	2.9	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	11,286	10.3	11.7	5.5
減価償却費	12,693	11.6	8.5	14.0
経費	77,583	71.0	21.5	46.3
(うち委託料)	41,234	37.7	11.5	22.2
研究研修費	1,308			
資産減耗費	294			
(2) 医業外費用	20,787			
(うち支払利息)	237	0.2	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-12,774			
純損失	-12,774			
累積欠損金	292,514			
経常収支比率	96.7		96.5	97.3
医業収支比率	30.2		86.0	60.9
修正医業収支比率	25.9		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	71.6		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	242.3		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	71.6		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	27.4		85.4	63.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	350,954
1 固定資産	176,893
(1) 有形固定資産	176,893
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	174,061
(1) 現金及び預金	160,988
(2) 未収金及び未収収益	10,127
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	2,647
3 繰延資産	-
負債合計	102,219
1 固定負債	77,942
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	77,942
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	12,192
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,258
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,634
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,085
(1) 長期前受金	55,887
(2) 長期前受金収益化累計額()	43,802
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	248,735
1 資本金	349,716
2 剰余金	-100,981
(1) 資本剰余金	191,223
(2) 利益剰余金	-292,204
負債・資本合計	350,954
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	264,657	264,657
資本勘定繰入	-	-
計	264,657	264,657

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	267.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	天塩町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,066 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	48	42.8	51.8	51.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	48	42.8	51.8	51.4
平均在院日数(一般病床のみ)		38.9	43.6	37.5

設立団体の状況	
人口(人)	2,950
決算規模(千円)	4,989,618
標準財政規模(千円)	3,109,303
財政力指数	0.16
経常収支比率(%)	75.6
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 7.3 3.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	710,528			
1 経常収益	710,521			
(1) 医業収益	356,107			
(うち修正医業収益)	319,813			
入院収益	149,788			
外来収益	137,818			
診療収入計	287,606			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	68,501			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	354,414			
(うち国・都道府県補助金)	56,927			
(うち他会計補助・負担金)	221,081			
(うち長期前受金戻入)	72,196			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	724,505			
2 経常費用	724,469			
(1) 医業費用	714,811			
職員給与費	431,019	121.0	58.7	89.5
材料費	59,619	16.7	26.9	13.4
(うち薬品費)	21,189	6.0	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,385	8.8	11.7	5.5
減価償却費	73,818	20.7	8.5	14.0
経費	148,975	41.8	21.5	46.3
(うち委託料)	55,069	15.5	11.5	22.2
研究研修費	1,172			
資産減耗費	208			
(2) 医業外費用	9,658			
(うち支払利息)	6,883	1.9	0.9	1.0
(3) 特別損失	36			
損益	経常損益 純損益	-13,948 -13,977		
累積欠損金	63,185			
経常収支比率	98.1		96.5	97.3
医業収支比率	49.8		86.0	60.9
修正医業収支比率	44.7		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	36.2		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	72.3		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	36.2		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	62.5		85.4	63.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,035,133
1 固定資産	906,035
(1) 有形固定資産	905,769
(2) 無形固定資産	266
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	129,098
(1) 現金及び預金	38,264
(2) 未収金及び未収収益	89,820
(3) 貸倒引当金()	865
(4) 貯蔵品	1,879
3 繰延資産	-
負債合計	872,843
1 固定負債	66,279
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	47,818
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,252
(6) リース債務	13,209
2 流動負債	133,578
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	80,774
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,397
(6) リース債務	4,393
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,144
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	672,986
(1) 長期前受金	1,937,476
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,264,490
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	162,290
1 資本金	106,128
2 剰余金	56,162
(1) 資本剰余金	119,347
(2) 利益剰余金	-63,185
負債・資本合計	1,035,133
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	255,125	257,375
資本勘定繰入	68,363	109,734
計	323,488	367,109

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	猿払村		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,055 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	1	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	24	43.3	45.4	41.9
療養	4	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	28	37.1	38.9	35.9
平均在院日数(一般病床のみ)		27.3	27.1	33.7

設立団体の状況		
人口(人)	2,611	
決算規模(千円)	5,719,673	
標準財政規模(千円)	3,041,157	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	85.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	27.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	551,585			
1 経常収益	551,585			
(1) 医業収益	268,501			
(うち修正医業収益)	263,282			
入院収益	42,682			
外来収益	179,839			
診療収入計	222,521			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	45,980			
(うち他会計負担金)	5,219			
(2) 医業外収益	283,084			
(うち国・都道府県補助金)	2,929			
(うち他会計補助・負担金)	253,885			
(うち長期前受金戻入)	12,851			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	551,587			
2 経常費用	551,587			
(1) 医業費用	546,592			
職員給与費	266,130	99.1	58.7	89.5
材料費	111,259	41.4	26.9	13.4
(うち薬品費)	66,948	24.9	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	38,724	14.4	11.7	5.5
減価償却費	56,759	21.1	8.5	14.0
経費	110,730	41.2	21.5	46.3
(うち委託料)	68,615	25.6	11.5	22.2
研究研修費	1,369			
資産減耗費	345			
(2) 医業外費用	4,995			
(うち支払利息)	896	0.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-2			
純損益	-2			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	97.3
医業収支比率	49.1		86.0	60.9
修正医業収支比率	48.2		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	47.0		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	96.5		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	47.0		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	53.0		85.4	63.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	681,792
1 固定資産	328,837
(1) 有形固定資産	326,906
(2) 無形固定資産	1,931
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	352,955
(1) 現金及び預金	34,347
(2) 未収金及び未収収益	303,639
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	14,969
3 繰延資産	-
負債合計	171,733
1 固定負債	113,160
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	113,160
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	34,316
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,199
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	15,296
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,811
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,257
(1) 長期前受金	102,138
(2) 長期前受金収益化累計額()	77,881
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	510,059
1 資本金	453,894
2 剰余金	56,165
(1) 資本剰余金	56,075
(2) 利益剰余金	90
負債・資本合計	681,792
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	259,104	259,104
資本勘定繰入	6,272	-
計	265,376	259,104

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	浜頓別町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,748 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	40	69.0	59.8	65.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	69.0	59.8	65.0
平均在院日数(一般病床のみ)		44.6	41.2	35.5

設立団体の状況		
人口(人)	3,448	
決算規模(千円)	4,827,762	
標準財政規模(千円)	3,157,022	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	88.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	4.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	848,740			
1 経常収益	846,016			
(1) 医業収益	452,069			
(うち修正医業収益)	409,838			
入院収益	210,326			
外来収益	136,988			
診療収入計	347,314			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	104,755			
(うち他会計負担金)	42,231			
(2) 医業外収益	393,947			
(うち国・都道府県補助金)	10,977			
(うち他会計補助・負担金)	349,349			
(うち長期前受金戻入)	27,566			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,724			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	830,577			
2 経常費用	830,577			
(1) 医業費用	827,579			
職員給与費	459,714	101.7	58.7	89.5
材料費	64,784	14.3	26.9	13.4
(うち薬品費)	32,248	7.1	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	22,137	4.9	11.7	5.5
減価償却費	49,595	11.0	8.5	14.0
経費	247,748	54.8	21.5	46.3
(うち委託料)	99,486	22.0	11.5	22.2
研究研修費	4,109			
資産減耗費	1,629			
(2) 医業外費用	2,998			
(うち支払利息)	936	0.2	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	15,439			
純損益	18,163			
累積欠損金	29,788			
経常収支比率	101.9		96.5	97.3
医業収支比率	54.6		86.0	60.9
修正医業収支比率	49.5		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	46.3		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	86.6		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	46.1		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	54.7		85.4	63.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,712,930
1 固定資産	974,288
(1) 有形固定資産	967,296
(2) 無形固定資産	615
(3) 投資その他の資産	6,377
2 流動資産	738,642
(1) 現金及び預金	583,714
(2) 未収金及び未収収益	63,371
(3) 貸倒引当金()	83
(4) 貯蔵品	9,640
3 繰延資産	-
負債合計	845,552
1 固定負債	660,655
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	660,655
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	99,029
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	25,006
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,770
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	36,830
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	85,868
(1) 長期前受金	446,123
(2) 長期前受金収益化累計額()	360,255
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	867,378
1 資本金	920,366
2 剰余金	-52,988
(1) 資本剰余金	-23,200
(2) 利益剰余金	-29,788
負債・資本合計	1,712,930
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	391,580	391,580
資本勘定繰入	13,375	13,375
計	404,955	404,955

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	中頓別町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,420 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	20	32.7	39.0	26.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	20	32.7	39.0	26.9
平均在院日数(一般病床のみ)		16.3	25.8	38.9

設立団体の状況		
人口(人)	1,637	
決算規模(千円)	4,384,587	
標準財政規模(千円)	2,331,504	
財政力指数	0.11	
経常収支比率(%)	64.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-0.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	575,217			
1 経常収益	575,184			
(1) 医業収益	259,287			
(うち修正医業収益)	225,447			
入院収益	49,704			
外来収益	68,834			
診療収入計	118,538			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	140,749			
(うち他会計負担金)	33,840			
(2) 医業外収益	315,897			
(うち国・都道府県補助金)	2,504			
(うち他会計補助・負担金)	284,833			
(うち長期前受金戻入)	26,616			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	33			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	575,216			
2 経常費用	575,216			
(1) 医業費用	561,779			
職員給与費	350,605	135.2	58.7	89.5
材料費	36,312	14.0	26.9	13.4
(うち薬品費)	11,270	4.3	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,900	7.3	11.7	5.5
減価償却費	42,869	16.5	8.5	14.0
経費	130,984	50.5	21.5	46.3
(うち委託料)	22,481	8.7	11.5	22.2
研究研修費	755			
資産減耗費	254			
(2) 医業外費用	13,437			
(うち支払利息)	541	0.2	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-32			
純損益	1			
累積欠損金	85,592			
経常収支比率	100.0		96.5	97.3
医業収支比率	46.2		86.0	60.9
修正医業収支比率	40.1		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	55.4		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	122.9		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	55.4		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	44.6		85.4	63.3

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	945,714
1 固定資産	456,338
(1) 有形固定資産	456,338
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	489,376
(1) 現金及び預金	138,275
(2) 未収金及び未収収益	348,560
(3) 貸倒引当金()	638
(4) 貯蔵品	3,179
3 繰延資産	-
負債合計	377,059
1 固定負債	154,775
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	154,775
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	62,924
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,252
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	26,170
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,502
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	159,360
(1) 長期前受金	424,673
(2) 長期前受金収益化累計額()	265,313
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	568,655
1 基本金	654,247
2 剰余金	-85,592
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-85,592
負債・資本合計	945,714
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	317,150	318,673
資本勘定繰入	11,551	18,961
計	328,701	337,634

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	枝幸町				
病院名	枝幸町国民健康保険病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,195 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	その他		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	60	56.5	68.7	65.0
療養	23	55.3	82.8	82.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	83	56.0	75.0	72.7
平均在院日数(一般病床のみ)		46.9	37.8	52.6

設立団体の状況		
人口(人)	7,565	
決算規模(千円)	12,803,487	
標準財政規模(千円)	6,773,181	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	76.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,889,886			
1 経常収益	1,889,886			
(1) 医業収益	825,205			
(うち修正医業収益)	751,855			
入院収益	322,063			
外来収益	380,009			
診療収入計	702,072			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	123,133			
(うち他会計負担金)	73,350			
(2) 医業外収益	1,064,681			
(うち国・都道府県補助金)	2,369			
(うち他会計補助・負担金)	926,609			
(うち長期前受金戻入)	101,486			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,885,340			
2 経常費用	1,885,340			
(1) 医業費用	1,761,884			
職員給与費	983,991	119.2	58.7	78.7
材料費	222,078	26.9	26.9	14.5
(うち薬品費)	122,051	14.8	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	83,766	10.2	11.7	6.1
減価償却費	231,924	28.1	8.5	11.8
経費	318,085	38.5	21.5	32.3
(うち委託料)	177,893	21.6	11.5	15.3
研究研修費	1,397			
資産減耗費	4,409			
(2) 医業外費用	123,456			
(うち支払利息)	17,560	2.1	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	4,546			
純損益	4,546			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.2		96.5	96.4
医業収支比率	46.8		86.0	72.4
修正医業収支比率	42.7		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	52.9		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	121.2		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	52.9		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	47.2		85.4	73.0

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,728,662
1 固定資産	3,027,526
(1) 有形固定資産	3,027,525
(2) 無形固定資産	1
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	701,136
(1) 現金及び預金	553,680
(2) 未収金及び未収収益	119,515
(3) 貸倒引当金()	338
(4) 貯蔵品	28,279
3 繰延資産	-
負債合計	2,062,864
1 固定負債	1,296,894
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,296,894
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	354,962
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	282,519
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	59,933
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	12,488
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	411,008
(1) 長期前受金	1,025,462
(2) 長期前受金収益化累計額()	614,454
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,665,798
1 資本金	1,520,340
2 剰余金	145,458
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	145,458
負債・資本合計	3,728,662
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	999,441	999,959
資本勘定繰入	153,485	180,734
計	1,152,926	1,180,693

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	豊富町		
病院名	豊富町国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	3,974
決算規模(千円)	6,174,576
標準財政規模(千円)	3,496,815
財政力指数	0.19
経常収支比率(%)	71.5
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,369			
1 経常収益	1,369			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,369			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,369			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,369			
2 経常費用	1,369			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	89.5
材料費	-	-	26.9	13.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	5.5
減価償却費	-	-	8.5	14.0
経費	-	-	21.5	46.3
(うち委託料)	-	-	11.5	22.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,369			
(うち支払利息)	1,369	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	97.3
医業収支比率	-		86.0	60.9
修正医業収支比率	-		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	-		85.4	63.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	1,369	1,369
資本勘定繰入	41,415	41,415
計	42,784	42,784

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名 北海道
市町村・組合名	美幌町			
病院名	国保病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	7,739 m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	8	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	99	55.3	59.2	64.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	55.3	59.2	64.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.4	22.6	15.2

設立団体の状況		
人口(人)	18,697	
決算規模(千円)	12,502,931	
標準財政規模(千円)	7,089,218	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	86.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,985,542			
1 経常収益	1,985,542			
(1) 医業収益	1,687,685			
(うち修正医業収益)	1,635,475			
入院収益	756,930			
外来収益	800,300			
診療収入計	1,557,230			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	130,455			
(うち他会計負担金)	52,210			
(2) 医業外収益	297,857			
(うち国・都道府県補助金)	44,539			
(うち他会計補助・負担金)	217,430			
(うち長期前受金戻入)	15,070			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,027,860			
2 経常費用	2,027,860			
(1) 医業費用	1,934,764			
職員給与費	992,841	58.8	58.7	78.7
材料費	289,255	17.1	26.9	14.5
(うち薬品費)	92,377	5.5	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	196,850	11.7	11.7	6.1
減価償却費	99,662	5.9	8.5	11.8
経費	549,744	32.6	21.5	32.3
(うち委託料)	216,325	12.8	11.5	15.3
研究研修費	3,262			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	93,096			
(うち支払利息)	17,892	1.1	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-42,318			
純損失	-42,318			
累積欠損金	3,223,681			
経常収支比率	97.9		96.5	96.4
医業収支比率	87.2		86.0	72.4
修正医業収支比率	84.5		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.6		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	16.0		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	13.6		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	84.6		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,911,511
1 固定資産	1,275,597
(1) 有形固定資産	1,275,504
(2) 無形固定資産	93
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	635,914
(1) 現金及び預金	369,658
(2) 未収金及び未収収益	260,081
(3) 貸倒引当金()	70
(4) 貯蔵品	6,245
3 繰延資産	-
負債合計	1,424,938
1 固定負債	833,108
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	827,272
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	5,836
2 流動負債	363,062
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	163,994
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	76,512
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	85,272
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	228,768
(1) 長期前受金	517,851
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	289,083
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	486,573
1 資本金	3,690,774
2 剰余金	-3,204,201
(1) 資本剰余金	19,480
(2) 利益剰余金	-3,223,681
負債・資本合計	1,911,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	269,625	269,640
資本勘定繰入	108,177	108,177
計	377,802	377,817

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	191.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	斜里町		
病院名	斜里町国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,521 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	6	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	55	51.4	58.2	62.7
療養	40	47.7	70.3	75.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	95	49.8	63.3	68.1
平均在院日数(一般病床のみ)		24.0	24.3	21.3

設立団体の状況		
人口(人)	11,418	
決算規模(千円)	10,270,403	
標準財政規模(千円)	6,113,941	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	86.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	42.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,371,319			
1 経常収益	1,371,319			
(1) 医業収益	834,358			
(うち修正医業収益)	782,536			
入院収益	426,279			
外来収益	319,031			
診療収入計	745,310			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	89,048			
(うち他会計負担金)	51,822			
(2) 医業外収益	536,961			
(うち国・都道府県補助金)	2,052			
(うち他会計補助・負担金)	482,592			
(うち長期前受金戻入)	31,586			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,322,867			
2 経常費用	1,322,867			
(1) 医業費用	1,277,871			
職員給与費	777,633	93.2	58.7	78.7
材料費	130,217	15.6	26.9	14.5
(うち薬品費)	88,376	10.6	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	41,841	5.0	11.7	6.1
減価償却費	90,717	10.9	8.5	11.8
経費	274,170	32.9	21.5	32.3
(うち委託料)	140,370	16.8	11.5	15.3
研究研修費	5,134			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	44,996			
(うち支払利息)	1,507	0.2	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	48,452			
純損益	48,452			
累積欠損金	894,125			
経常収支比率	103.7		96.5	96.4
医業収支比率	65.3		86.0	72.4
修正医業収支比率	61.2		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	39.0		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	64.1		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	39.0		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	63.3		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,288,124
1 固定資産	687,339
(1) 有形固定資産	687,246
(2) 無形固定資産	93
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	600,785
(1) 現金及び預金	491,283
(2) 未収金及び未収収益	105,049
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	4,452
3 繰延資産	-
負債合計	904,493
1 固定負債	494,390
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	162,890
(2) その他の企業債	47,392
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	60,000
(5) 引当金	224,108
(6) リース債務	-
2 流動負債	167,210
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	56,298
(2) その他の企業債	4,308
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	38,411
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	68,193
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	242,893
(1) 長期前受金	433,437
(2) 長期前受金収益化累計額()	190,544
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	383,631
1 本金	1,242,135
2 剰余金	-858,504
(1) 資本剰余金	35,621
(2) 利益剰余金	-894,125
負債・資本合計	1,288,124
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	534,345	534,414
資本勘定繰入	22,236	27,301
計	556,581	561,715

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	107.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	滝上町		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	その他
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,421	
決算規模(千円)	4,629,067	
標準財政規模(千円)	2,955,990	
財政力指数	0.12	
経常収支比率(%)	86.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	637			
1 経常収益	637			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	637			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	637			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	637			
2 経常費用	637			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	89.5
材料費	-	-	26.9	13.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	5.5
減価償却費	-	-	8.5	14.0
経費	-	-	21.5	46.3
(うち委託料)	-	-	11.5	22.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	637			
(うち支払利息)	637	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	97.3
医業収支比率	-		86.0	60.9
修正医業収支比率	-		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	-		85.4	63.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	45,128
1 固定資産	45,128
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	45,128
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	45,128
1 固定負債	45,128
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	45,128
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	45,128
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	637
資本勘定繰入	-	20,377
計	-	21,014

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	興部町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,985 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	32	58.5	61.4	64.9
療養	18	24.1	22.5	28.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	46.1	47.4	51.6
平均在院日数(一般病床のみ)		42.7	45.5	39.8

設立団体の状況	
人口(人)	3,628
決算規模(千円)	5,324,588
標準財政規模(千円)	3,187,078
財政力指数	0.21
経常収支比率(%)	75.9
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	7.3
将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	698,946			
1 経常収益	698,946			
(1) 医業収益	273,199			
(うち修正医業収益)	273,199			
入院収益	145,064			
外来収益	99,293			
診療収入計	244,357			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	28,842			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	425,747			
(うち国・都道府県補助金)	1,080			
(うち他会計補助・負担金)	403,973			
(うち長期前受金戻入)	17,258			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	731,430			
2 経常費用	729,784			
(1) 医業費用	701,715			
職員給与費	473,621	173.4	58.7	78.7
材料費	36,206	13.3	26.9	14.5
(うち薬品費)	12,856	4.7	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	12,875	4.7	11.7	6.1
減価償却費	55,031	20.1	8.5	11.8
経費	135,372	49.6	21.5	32.3
(うち委託料)	44,554	16.3	11.5	15.3
研究研修費	815			
資産減耗費	670			
(2) 医業外費用	28,069			
(うち支払利息)	6,833	2.5	0.9	1.1
(3) 特別損失	1,646			
経常損益	-30,838			
純損益	-32,484			
累積欠損金	883,411			
経常収支比率	95.8		96.5	96.4
医業収支比率	38.9		86.0	72.4
修正医業収支比率	38.9		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	57.8		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	147.9		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	57.8		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	40.4		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,767,191
1 固定資産	1,520,795
(1) 有形固定資産	1,463,193
(2) 無形固定資産	70
(3) 投資その他の資産	57,532
2 流動資産	246,396
(1) 現金及び預金	208,469
(2) 未収金及び未収収益	35,748
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	2,179
3 繰延資産	-
負債合計	1,450,655
1 固定負債	869,822
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	869,822
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	101,245
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	46,668
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,616
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,961
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	479,588
(1) 長期前受金	641,754
(2) 長期前受金収益化累計額()	162,166
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	316,536
1 本金	1,177,429
2 剰余金	-860,893
(1) 資本剰余金	22,518
(2) 利益剰余金	-883,411
負債・資本合計	1,767,191
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	403,756	403,973
資本勘定繰入	11,350	22,700
計	415,106	426,673

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	323.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	雄武町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,308 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	25	34.8	33.6	41.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	25	34.8	33.6	41.2
平均在院日数(一般病床のみ)		17.2	16.4	18.5

設立団体の状況		
人口(人)	4,199	
決算規模(千円)	6,802,147	
標準財政規模(千円)	3,851,959	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	75.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	714,320			
1 経常収益	714,320			
(1) 医業収益	264,171			
(うち修正医業収益)	216,982			
入院収益	83,329			
外来収益	108,561			
診療収入計	191,890			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	72,281			
(うち他会計負担金)	47,189			
(2) 医業外収益	450,149			
(うち国・都道府県補助金)	6,750			
(うち他会計補助・負担金)	364,342			
(うち長期前受金戻入)	9,638			
(うち資本費繰入収益)	36,469			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	718,702			
2 経常費用	718,702			
(1) 医業費用	687,030			
職員給与費	390,858	148.0	58.7	89.5
材料費	33,930	12.8	26.9	13.4
(うち薬品費)	16,719	6.3	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,014	6.4	11.7	5.5
減価償却費	59,821	22.6	8.5	14.0
経費	164,061	62.1	21.5	46.3
(うち委託料)	78,174	29.6	11.5	22.2
研究研修費	35,295			
資産減耗費	3,065			
(2) 医業外費用	31,672			
(うち支払利息)	5,933	2.2	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-4,382			
純損失	-4,382			
累積欠損金	88,893			
経常収支比率	99.4		96.5	97.3
医業収支比率	38.5		86.0	60.9
修正医業収支比率	31.6		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	57.6		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	155.8		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	57.6		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	42.1		85.4	63.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,018,723
1 固定資産	927,261
(1) 有形固定資産	894,654
(2) 無形固定資産	31,865
(3) 投資その他の資産	742
2 流動資産	91,462
(1) 現金及び預金	50,893
(2) 未収金及び未収収益	35,657
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	4,912
3 繰延資産	-
負債合計	715,546
1 固定負債	510,014
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	509,228
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	786
2 流動負債	134,859
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	70,248
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	24,163
(6) リース債務	1,179
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	35,750
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	70,673
(1) 長期前受金	139,981
(2) 長期前受金収益化累計額()	69,308
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	303,177
1 資本金	373,422
2 剰余金	-70,245
(1) 資本剰余金	14,148
(2) 利益剰余金	-84,393
負債・資本合計	1,018,723
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	411,531	411,531
資本勘定繰入	36,469	36,469
計	448,000	448,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	豊浦町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,963 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	37.9	31.5
療養	60	58.7	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	58.7	37.9	31.5
平均在院日数(一般病床のみ)		-	70.2	73.0

設立団体の状況		
人口(人)	3,821	
決算規模(千円)	5,791,366	
標準財政規模(千円)	3,080,704	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	89.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.1
	将来負担比率(%)	6.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	645,203			
1 経常収益	645,203			
(1) 医業収益	367,534			
(うち修正医業収益)	367,534			
入院収益	198,676			
外来収益	138,417			
診療収入計	337,093			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	30,441			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	277,669			
(うち国・都道府県補助金)	1,246			
(うち他会計補助・負担金)	244,375			
(うち長期前受金戻入)	8,848			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	724,252			
2 経常費用	724,252			
(1) 医業費用	695,869			
職員給与費	387,692	105.5	58.7	78.7
材料費	90,960	24.7	26.9	14.5
(うち薬品費)	70,682	19.2	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,513	5.0	11.7	6.1
減価償却費	45,697	12.4	8.5	11.8
経費	164,603	44.8	21.5	32.3
(うち委託料)	63,894	17.4	11.5	15.3
研究研修費	584			
資産減耗費	6,333			
(2) 医業外費用	28,383			
(うち支払利息)	6,266	1.7	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-79,049			
純損益	-79,049			
累積欠損金	253,202			
経常収支比率	89.1		96.5	96.4
医業収支比率	52.8		86.0	72.4
修正医業収支比率	52.8		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	37.9		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	66.5		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	37.9		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	55.3		85.4	73.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,474,764
1 固定資産	1,059,718
(1) 有形固定資産	1,059,666
(2) 無形固定資産	52
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	415,046
(1) 現金及び預金	315,377
(2) 未収金及び未収収益	89,168
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	10,501
3 繰延資産	-
負債合計	764,630
1 固定負債	462,411
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	333,915
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	128,496
(6) リース債務	-
2 流動負債	121,517
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	63,654
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	33,516
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	23,232
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	180,702
(1) 長期前受金	311,162
(2) 長期前受金収益化累計額()	130,460
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	710,134
1 資本金	945,360
2 剰余金	-235,226
(1) 資本剰余金	17,976
(2) 利益剰余金	-253,202
負債・資本合計	1,474,764
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	244,383	244,375
資本勘定繰入	43,184	-
計	287,567	244,375

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	68.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	白老町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,079 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	48	24.8	27.8	23.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	48	24.8	27.8	23.7
平均在院日数(一般病床のみ)		20.2	22.1	13.8

設立団体の状況		
人口(人)	16,212	
決算規模(千円)	13,417,619	
標準財政規模(千円)	6,456,631	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	88.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	826,762			
1 経常収益	821,591			
(1) 医業収益	447,684			
(うち修正医業収益)	365,685			
入院収益	118,265			
外来収益	201,757			
診療収入計	320,022			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	127,662			
(うち他会計負担金)	81,999			
(2) 医業外収益	373,907			
(うち国・都道府県補助金)	1,513			
(うち他会計補助・負担金)	360,855			
(うち長期前受金戻入)	7,819			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,171			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	879,215			
2 経常費用	879,069			
(1) 医業費用	851,905			
職員給与費	458,109	102.3	58.7	89.5
材料費	41,095	9.2	26.9	13.4
(うち薬品費)	26,629	5.9	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,284	3.2	11.7	5.5
減価償却費	21,258	4.7	8.5	14.0
経費	328,858	73.5	21.5	46.3
(うち委託料)	151,600	33.9	11.5	22.2
研究研修費	159			
資産減耗費	2,426			
(2) 医業外費用	27,164			
(うち支払利息)	1,172	0.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	146			
経常損益	-57,478			
純損益	-52,453			
累積欠損金	1,037,794			
経常収支比率	93.5		96.5	97.3
医業収支比率	52.6		86.0	60.9
修正医業収支比率	42.9		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	53.9		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	98.9		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	53.6		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	43.1		85.4	63.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,645,412
1 固定資産	1,550,798
(1) 有形固定資産	1,549,386
(2) 無形固定資産	1,412
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	94,614
(1) 現金及び預金	23,455
(2) 未収金及び未収収益	53,782
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	17,377
3 繰延資産	-
負債合計	476,500
1 固定負債	340,427
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	340,427
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	93,278
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,873
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,803
(6) リース債務	328
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	56,082
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	42,795
(1) 長期前受金	139,276
(2) 長期前受金収益化累計額()	96,481
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,168,912
1 資本金	2,197,243
2 剰余金	-1,028,331
(1) 資本剰余金	1,863
(2) 利益剰余金	-1,030,194
負債・資本合計	1,645,412
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	277,498	442,854
資本勘定繰入	349,000	883,600
計	626,498	1,326,454

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	18,985	4.1

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	231.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	むかわ町		
病院名	むかわ町鶴川厚生病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,548 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	40	52.1	47.6	42.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	52.1	47.6	42.3
平均在院日数(一般病床のみ)		15.8	15.1	14.1

設立団体の状況		
人口(人)	7,651	
決算規模(千円)	9,396,627	
標準財政規模(千円)	5,420,274	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	88.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	14.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	258,436			
1 経常収益	258,436			
(1) 医業収益	1,207			
(うち修正医業収益)	1,207			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,207			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	257,229			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	238,757			
(うち長期前受金戻入)	15,621			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	304,526			
2 経常費用	304,526			
(1) 医業費用	296,678			
職員給与費	-	-	58.7	89.5
材料費	-	-	26.9	13.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	5.5
減価償却費	86,470	7164.0	8.5	14.0
経費	209,336	17343.5	21.5	46.3
(うち委託料)	-	-	11.5	22.2
研究研修費	-			
資産減耗費	872			
(2) 医業外費用	7,848			
(うち支払利息)	2,364	195.9	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-46,090			
純損失	-46,090			
累積欠損金	100,844			
経常収支比率	84.9		96.5	97.3
医業収支比率	0.4		86.0	60.9
修正医業収支比率	0.4		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	92.4		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	19781.0		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	92.4		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	6.5		85.4	63.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,049,971
1 固定資産	1,003,205
(1) 有形固定資産	975,203
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	28,002
2 流動資産	46,766
(1) 現金及び預金	46,316
(2) 未収金及び未収収益	450
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,069,070
1 固定負債	767,809
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	767,809
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	55,682
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,971
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	711
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	245,579
(1) 長期前受金	488,336
(2) 長期前受金収益化累計額()	242,757
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-19,099
1 資本金	30,628
2 剰余金	-49,727
(1) 資本剰余金	51,117
(2) 利益剰余金	-100,844
負債・資本合計	1,049,971
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	19,099
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	238,757	238,757
資本勘定繰入	30,628	30,628
計	269,385	269,385

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	8354.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	日高町				
病院名	門別国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,805 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	34	58.6	52.7	46.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	34	58.6	52.7	46.4
平均在院日数(一般病床のみ)		20.0	19.1	19.6

設立団体の状況		
人口(人)	11,279	
決算規模(千円)	11,983,581	
標準財政規模(千円)	6,945,053	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.0
	将来負担比率(%)	47.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,577,501			
1 経常収益	1,577,501			
(1) 医業収益	727,354			
(うち修正医業収益)	664,694			
入院収益	195,903			
外来収益	421,669			
診療収入計	617,572			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	109,782			
(うち他会計負担金)	62,660			
(2) 医業外収益	850,147			
(うち国・都道府県補助金)	36,496			
(うち他会計補助・負担金)	458,226			
(うち長期前受金戻入)	104,747			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,529,982			
2 経常費用	1,529,982			
(1) 医業費用	1,047,466			
職員給与費	636,926	87.6	58.7	89.5
材料費	108,115	14.9	26.9	13.4
(うち薬品費)	55,325	7.6	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	52,777	7.3	11.7	5.5
減価償却費	120,716	16.6	8.5	14.0
経費	180,800	24.9	21.5	46.3
(うち委託料)	110,577	15.2	11.5	22.2
研究研修費	909			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	482,516			
(うち支払利息)	16,623	2.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	47,519			
純損益	47,519			
累積欠損金	238,504			
経常収支比率	103.1		96.5	97.3
医業収支比率	69.4		86.0	60.9
修正医業収支比率	63.5		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	33.0		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	71.6		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	33.0		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	69.1		85.4	63.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,471,148
1 固定資産	2,180,557
(1) 有形固定資産	2,180,557
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	290,591
(1) 現金及び預金	122,144
(2) 未収金及び未収収益	162,857
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	5,590
3 繰延資産	-
負債合計	2,640,760
1 固定負債	969,525
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	968,837
(2) その他の企業債	688
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	206,254
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	158,826
(2) その他の企業債	137
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	46,991
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,464,981
(1) 長期前受金	2,066,989
(2) 長期前受金収益化累計額()	602,008
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-169,612
1 本金	68,892
2 剰余金	-238,504
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-238,504
負債・資本合計	2,471,148
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	169,612
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	212,212	520,886
資本勘定繰入	73,139	115,114
計	285,351	636,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	平取町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,447 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	42	56.1	49.6	47.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	56.1	49.6	47.0
平均在院日数(一般病床のみ)		36.6	26.9	30.5

設立団体の状況		
人口(人)	4,776	
決算規模(千円)	6,867,687	
標準財政規模(千円)	3,924,012	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	82.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	52.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均
総収益	827,451			
1 経常収益	790,234			
(1) 医業収益	355,707			
(うち修正医業収益)	319,451			
入院収益	166,868			
外来収益	112,872			
診療収入計	279,740			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	75,967			
(うち他会計負担金)	36,256			
(2) 医業外収益	434,527			
(うち国・都道府県補助金)	16,419			
(うち他会計補助・負担金)	286,926			
(うち長期前受金戻入)	118,767			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	37,217			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	794,626			
2 経常費用	794,626			
(1) 医業費用	786,356			
職員給与費	473,690	133.2	58.7	89.5
材料費	54,603	15.4	26.9	13.4
(うち薬品費)	19,539	5.5	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	34,396	9.7	11.7	5.5
減価償却費	108,481	30.5	8.5	14.0
経費	149,101	41.9	21.5	46.3
(うち委託料)	73,220	20.6	11.5	22.2
研究研修費	481			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	8,270			
(うち支払利息)	6,460	1.8	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-4,392			
純損益	32,825			
累積欠損金	101,353			
経常収支比率	99.4		96.5	97.3
医業収支比率	45.2		86.0	60.9
修正医業収支比率	40.6		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	40.9		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	90.9		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	39.1		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	58.8		85.4	63.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,243,859
1 固定資産	2,170,640
(1) 有形固定資産	2,128,460
(2) 無形固定資産	507
(3) 投資その他の資産	41,673
2 流動資産	73,219
(1) 現金及び預金	17,669
(2) 未収金及び未収収益	45,841
(3) 貸倒引当金()	493
(4) 貯蔵品	10,202
3 繰延資産	-
負債合計	2,131,133
1 固定負債	1,838,253
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,837,253
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,000
(6) リース債務	-
2 流動負債	225,992
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	175,244
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	33,058
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	17,681
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	66,888
(1) 長期前受金	590,069
(2) 長期前受金収益化累計額()	523,181
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	112,726
1 本金	201,414
2 剰余金	-88,688
(1) 資本剰余金	12,665
(2) 利益剰余金	-101,353
負債・資本合計	2,243,859
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	187,608	323,182
資本勘定繰入	17,188	156,943
計	204,796	480,125

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	新ひだか町				
病院名	新ひだか町立静内病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,932 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	58	61.8	52.3	51.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	61.8	52.3	51.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	15.4	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	21,517	
決算規模(千円)	18,571,828	
標準財政規模(千円)	9,360,611	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	90.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	28.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,388,368			
1 経常収益	1,387,819			
(1) 医業収益	960,147			
(うち修正医業収益)	960,147			
入院収益	522,536			
外来収益	378,654			
診療収入計	901,190			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	58,957			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	427,672			
(うち国・都道府県補助金)	76,519			
(うち他会計補助・負担金)	316,942			
(うち長期前受金戻入)	15,321			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	549			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,354,852			
2 経常費用	1,349,729			
(1) 医業費用	1,282,220			
職員給与費	675,225	70.3	58.7	78.7
材料費	126,687	13.2	26.9	14.5
(うち薬品費)	74,168	7.7	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	52,519	5.5	11.7	6.1
減価償却費	78,216	8.1	8.5	11.8
経費	396,621	41.3	21.5	32.3
(うち委託料)	245,232	25.5	11.5	15.3
研究研修費	683			
資産減耗費	4,788			
(2) 医業外費用	67,509			
(うち支払利息)	10,736	1.1	0.9	1.1
(3) 特別損失	5,123			
経常損益	38,090			
純損益	33,516			
累積欠損金	467,246			
経常収支比率	102.8		96.5	96.4
医業収支比率	74.9		86.0	72.4
修正医業収支比率	74.9		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	22.8		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	33.0		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	22.8		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	79.3		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,564,585
1 固定資産	1,134,048
(1) 有形固定資産	1,133,657
(2) 無形固定資産	391
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	430,537
(1) 現金及び預金	227,341
(2) 未収金及び未収収益	191,933
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	11,263
3 繰延資産	-
負債合計	2,309,232
1 固定負債	463,680
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	463,680
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	671,330
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	170,180
(2) その他の企業債	6,154
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	59,129
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	350,000
(8) 未払金及び未払費用	85,867
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,174,222
(1) 長期前受金	3,030,634
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,856,412
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-744,647
1 本金	160,779
2 剰余金	-905,426
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-905,426
負債・資本合計	1,564,585
不良債務	70,613
実質資金不足額	70,613
資本不足額()	744,647
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	247,598	316,942
資本勘定繰入	95,561	95,561
計	343,159	412,503

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	70,613	6.2
令和4年度	57,602	5.4
令和3年度	52,534	4.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	79.2
健全化法上の資金不足額(千円)	29,296
健全化法上の資金不足比率(%)	2.5
地財法上の資金不足額(千円)	70,613
地財法上の資金不足比率(%)	6.1

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	新ひだか町		
病院名	新ひだか町立三石国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,104 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	4	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	その他
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	22	64.7	65.8	70.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	22	64.7	65.8	36.7
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	21,517	
決算規模(千円)	18,571,828	
標準財政規模(千円)	9,360,611	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	90.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	28.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均
総収益	427,333			
1 経常収益	426,412			
(1) 医業収益	182,408			
(うち修正医業収益)	182,408			
入院収益	67,057			
外来収益	95,524			
診療収入計	162,581			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	19,827			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	244,004			
(うち国・都道府県補助金)	1,115			
(うち他会計補助・負担金)	237,028			
(うち長期前受金戻入)	1,286			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	921			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	495,694			
2 経常費用	494,686			
(1) 医業費用	476,705			
職員給与費	246,823	135.3	58.7	89.5
材料費	36,847	20.2	26.9	13.4
(うち薬品費)	18,330	10.0	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,517	10.2	11.7	5.5
減価償却費	14,465	7.9	8.5	14.0
経費	178,327	97.8	21.5	46.3
(うち委託料)	91,922	50.4	11.5	22.2
研究研修費	144			
資産減耗費	99			
(2) 医業外費用	17,981			
(うち支払利息)	682	0.4	0.9	1.0
(3) 特別損失	1,008			
損益	-68,274			
純損益	-68,361			
累積欠損金	438,180			
経常収支比率	86.2		96.5	97.3
医業収支比率	38.3		86.0	60.9
修正医業収支比率	38.3		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	55.6		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	129.9		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	55.5		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	38.3		85.4	63.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,564,585
1 固定資産	1,134,048
(1) 有形固定資産	1,133,657
(2) 無形固定資産	391
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	430,537
(1) 現金及び預金	227,341
(2) 未収金及び未収収益	191,933
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	11,263
3 繰延資産	-
負債合計	2,309,232
1 固定負債	463,680
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	463,680
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	671,330
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	170,180
(2) その他の企業債	6,154
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	59,129
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	350,000
(8) 未払金及び未払費用	85,867
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,174,222
(1) 長期前受金	3,030,634
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,856,412
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-744,647
1 本金	160,779
2 剰余金	-905,426
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-905,426
負債・資本合計	1,564,585
不良債務	70,613
実質資金不足額	70,613
資本不足額()	744,647
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	123,742	237,028
資本勘定繰入	18,420	22,545
計	142,162	259,573

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	70,613	6.2
令和4年度	57,602	5.4
令和3年度	52,534	4.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	79.2
健全化法上の資金不足額(千円)	29,296
健全化法上の資金不足比率(%)	2.5
地財法上の資金不足額(千円)	70,613
地財法上の資金不足比率(%)	6.1

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	士幌町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,166 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	50	51.4	48.0	73.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	51.4	48.0	73.8
平均在院日数(一般病床のみ)		48.5	54.6	47.6

設立団体の状況		
人口(人)	5,848	
決算規模(千円)	8,435,391	
標準財政規模(千円)	4,451,449	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	87.8	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	818,621			
1 経常収益	818,621			
(1) 医業収益	371,590			
(うち修正医業収益)	371,590			
入院収益	170,036			
外来収益	149,252			
診療収入計	319,288			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	52,302			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	447,031			
(うち国・都道府県補助金)	1,452			
(うち他会計補助・負担金)	420,000			
(うち長期前受金戻入)	22,343			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	904,975			
2 経常費用	904,975			
(1) 医業費用	867,355			
職員給与費	494,278	133.0	58.7	78.7
材料費	69,026	18.6	26.9	14.5
(うち薬品費)	32,898	8.9	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,496	7.4	11.7	6.1
減価償却費	85,062	22.9	8.5	11.8
経費	215,842	58.1	21.5	32.3
(うち委託料)	99,541	26.8	11.5	15.3
研究研修費	1,923			
資産減耗費	1,224			
(2) 医業外費用	37,620			
(うち支払利息)	8,964	2.4	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-86,354			
純損失	-86,354			
累積欠損金	1,135,621			
経常収支比率	90.5		96.5	96.4
医業収支比率	42.8		86.0	72.4
修正医業収支比率	42.8		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	51.3		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	113.0		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	51.3		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	44.0		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,996,352
1 固定資産	1,848,140
(1) 有形固定資産	1,848,010
(2) 無形固定資産	130
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	148,212
(1) 現金及び預金	71,525
(2) 未収金及び未収収益	72,492
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	4,040
3 繰延資産	-
負債合計	1,950,276
1 固定負債	667,225
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	667,225
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	203,627
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	102,227
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	58,380
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	43,020
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,079,424
(1) 長期前受金	1,277,915
(2) 長期前受金収益化累計額()	198,491
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	46,076
1 本金	984,825
2 剰余金	-938,749
(1) 資本剰余金	196,872
(2) 利益剰余金	-1,135,621
負債・資本合計	1,996,352
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	420,000	420,000
資本勘定繰入	74,345	91,675
計	494,345	511,675

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	305.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	鹿追町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,233 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	その他		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	30	77.1	53.0	58.3
療養	20	54.1	40.7	45.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	67.9	48.1	53.1
平均在院日数(一般病床のみ)		38.6	28.0	28.9

設立団体の状況		
人口(人)	5,266	
決算規模(千円)	7,782,570	
標準財政規模(千円)	4,184,081	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	81.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	630,074			
1 経常収益	630,074			
(1) 医業収益	394,398			
(うち修正医業収益)	356,407			
入院収益	170,636			
外来収益	159,507			
診療収入計	330,143			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	64,255			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	235,676			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	211,329			
(うち長期前受金戻入)	5,588			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	619,010			
2 経常費用	619,010			
(1) 医業費用	602,292			
職員給与費	389,090	98.7	58.7	78.7
材料費	61,415	15.6	26.9	14.5
(うち薬品費)	34,412	8.7	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,003	6.8	11.7	6.1
減価償却費	43,023	10.9	8.5	11.8
経費	107,902	27.4	21.5	32.3
(うち委託料)	74,837	19.0	11.5	15.3
研究研修費	318			
資産減耗費	544			
(2) 医業外費用	16,718			
(うち支払利息)	896	0.2	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	11,064			
純損益	11,064			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.8		96.5	96.4
医業収支比率	65.5		86.0	72.4
修正医業収支比率	59.2		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	39.6		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	63.2		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	39.6		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	61.5		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	945,716
1 固定資産	532,504
(1) 有形固定資産	532,504
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	413,212
(1) 現金及び預金	360,076
(2) 未収金及び未収収益	51,537
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	1,599
3 繰延資産	-
負債合計	168,176
1 固定負債	34,390
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	34,390
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	83,815
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,018
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	34,842
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	27,955
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	49,971
(1) 長期前受金	193,850
(2) 長期前受金収益化累計額()	143,879
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	777,540
1 資本金	742,942
2 剰余金	34,598
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	34,598
負債・資本合計	945,716
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	151,824	249,320
資本勘定繰入	-	-
計	151,824	249,320

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	芽室町				
病院名	国保芽室病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,497 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	120	67.3	68.6	46.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	67.3	68.6	46.2
平均在院日数(一般病床のみ)		20.2	17.5	14.7

設立団体の状況		
人口(人)	18,048	
決算規模(千円)	15,326,530	
標準財政規模(千円)	7,661,295	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	89.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	82.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,205,329			
1 経常収益	2,205,329			
(1) 医業収益	1,546,315			
(うち修正医業収益)	1,451,389			
入院収益	803,750			
外来収益	540,129			
診療収入計	1,343,879			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	202,436			
(うち他会計負担金)	94,926			
(2) 医業外収益	659,014			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	330,922			
(うち長期前受金戻入)	111,625			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,149,263			
2 経常費用	2,149,263			
(1) 医業費用	2,096,197			
職員給与費	1,338,848	86.6	58.7	67.7
材料費	181,860	11.8	26.9	18.3
(うち薬品費)	85,528	5.5	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	77,983	5.0	11.7	9.1
減価償却費	159,336	10.3	8.5	10.3
経費	405,263	26.2	21.5	29.4
(うち委託料)	132,565	8.6	11.5	13.6
研究研修費	6,203			
資産減耗費	4,687			
(2) 医業外費用	53,066			
(うち支払利息)	4,740	0.3	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	56,066			
純損益	56,066			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.6		96.5	95.4
医業収支比率	73.8		86.0	79.1
修正医業収支比率	69.2		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	19.3		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	27.5		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	19.3		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	82.8		85.4	79.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,051,488
1 固定資産	1,931,022
(1) 有形固定資産	1,931,022
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,120,466
(1) 現金及び預金	986,938
(2) 未収金及び未収収益	116,306
(3) 貸倒引当金()	1,108
(4) 貯蔵品	18,330
3 繰延資産	-
負債合計	1,383,214
1 固定負債	353,800
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	353,800
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	255,036
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	76,854
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	97,259
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	70,794
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	774,378
(1) 長期前受金	2,268,197
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,493,819
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,668,274
1 資本金	482,954
2 剰余金	1,185,320
(1) 資本剰余金	1,103,483
(2) 利益剰余金	81,837
負債・資本合計	3,051,488
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	425,848	425,848
資本勘定繰入	52,529	53,966
計	478,377	479,814

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	大樹町		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	4,057 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	50	88.3	75.0	76.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	88.3	75.0	76.7
平均在院日数(一般病床のみ)		45.1	44.4	36.7

設立団体の状況	
人口(人)	5,420
決算規模(千円)	9,041,439
標準財政規模(千円)	4,484,792
財政力指数	0.25
経常収支比率(%)	89.6
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,023,665			
1 経常収益	1,023,665			
(1) 医業収益	588,558			
(うち修正医業収益)	500,621			
入院収益	276,379			
外来収益	189,799			
診療収入計	466,178			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	122,380			
(うち他会計負担金)	87,937			
(2) 医業外収益	435,107			
(うち国・都道府県補助金)	2,880			
(うち他会計補助・負担金)	362,220			
(うち長期前受金戻入)	62,839			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,069,495			
2 経常費用	1,069,414			
(1) 医業費用	1,042,871			
職員給与費	698,768	118.7	58.7	78.7
材料費	123,044	20.9	26.9	14.5
(うち薬品費)	68,994	11.7	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	39,764	6.8	11.7	6.1
減価償却費	68,814	11.7	8.5	11.8
経費	150,821	25.6	21.5	32.3
(うち委託料)	66,614	11.3	11.5	15.3
研究研修費	872			
資産減耗費	552			
(2) 医業外費用	26,543			
(うち支払利息)	157	-	0.9	1.1
(3) 特別損失	81			
経常損失	-45,749			
純損失	-45,830			
累積欠損金	977,848			
経常収支比率	95.7		96.5	96.4
医業収支比率	56.4		86.0	72.4
修正医業収支比率	48.0		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	44.0		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	76.5		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	44.0		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	53.6		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,589,274
1 固定資産	1,338,449
(1) 有形固定資産	1,335,089
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	3,360
2 流動資産	250,825
(1) 現金及び預金	160,686
(2) 未収金及び未収収益	80,205
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	9,934
3 繰延資産	-
負債合計	1,411,528
1 固定負債	619,575
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	619,575
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	112,990
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,907
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	48,713
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,370
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	678,963
(1) 長期前受金	1,120,671
(2) 長期前受金収益化累計額()	441,708
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	177,746
1 本金	1,155,206
2 剰余金	-977,460
(1) 資本剰余金	388
(2) 利益剰余金	-977,848
負債・資本合計	1,589,274
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	447,997	450,157
資本勘定繰入	25,520	51,039
計	473,517	501,196

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	166.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	広尾町		
病院名	広尾町国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	6,387	
決算規模(千円)	7,199,131	
標準財政規模(千円)	4,781,616	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	82.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.6
	将来負担比率(%)	21.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	77			
1 経常収益	77			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	77			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	77			
2 経常費用	77			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	89.5
材料費	-	-	26.9	13.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	5.5
減価償却費	-	-	8.5	14.0
経費	-	-	21.5	46.3
(うち委託料)	-	-	11.5	22.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	77			
(うち支払利息)	77	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	97.3
医業収支比率	-		86.0	60.9
修正医業収支比率	-		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	63.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	池田町		
病院名	十勝いけだ地域医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,678 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	4	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	60	53.0	50.3	54.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	53.0	50.3	54.9
平均在院日数(一般病床のみ)		9.2	9.2	11.0

設立団体の状況		
人口(人)	6,294	
決算規模(千円)	8,464,361	
標準財政規模(千円)	4,241,207	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	88.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.2
	将来負担比率(%)	0.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	282,428			
1 経常収益	282,428			
(1) 医業収益	1,110			
(うち修正医業収益)	1,110			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,110			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	281,318			
(うち国・都道府県補助金)	1,500			
(うち他会計補助・負担金)	258,120			
(うち長期前受金戻入)	21,618			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	388,397			
2 経常費用	388,397			
(1) 医業費用	383,869			
職員給与費	-	-	58.7	78.7
材料費	-	-	26.9	14.5
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	6.1
減価償却費	119,664	10780.5	8.5	11.8
経費	257,411	23190.2	21.5	32.3
(うち委託料)	3,644	328.3	11.5	15.3
研究研修費	-			
資産減耗費	6,794			
(2) 医業外費用	4,528			
(うち支払利息)	1,837	165.5	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-105,969			
純損失	-105,969			
累積欠損金	1,865,791			
経常収支比率	72.7		96.5	96.4
医業収支比率	0.3		86.0	72.4
修正医業収支比率	0.3		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	91.4		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	23254.1		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	91.4		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	6.3		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,790,539
1 固定資産	1,484,881
(1) 有形固定資産	1,484,319
(2) 無形固定資産	562
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	305,658
(1) 現金及び預金	287,639
(2) 未収金及び未収収益	18,078
(3) 貸倒引当金()	59
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,817,589
1 固定負債	1,124,561
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,114,538
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	10,023
(6) リース債務	-
2 流動負債	112,335
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	111,461
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	674
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	580,693
(1) 長期前受金	861,453
(2) 長期前受金収益化累計額()	280,760
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-27,050
1 資本金	1,832,641
2 剰余金	-1,859,691
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,859,691
負債・資本合計	1,790,539
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	27,050
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	257,376	258,120
資本勘定繰入	81,367	122,077
計	338,743	380,197

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	168089.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	本別町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,554 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	60	65.3	59.4	64.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	65.3	59.4	64.8
平均在院日数(一般病床のみ)		37.5	34.8	30.6

設立団体の状況	
人口(人)	6,618
決算規模(千円)	7,454,438
標準財政規模(千円)	4,247,699
財政力指数	0.26
経常収支比率(%)	84.8
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	11.7
将来負担比率(%)	23.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,136,894			
1 経常収益	1,136,894			
(1) 医業収益	889,624			
(うち修正医業収益)	645,624			
入院収益	341,645			
外来収益	266,312			
診療収入計	607,957			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	281,667			
(うち他会計負担金)	244,000			
(2) 医業外収益	247,270			
(うち国・都道府県補助金)	8,298			
(うち他会計補助・負担金)	200,698			
(うち長期前受金戻入)	18,031			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,149,718			
2 経常費用	1,149,718			
(1) 医業費用	1,102,871			
職員給与費	736,700	82.8	58.7	78.7
材料費	121,897	13.7	26.9	14.5
(うち薬品費)	43,989	4.9	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	63,876	7.2	11.7	6.1
減価償却費	60,865	6.8	8.5	11.8
経費	179,416	20.2	21.5	32.3
(うち委託料)	73,630	8.3	11.5	15.3
研究研修費	2,038			
資産減耗費	1,955			
(2) 医業外費用	46,847			
(うち支払利息)	12,235	1.4	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-12,824			
純損益	-12,824			
累積欠損金	2,018,762			
経常収支比率	98.9		96.5	96.4
医業収支比率	80.7		86.0	72.4
修正医業収支比率	58.5		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	39.1		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	50.0		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	39.1		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	60.2		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,071,089
1 固定資産	925,443
(1) 有形固定資産	916,753
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	8,690
2 流動資産	145,646
(1) 現金及び預金	27,931
(2) 未収金及び未収収益	98,759
(3) 貸倒引当金()	110
(4) 貯蔵品	16,079
3 繰延資産	-
負債合計	904,009
1 固定負債	542,983
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	520,282
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	22,701
2 流動負債	194,264
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	95,896
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	51,542
(6) リース債務	4,899
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	36,528
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	166,762
(1) 長期前受金	498,800
(2) 長期前受金収益化累計額()	332,038
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	167,080
1 資本金	2,176,426
2 剰余金	-2,009,346
(1) 資本剰余金	9,416
(2) 利益剰余金	-2,018,762
負債・資本合計	1,071,089
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	442,164	444,698
資本勘定繰入	61,304	68,737
計	503,468	513,435

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	226.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名 北海道
市町村・組合名	足寄町			
病院名	国保病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	5,102 m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	9	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	15:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	60	39.2	51.2	55.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	39.2	51.2	55.7
平均在院日数(一般病床のみ)		24.6	26.6	25.3

設立団体の状況		
人口(人)	6,563	
決算規模(千円)	8,994,783	
標準財政規模(千円)	5,819,128	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	88.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	938,233			
1 経常収益	938,233			
(1) 医業収益	610,403			
(うち修正医業収益)	432,630			
入院収益	168,257			
外来収益	224,860			
診療収入計	393,117			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	217,286			
(うち他会計負担金)	177,773			
(2) 医業外収益	327,830			
(うち国・都道府県補助金)	35,932			
(うち他会計補助・負担金)	242,291			
(うち長期前受金戻入)	20,414			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,067,658			
2 経常費用	1,067,658			
(1) 医業費用	1,032,729			
職員給与費	603,627	98.9	58.7	78.7
材料費	74,518	12.2	26.9	14.5
(うち薬品費)	17,842	2.9	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	44,451	7.3	11.7	6.1
減価償却費	79,873	13.1	8.5	11.8
経費	272,012	44.6	21.5	32.3
(うち委託料)	72,076	11.8	11.5	15.3
研究研修費	1,596			
資産減耗費	1,103			
(2) 医業外費用	34,929			
(うち支払利息)	7,177	1.2	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損	-129,425			
純損	-129,425			
累積欠損金	2,625,049			
経常収支比率	87.9		96.5	96.4
医業収支比率	59.1		86.0	72.4
修正医業収支比率	41.9		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	44.8		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	68.8		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	44.8		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	48.5		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,030,931
1 固定資産	931,140
(1) 有形固定資産	930,924
(2) 無形固定資産	216
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	99,791
(1) 現金及び預金	33,865
(2) 未収金及び未収収益	60,885
(3) 貸倒引当金()	917
(4) 貯蔵品	5,958
3 繰延資産	-
負債合計	743,410
1 固定負債	422,257
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	422,257
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	181,236
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	98,026
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	34,978
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	43,470
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	139,917
(1) 長期前受金	460,435
(2) 長期前受金収益化累計額()	320,518
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	287,521
1 本金	2,912,570
2 剰余金	-2,625,049
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,625,049
負債・資本合計	1,030,931
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	419,985	420,064
資本勘定繰入	60,210	74,077
計	480,195	494,141

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	430.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	厚岸町				
病院名	厚岸病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,988 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	55	58.2	51.0	57.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	58.2	51.0	57.3
平均在院日数(一般病床のみ)		25.3	25.7	27.8

設立団体の状況		
人口(人)	8,892	
決算規模(千円)	11,690,973	
標準財政規模(千円)	5,530,417	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	90.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	79.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,332,909			
1 経常収益	1,332,909			
(1) 医業収益	806,755			
(うち修正医業収益)	681,039			
入院収益	271,831			
外来収益	312,408			
診療収入計	584,239			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	222,516			
(うち他会計負担金)	125,716			
(2) 医業外収益	526,154			
(うち国・都道府県補助金)	32,592			
(うち他会計補助・負担金)	374,950			
(うち長期前受金戻入)	91,380			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,305,013			
2 経常費用	1,305,013			
(1) 医業費用	1,257,784			
職員給与費	712,192	88.3	58.7	78.7
材料費	124,595	15.4	26.9	14.5
(うち薬品費)	55,073	6.8	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	61,175	7.6	11.7	6.1
減価償却費	86,656	10.7	8.5	11.8
経費	327,783	40.6	21.5	32.3
(うち委託料)	98,924	12.3	11.5	15.3
研究研修費	1,188			
資産減耗費	5,370			
(2) 医業外費用	47,229			
(うち支払利息)	12,612	1.6	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	27,896			
純損益	27,896			
累積欠損金	603,536			
経常収支比率	102.1		96.5	96.4
医業収支比率	64.1		86.0	72.4
修正医業収支比率	54.1		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	37.6		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	62.1		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	37.6		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	63.8		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,090,406
1 固定資産	1,878,876
(1) 有形固定資産	1,789,034
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	89,842
2 流動資産	211,530
(1) 現金及び預金	72,082
(2) 未収金及び未収収益	124,663
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	14,785
3 繰延資産	-
負債合計	2,637,850
1 固定負債	253,113
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	176,972
(2) その他の企業債	76,141
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	275,268
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	151,692
(2) その他の企業債	9,483
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	42,884
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	64,264
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,109,469
(1) 長期前受金	4,054,399
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,944,930
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-547,444
1 資本金	56,092
2 剰余金	-603,536
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-603,536
負債・資本合計	2,090,406
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	547,444
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	493,558	500,666
資本勘定繰入	102,259	166,334
計	595,817	667,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	74.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	標茶町				
病院名	町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,985 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	60	34.2	38.7	39.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	34.2	38.7	39.4
平均在院日数(一般病床のみ)		20.0	22.0	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	7,230	
決算規模(千円)	12,372,256	
標準財政規模(千円)	6,211,451	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	56.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,143,784			
1 経常収益	1,143,784			
(1) 医業収益	637,483			
(うち修正医業収益)	459,059			
入院収益	208,418			
外来収益	184,851			
診療収入計	393,269			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	244,214			
(うち他会計負担金)	178,424			
(2) 医業外収益	506,301			
(うち国・都道府県補助金)	10,160			
(うち他会計補助・負担金)	483,900			
(うち長期前受金戻入)	7,598			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,143,275			
2 経常費用	1,142,598			
(1) 医業費用	1,098,951			
職員給与費	583,425	91.5	58.7	78.7
材料費	84,164	13.2	26.9	14.5
(うち薬品費)	31,071	4.9	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	43,542	6.8	11.7	6.1
減価償却費	72,823	11.4	8.5	11.8
経費	355,321	55.7	21.5	32.3
(うち委託料)	99,826	15.7	11.5	15.3
研究研修費	1,957			
資産減耗費	1,261			
(2) 医業外費用	43,647			
(うち支払利息)	9,847	1.5	0.9	1.1
(3) 特別損失	677			
経常損益	1,186			
純損益	509			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.1		96.5	96.4
医業収支比率	58.0		86.0	72.4
修正医業収支比率	41.8		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	57.9		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	103.9		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	57.9		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	42.1		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,871,603
1 固定資産	1,553,711
(1) 有形固定資産	1,553,323
(2) 無形固定資産	388
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	317,892
(1) 現金及び預金	246,540
(2) 未収金及び未収収益	61,369
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	9,983
3 繰延資産	-
負債合計	573,466
1 固定負債	117,564
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	116,916
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	648
2 流動負債	303,459
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	111,895
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	39,400
(6) リース債務	1,341
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	143,431
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	152,443
(1) 長期前受金	208,310
(2) 長期前受金収益化累計額()	55,867
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,298,137
1 本金	1,294,321
2 剰余金	3,816
(1) 資本剰余金	3,307
(2) 利益剰余金	509
負債・資本合計	1,871,603
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	662,324	662,324
資本勘定繰入	100,490	100,490
計	762,814	762,814

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	別海町				
病院名	別海病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 未 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,565 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	84	58.3	63.6	70.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	84	58.3	63.6	70.0
平均在院日数(一般病床のみ)		21.1	23.3	20.7

設立団体の状況		
人口(人)	14,380	
決算規模(千円)	33,221,386	
標準財政規模(千円)	9,668,972	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	93.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,114,712			
1 経常収益	2,114,712			
(1) 医業収益	1,306,348			
(うち修正医業収益)	1,266,639			
入院収益	534,356			
外来収益	591,275			
診療収入計	1,125,631			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	180,717			
(うち他会計負担金)	39,709			
(2) 医業外収益	808,364			
(うち国・都道府県補助金)	10,418			
(うち他会計補助・負担金)	721,593			
(うち長期前受金戻入)	65,813			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,354,136			
2 経常費用	2,354,136			
(1) 医業費用	2,225,734			
職員給与費	1,129,289	86.4	58.7	78.7
材料費	278,127	21.3	26.9	14.5
(うち薬品費)	147,572	11.3	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	130,555	10.0	11.7	6.1
減価償却費	203,363	15.6	8.5	11.8
経費	607,106	46.5	21.5	32.3
(うち委託料)	433,266	33.2	11.5	15.3
研究研修費	3,985			
資産減耗費	3,864			
(2) 医業外費用	128,402			
(うち支払利息)	21,770	1.7	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-239,424			
純損益	-239,424			
累積欠損金	2,793,795			
経常収支比率	89.8		96.5	96.4
医業収支比率	58.7		86.0	72.4
修正医業収支比率	56.9		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	36.0		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	58.3		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	36.0		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	57.5		85.4	73.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	3,151,471
1 固定資産	2,894,097
(1) 有形固定資産	2,894,097
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	257,374
(1) 現金及び預金	123,514
(2) 未収金及び未収収益	123,489
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	10,371
3 繰延資産	-
負債合計	2,966,902
1 固定負債	1,604,598
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,583,498
(2) その他の企業債	21,100
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	378,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	138,567
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	63,595
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	167,870
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	983,516
(1) 長期前受金	2,051,007
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,067,491
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	184,569
1 資本金	2,978,364
2 剰余金	-2,793,795
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,793,795
負債・資本合計	3,151,471
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	761,302	761,302
資本勘定繰入	84,778	84,778
計	846,080	846,080

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	213.9
健全化法上の資金不足額(千円)	3,947
健全化法上の資金不足比率(%)	0.3
地財法上の資金不足額(千円)	3,947
地財法上の資金不足比率(%)	0.3

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名 北海道	
市町村・組合名	中標津町		
病院名	中標津病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	16,710 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	15	指定病院の状況	救へ災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	173	65.3	62.3	56.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	173	65.3	62.3	56.4
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	14.7	13.7

設立団体の状況		
人口(人)	23,010	
決算規模(千円)	17,018,432	
標準財政規模(千円)	8,793,128	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	93.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.3
	将来負担比率(%)	85.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,809,425			
1 経常収益	4,808,862			
(1) 医業収益	3,822,008			
(うち修正医業収益)	3,539,781			
入院収益	1,820,837			
外来収益	1,548,274			
診療収入計	3,369,111			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	452,897			
(うち他会計負担金)	282,227			
(2) 医業外収益	986,854			
(うち国・都道府県補助金)	171,464			
(うち他会計補助・負担金)	697,224			
(うち長期前受金戻入)	92,861			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	563			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,728,459			
2 経常費用	4,728,459			
(1) 医業費用	4,456,143			
職員給与費	1,942,644	50.8	58.7	67.7
材料費	781,309	20.4	26.9	18.3
(うち薬品費)	278,468	7.3	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	502,841	13.2	11.7	9.1
減価償却費	215,818	5.6	8.5	10.3
経費	1,460,753	38.2	21.5	29.4
(うち委託料)	565,947	14.8	11.5	13.6
研究研修費	9,047			
資産減耗費	46,572			
(2) 医業外費用	272,316			
(うち支払利息)	35,228	0.9	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	80,403			
純損益	80,966			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.7		96.5	95.4
医業収支比率	85.8		86.0	79.1
修正医業収支比率	79.4		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	20.4		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	25.6		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	20.4		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	81.0		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,878,040
1 固定資産	3,864,370
(1) 有形固定資産	3,280,843
(2) 無形固定資産	583,527
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,013,670
(1) 現金及び預金	428,093
(2) 未収金及び未収収益	547,790
(3) 貸倒引当金()	1,000
(4) 貯蔵品	38,787
3 繰延資産	-
負債合計	3,446,926
1 固定負債	2,034,555
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,782,213
(2) その他の企業債	247,200
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,142
(6) リース債務	-
2 流動負債	837,043
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	476,063
(2) その他の企業債	23,543
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	139,288
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	167,436
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	575,328
(1) 長期前受金	1,225,561
(2) 長期前受金収益化累計額()	650,233
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,431,114
1 資本金	897,332
2 剰余金	533,782
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	533,782
負債・資本合計	4,878,040
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	858,169	979,451
資本勘定繰入	220,223	220,223
計	1,078,392	1,199,674

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	標津町		
病院名	標津町国民健康保険標津病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,686 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	2	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	35	57.5	44.7	54.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	35	57.5	44.7	54.3
平均在院日数(一般病床のみ)		32.5	33.0	45.9

設立団体の状況	
人口(人)	5,023
決算規模(千円)	7,847,768
標準財政規模(千円)	4,195,876
財政力指数	0.21
経常収支比率(%)	89.3
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	996,342			
1 経常収益	996,342			
(1) 医業収益	380,194			
(うち修正医業収益)	380,194			
入院収益	142,010			
外来収益	185,897			
診療収入計	327,907			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	52,287			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	616,148			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	603,657			
(うち長期前受金戻入)	11,577			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	986,267			
2 経常費用	986,267			
(1) 医業費用	968,824			
職員給与費	594,285	156.3	58.7	89.5
材料費	58,169	15.3	26.9	13.4
(うち薬品費)	41,257	10.9	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,912	4.4	11.7	5.5
減価償却費	68,111	17.9	8.5	14.0
経費	204,145	53.7	21.5	46.3
(うち委託料)	66,918	17.6	11.5	22.2
研究研修費	42,976			
資産減耗費	1,138			
(2) 医業外費用	17,443			
(うち支払利息)	2,133	0.6	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	10,075			
純損益	10,075			
累積欠損金	697,626			
経常収支比率	101.0		96.5	97.3
医業収支比率	39.2		86.0	60.9
修正医業収支比率	39.2		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	60.6		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	158.8		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	60.6		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	39.8		85.4	63.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,137,658
1 固定資産	807,641
(1) 有形固定資産	807,285
(2) 無形固定資産	356
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	330,017
(1) 現金及び預金	195,274
(2) 未収金及び未収収益	121,270
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	13,473
3 繰延資産	-
負債合計	384,685
1 固定負債	321,156
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	320,526
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	630
2 流動負債	68,860
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	33,211
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,058
(6) リース債務	713
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,618
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-5,331
(1) 長期前受金	64,915
(2) 長期前受金収益化累計額()	70,246
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	752,973
1 資本金	1,140,144
2 剰余金	-387,171
(1) 資本剰余金	310,455
(2) 利益剰余金	-697,626
負債・資本合計	1,137,658
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	5,331
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	603,657	603,657
資本勘定繰入	4,107	7,361
計	607,764	611,018

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	183.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	広域紋別病院企業団		
病院名	広域紋別病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	11,584 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	17	指定病院の状況	救臨感へ災
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	148	52.4	48.2	45.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	11.5	28.1	-
計	150	51.8	47.9	45.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	16.3	11.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,117,722			
1 経常収益	4,090,829			
(1) 医業収益	2,325,542			
(うち修正医業収益)	2,246,615			
入院収益	1,197,420			
外来収益	985,830			
診療収入計	2,183,250			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	142,292			
(うち他会計負担金)	78,927			
(2) 医業外収益	1,765,287			
(うち国・都道府県補助金)	57,282			
(うち他会計補助・負担金)	1,406,448			
(うち長期前受金戻入)	275,579			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	26,893			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,119,414			
2 経常費用	4,101,159			
(1) 医業費用	3,949,621			
職員給与費	1,895,145	81.5	58.7	67.7
材料費	542,051	23.3	26.9	18.3
(うち薬品費)	249,616	10.7	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	292,426	12.6	11.7	9.1
減価償却費	426,684	18.3	8.5	10.3
経費	1,066,569	45.9	21.5	29.4
(うち委託料)	272,397	11.7	11.5	13.6
研究研修費	8,420			
資産減耗費	10,752			
(2) 医業外費用	151,538			
(うち支払利息)	538	-	0.9	1.1
(3) 特別損失	18,255			
損益	-10,330			
純損益	-1,692			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.7		96.5	95.4
医業収支比率	58.9		86.0	79.1
修正医業収支比率	56.9		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	36.3		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	63.9		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	36.1		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	63.5		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	7,579,405
1 固定資産	6,520,848
(1) 有形固定資産	4,953,879
(2) 無形固定資産	709
(3) 投資その他の資産	1,566,260
2 流動資産	1,058,557
(1) 現金及び預金	271,974
(2) 未収金及び未収収益	744,571
(3) 貸倒引当金()	909
(4) 貯蔵品	42,854
3 繰延資産	-
負債合計	7,076,571
1 固定負債	4,687,641
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,819,044
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	330,596
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	344,281
(6) リース債務	-
2 流動負債	667,577
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	205,848
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	125,079
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	94,703
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	240,339
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,721,353
(1) 長期前受金	3,902,590
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,181,237
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	502,834
1 資本金	469
2 剰余金	502,365
(1) 資本剰余金	266,672
(2) 利益剰余金	235,693
負債・資本合計	7,579,405
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	444,660	1,485,375
資本勘定繰入	159,361	130,088
計	604,021	1,615,463

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	利尻島国民健康保険病院組合		
病院名	利尻島国保中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,659 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	9	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	42	34.7	30.0	21.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	34.7	30.0	21.8
平均在院日数(一般病床のみ)		14.9	16.7	10.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	908,028			
1 経常収益	907,126			
(1) 医業収益	464,187			
(うち修正医業収益)	405,969			
入院収益	158,932			
外来収益	207,578			
診療収入計	366,510			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	97,677			
(うち他会計負担金)	58,218			
(2) 医業外収益	442,939			
(うち国・都道府県補助金)	134,940			
(うち他会計補助・負担金)	192,110			
(うち長期前受金戻入)	80,063			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	902			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,032,751			
2 経常費用	974,835			
(1) 医業費用	921,640			
職員給与費	502,261	108.2	58.7	89.5
材料費	62,687	13.5	26.9	13.4
(うち薬品費)	46,149	9.9	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	9,405	2.0	11.7	5.5
減価償却費	129,953	28.0	8.5	14.0
経費	216,599	46.7	21.5	46.3
(うち委託料)	105,087	22.6	11.5	22.2
研究研修費	1,217			
資産減耗費	8,923			
(2) 医業外費用	53,195			
(うち支払利息)	769	0.2	0.9	1.0
(3) 特別損失	57,916			
経常損益	-67,709			
損益	純損益	-124,723		
累積欠損金	-			
経常収支比率	93.1		96.5	97.3
医業収支比率	50.4		86.0	60.9
修正医業収支比率	44.0		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	27.6		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	53.9		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	27.6		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	67.4		85.4	63.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,758,521
1 固定資産	1,140,706
(1) 有形固定資産	1,135,660
(2) 無形固定資産	546
(3) 投資その他の資産	4,500
2 流動資産	617,815
(1) 現金及び預金	266,030
(2) 未収金及び未収収益	258,463
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	66,323
3 繰延資産	-
負債合計	813,328
1 固定負債	71,760
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	70,800
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	960
2 流動負債	91,285
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,338
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	50,402
(6) リース債務	14,725
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	33,056
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	650,283
(1) 長期前受金	1,129,881
(2) 長期前受金収益化累計額()	479,598
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	945,193
1 資本金	740,823
2 剰余金	204,370
(1) 資本剰余金	970
(2) 利益剰余金	203,400
負債・資本合計	1,758,521
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	249,087	250,328
資本勘定繰入	5,213	7,713
計	254,300	258,041

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。